

YANAGITSUBOMINAMI-SITE

柳坪南遺跡

SAKAIBARA-SITE

境原遺跡

県営圃場整備事業にともなう埋蔵文化財発掘調査

1997

長坂町教育委員会

峡北土地改良事務所

山梨県長坂町

柳坪南遺跡/境原遺跡

県営圃場整備事業にともなう埋蔵文化財発掘調査

1997. 3

長坂町教育委員会

峡北土地改良事務所

序

八

長坂町は広大な八ヶ岳南麓のほぼ中央に位置し、自然に恵まれた高原の町であるとともに、およそ200ヶ所に上る遺跡の密集地帯としても知られています。

長坂町教育委員会では各種の開発事業に際し、このように数多い遺跡の保護をはかりつつ、必要に応じて発掘調査を実施し、記録として遺跡の内容を後世に伝えるための文化財保護事業を推進しております。

本書は平成6年度に県営団場整備事業にともない、発掘調査を実施した大八田地区の柳坪南遺跡と境原遺跡の調査報告書です。柳坪遺跡では平安時代の集落が、境原遺跡では縄文時代と弥生時代の遺物と平安時代の集落がそれぞれ発見されました。

両遺跡の調査にあたり、格別なご理解をいただいた地権者の皆様はじめとする関係各位に厚く御礼申し上げます。本書がひろく教育や研究の場で活用されることを願います。

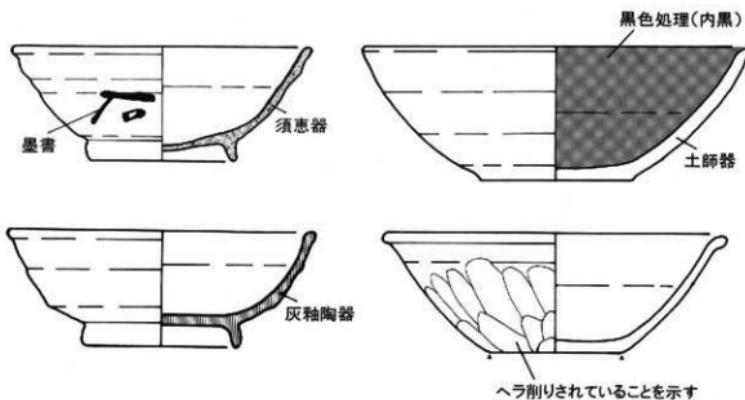
1997年3月

長坂町教育委員会

教育長 小松清寿

例　　言

- 1 本書は山梨県北巨摩郡長坂町大八田字柳坪に所在する柳坪南遺跡および長坂町大八田字境原に所在する境原遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は山梨県営圃場整備事業にともない、山梨県駒北土地改良事務所からの委託を受け長坂町教育委員会が実施した。
- 3 本書の編集は小宮山隆（町教育委員会埋蔵文化財担当）が行った。
- 4 遺物実測・図面作成・トレース・図面整理・表作成等に関わる業務については吉田光雄（調査補助員）、山下大輔（信州大学学生）、石川昭江、井出仁美、長田加代子、清水純代、橋本はるみ、日向登茂子、深沢憲子（整理作業員）が行った。
- 5 出土品および図面・写真は長坂町教育委員会が保管している。
- 6 発掘調査から報告書作成までの間、次の諸氏からご助言、ご配慮を賜った。記して感謝申し上げたい（順不同、敬称略）。
小野正文・保坂康夫・出月洋文・中山誠二（以上、山梨県教育委員会学術文化財課）、伊藤公明（大泉村教育委員会）、佐野隆（明野村教育委員会）、平野修（山梨文化財研究所）



柳坪南遺跡/境原遺跡

Contents

もくじ

本文

序	
例言	
第1章 調査の経過	9
1 調査の経緯	9
2 調査の概要	9
3 調査組織	9
第2章 遺跡をとりまく環境	12
1 自然環境	12
2 長坂町内の遺跡分布	12
第3章 柳坪南遺跡の調査	15
1 平安時代の住居址	15
2 集石遺構	19
3 遺物	21
第4章 境原遺跡の調査	54
A区	54
1 平安時代の住居址	54
2 土坑	55
3 埋設土器	56
B区	56
1 弥生時代の住居址	56
2 平安時代の住居址	56
3 遺物	60

表紙：柳坪南遺跡 6号住居のカマド

挿図・表

図 1 長坂町の遺跡分布図	10	図58 1号埋設土器実測図(A区)	72
図 2 柳坪南遺跡・境原遺跡の位置と周辺遺跡分布図	13	図59 1号土坑実測図(A区)	72
図 3 柳坪南遺跡調査区位置図	14	図60 6号住居址・カマド実測図/土器分布図(B区)	73
図 4 柳坪南遺跡全件図	20	図61 7号住居址実測図/土器分布図(B区)	74
図 5 基本層序	28	図62 8号住居址実測図/土器分布図(B区)	75
図 6 1号住居址実測図/土器分布図	28	図63 9号住居址・カマド実測図/土器分布図(B区)	76
図 7 2号住居址実測図/土器分布図	29	図64 10号住居址実測図(B区)	77
図 8 3号住居址実測図	30	図65 11号住居址実測図/土器出土状況図(B区)	78
図 9 4号住居址・カマド実測図/土器分布図	31	図66 1号住居址出土遺物(A区)	79
図10 5号住居址・カマド実測図/土器分布図	32	図67 2号住居址出土遺物(A区)	80
図11 6号住居(15号住居)・14号住居址実測図	33	図68 3号住居址出土遺物(A区)	81
図12 6号住居址カマド実測図	34	図69 4号住居址出土遺物(A区)	81
図13 6号住居址土器分布図	35	図70 5号住居址出土遺物(A区)	82
図14 7号住居址実測図/土器分布図	36	図71 1号埋設土器(A区)	83
図15 8号・9号住居址実測図/土器分布図	36	図72 6号住居址出土遺物(B区)	83
図16 10号住居址・カマド実測図/11号住居址実測図	37	図73 7号住居址出土遺物(B区)	83
図17 10号・11号住居址土器分布図	38	図74 8号住居址出土遺物(B区)	84
図18 12号住居址・カマド実測図	39	図75 9号住居址出土遺物(1)(B区)	84
図19 12号住居址土器分布図	40	図76 9号住居址出土遺物(2)(B区)	85
図20 13号住居址実測図/土器分布図	41	図77 11号住居址出土遺物(1)(B区)	85
図21 1号集石道構造	41	図78 11号住居址出土遺物(2)(B区)	86
図22 1号住居址出土遺物	42	図79 表探遺物(B区)	86
図23 2号住居址出土遺物(1)	42		
図24 2号住居址出土遺物(2)	43		
図25 3号住居址出土遺物	43		
図26 4号住居址出土遺物	43		
図27 5号住居址出土遺物(1)	43		
図28 5号住居址出土遺物(2)	44		
図29 6号住居址出土遺物(1)	45		
図30 6号住居址出土遺物(2)	46		
図31 7号住居址出土遺物	46		
図32 8号住居址出土遺物	47		
図33 9号住居址出土遺物	47		
図34 10号住居址出土遺物(1)	47		
図35 10号住居址出土遺物(2)	48		
図36 11号住居址出土遺物	48		
図37 12号住居址出土遺物(1)	49		
図38 12号住居址出土遺物(2)	50		
図39 12号住居址出土遺物(3)	51		
図40 13号住居址出土遺物	51		
図41 14号住居址出土遺物	51		
図42 15号住居址出土遺物(1)	51		
図43 15号住居址出土遺物(2)	52		
図44 表探遺物	52		
図45 調査区北出土遺物	52		
図46 境原遺跡調査区位置図	53		
図47 境原遺跡B区全体図	58		
図48 境原遺跡A区全体図	59		
図49 基本層序	64		
図50 1号住居址実測図(A区)	65		
図51 1号住居址土器分布図(A区)	66		
図52 2号住居址実測図(A区)	67		
図53 2号住居址土器分布図(A区)	68		
図54 3号住居址実測図/土器分布図(A区)	69		
図55 4号住居址実測図/土器分布図(A区)	70		
図56 5号住居址・カマド実測図(A区)	71		
図57 5号住居址土器分布図(A区)	72		
表 1 長坂町の遺跡分布一覧	11		
表 2 柳坪南遺跡 1号住居址遺物観察表	21		
表 3 柳坪南遺跡 2号住居址遺物観察表	21		
表 4 柳坪南遺跡 3号住居址遺物観察表	21		
表 5 柳坪南遺跡 4号住居址遺物観察表	21		
表 6 柳坪南遺跡 5号住居址遺物観察表	22		
表 7 柳坪南遺跡 6号住居址遺物観察表	22		
表 8 柳坪南遺跡 7号住居址遺物観察表	24		
表 9 柳坪南遺跡 8号住居址遺物観察表	24		
表10 柳坪南遺跡 9号住居址遺物観察表	24		
表11 柳坪南遺跡 10号住居址遺物観察表	24		
表12 柳坪南遺跡 11号住居址遺物観察表	25		
表13 柳坪南遺跡 12号住居址遺物観察表	25		
表14 柳坪南遺跡 13号住居址遺物観察表	26		
表15 柳坪南遺跡 14号住居址遺物観察表	27		
表16 柳坪南遺跡 15号住居址遺物観察表	27		
表17 柳坪南遺跡表探遺物観察表	27		
表18 柳坪南遺跡調査区北遺物観察表	27		
表19 境原遺跡 1号住居址遺物観察表	60		
表20 境原遺跡 2号住居址遺物観察表	60		
表21 境原遺跡 3号住居址遺物観察表	61		
表22 境原遺跡 4号住居址遺物観察表	61		
表23 境原遺跡 5号住居址遺物観察表	62		
表24 境原遺跡 1号埋設土器	62		
表25 境原遺跡 6号住居址遺物観察表	62		
表26 境原遺跡 7号住居址遺物観察表	62		
表27 境原遺跡 8号住居址遺物観察表	62		
表28 境原遺跡 9号住居址遺物観察表	63		
表29 境原遺跡 11号住居址遺物観察表	63		
表30 境原遺跡表探遺物観察表	64		

写真図版

柳坪南遺跡

図版 1	柳坪南遺跡全景	87
図版 2	1号住居址	87
図版 3	1号住居出土土器	87
図版 4	2号住居址	87
図版 5	2号住居出土土器	87
図版 6	3号住居址	87
図版 7	3号住居出土土器	87
図版 8	4号住居址	88
図版 9	4号住居カマド	88
図版10	4号住居出土土器	88
図版11	5号住居出土土器	88
図版12	5号住居出土土器	88
図版13	5号住居址	88
図版14	5号住居出土墨書き土器	88
図版15	6号住居址	89
図版16	6号住居出土墨書き土器	89
図版17	6号住居カマド	89
図版18	6号住居出土土器	89
図版19	6号住居出土土器	89
図版20	7号住居址	90
図版21	7号住居出土土器	90
図版22	7号住居出土墨書き土器	90
図版23	8号・9号住居址	90
図版24	8号住居出土土器	90
図版25	10号・11号住居址	90
図版26	10号住居出土墨書き土器	90
図版27	10号住居出土土器	91
図版28	10号住居出土土器	91
図版29	10号住居出土刻書き土器	91
図版30	12号住居址	91
図版31	12号住居カマド横土器出土状況	91
図版32	12号住居出土土器	91
図版33	12号住居出土土器	92
図版34	13号住居址	92
図版35	調査区北出土土器	92

境原遺跡

図版36	境原遺跡 A区全景	93
図版37	境原遺跡 B区全景	93
図版38	1号住居址	93
図版39	1号住居出土土器	93
図版40	2号住居址完掘	94
図版41	2号住居出土土器	94
図版42	3号住居址完掘	94
図版43	3号住居出土墨書き土器	95
図版44	3号住居出土状況	95
図版45	3号住居出土土器	95
図版46	4号住居址完掘	95
図版47	4号住居出土土器	95
図版48	5号住居址完掘	96
図版49	5号住居出土土器	96
図版50	6号住居址完掘	96
図版51	6号住居カマド	96
図版52	7号住居址完掘	97
図版53	7号住居出土土器	97
図版54	7号住居址完掘	97
図版55	9号住居址完掘	97
図版56	9号住居カマド	98
図版57	9号住居出土土器	98
図版58	10号住居址	98
図版59	11号住居出土土器	98
図版60	11号住居址	98
図版61	11号住居出土土器出土状況	98
図版62	11号住居出土土器	98
図版63	11号住居出土土器	99
図版64	11号住居出土墨書き土器	99
図版65	1号土壤	99
図版66	1号溝	99
図版67	1号埋設土器出土状況	99
図版68	1号埋設土器	99

第1章 調査の経過

1 調査の経緯

1993（平成5）年、山梨県農務部耕地課および山梨県峠北土地改良事務所から町教育委員会に、長坂地区の県営圃場整備事業計画についての事前協議がなされた。町教育委員会では、1994（平成6）年1月から3月にかけて事業計画地の現地踏査と試掘調査を実施した。その結果、柳坪地内と境原地内でそれぞれ平安時代の遺構面が、また石原田地内においては焼土粒子が確認された。

町教育委員会では遺跡の保存について、山梨県農務部と協議を重ねたが、圃場整備の工法的に現状保存が困難であるとの結論に至り、上記の3地点について発掘調査を実施することになった。

1994（平成6）年6月8日付けで、長坂町長と峠北土地改良事務所長との間に、埋蔵文化財発掘調査費に関する負担協定を締結し、長坂町教育委員会が調査を実施した。なお、事業費の一部については国および県の補助対象として、平成6年度国家重要文化財等保存整備費補助金を同年9月5日付けで、平成6年度山梨県文化財保存事業費補助金を同年11月12日付けでそれぞれ交付決定を受けた。

境原遺跡は同年7月8日から、柳坪遺跡は7月13日からそれぞれ現場調査を開始し、両遺跡とも終了したのは同年11月14日である。石原田地内については表土剥ぎを実施したが、明確な造構は確認されず、遺物も近現代の陶器片が数点出土したのみであった。

整理作業は1996（平成8）年度に、県営圃場整備事業に関わる未報告遺跡の整理事業について、同じく峠北土地改良事務所と同年4月23日付けで負担協定を締結し、ここに報告を行う運びとなった。

2 調査の概要

柳坪南遺跡では626.7m²の調査区から15件の平安時代住居址や集石遺構、土坑が検出された。境原遺跡はA区（371.8m²）とB区（772.7m²）に調査区がわかれる。A区では平安時代住居址5件や縄文時代中期後半の埋設土器1基、土坑2基が検出された。B区では弥生時代後期の住居址2件、平安時代の住居址4件、土坑2基が検出された。

なお現場調査は、柳坪南遺跡が1994年の7月13日から8月31日まで、境原遺跡が1994年の7月8日から11月14日までを要した。

3 調査組織

事業主体	長坂町教育委員会
調査担当	小宮山 隆（教育委員会埋蔵文化財担当）
事務局	教育長 小松清寿
	教育課長 平島善正（前任者）、植松 忠
	教育係長 奥石君夫



図1 長坂町の遺跡分布図

表1 長坂町の遺跡分布一覧

(開=開文時代 弐=弥生時代 古=古墳時代 平=平安時代 中=中世)

001 耳塚 中	070 石原田南遺跡 繩 平 中	139 新居遺跡 繩
002 法性寺前遺跡 繩 中	071 塚原遺跡 繩 平	140 桜宮氏屋敷跡 中
003 信玄廟遺跡 繩	072 錦中久保遺跡 繩 平	141 和吉遺跡 中
004 小死間古戦場跡	073 久保遺跡 繩	142 上松氏屋敷跡 平
005 桜畠遺跡 近	074 房屋敷遺跡 繩	143 下屋敷遺跡 繩
006 小泉遺跡 近	075 池の平遺跡 繩	144 清水頭遺跡 繩 古 平
007 菖蒲遺跡 繩	076 東高麗遺跡 3 平	145 向原遺跡 平
008 桜畠南遺跡 繩	077 東高麗遺跡 2 平	146 三つ墓古墳 2 消滅
009 稲庭敷東遺跡 繩	078 東高麗遺跡 4 調 平	147 原町農業高校前遺跡 繩
010 稲庭敷北遺跡 繩	079 東高麗遺跡 1 繩 平	148 三つ墓古墳 3 消滅
011 稲庭敷遺跡 間	080 和手山東遺跡 中	149 三つ墓古墳 1 古
012 久保南遺跡 繩 亦	081 小尾平遺跡 古石 繩	150 池之平昭和堤北遺跡 繩 平
013 久保南遺跡 繩	082 岡の原遺跡 繩	151 池之平A遺跡 繩 平
014 沢入遺跡 繩 中	083 西高麗遺跡 平	152 向井丹下屋敷跡 中
015 宇平遺跡 繩 中	084 西高麗遺跡 繩	153 池之平B遺跡 繩
016 東下屋敷遺跡 繩	085 西高麗遺跡 繩 平	154 上日南遺跡 繩 平
017 西下屋敷遺跡 繩	086 和手遺跡 繩 平	155 田中氏屋敷跡 中
018 新田森遺跡 繩	087 膝參遺跡 繩	156 上日野A遺跡 繩 平
019 西下屋敷南遺跡 繩	088 城山上北遺跡 繩 平	157 上日野B遺跡 繩 平
020 横手遺跡 繩 中	089 城山上上北遺跡 繩	158 上日野C遺跡 繩 平
021 神之原遺跡 繩	090 中丸城跡 中	159 地久保遺跡 平 中
022 里草附遺跡 繩 中	091 久保保遺跡 繩 平	160 日野原遺跡 平
023 内城遺跡 中	092 清春白樺美術館南遺跡 繩	161 上日野原遺跡 繩 平
024 十郎林遺跡 繩	093 紺久保遺跡 繩	162 富岡遺跡 近
025 阿原遺跡 平	094 後平遺跡 繩 平	163 横道遺跡 古 占
026 中根遺跡 繩	095 狐平北遺跡 繩 平	164 大林遺跡 繩
027 手白尾遺跡 繩	096 狐平遺跡 繩 平	165 中込遺跡 繩
028 夫婦石遺跡 繩	097 大平遺跡 繩 平	166 手白尾東遺跡 繩
029 横山1遺跡 繩	098 下鳥久保遺跡 繩	167 西屋敷遺跡 古
030 横山2遺跡 繩	099 焼久保遺跡 繩	168 上町南遺跡 繩
031 横山平南遺跡 繩 平	100 高木松遺跡 繩	169 龍角西遺跡 繩 古 平
032 萩原北遺跡 平	101 上町遺跡 繩 平	170 龍角遺跡 古 平
033 上ノフリ平北遺跡 繩	102 酒呑場遺跡 繩 古 平	171 長坂下条遺跡 繩 平
034 上ノフリ平南遺跡 繩	103 東村A遺跡 繩 古 平	172 西久保遺跡 繩
035 上ノフリ平西遺跡 繩	104 東村B遺跡 繩 古 平	173 新宿区健康村遺跡 繩 平
036 下ノフリ平北遺跡 繩	105 中村遺跡 古 平	174 長坂下条・藤家
037 萩原遺跡 周 弥	106 錦田遺跡 繩	175 和田遺跡 亦 平
038 下ノフリ平遺跡 繩 中	107 西村遺跡 古 平	176 古屋敷遺跡 繩
039 下ノフリ平南遺跡 平	108 中反遺跡 繩 平	177 泥里遺跡 繩
040 別当遺跡 繩	109 中丸・藤家	178 中込北遺跡 繩
041 別当西遺跡 繩	110 長坂氏屋敷跡 中	179 法沢 上町遺跡 繩
042 別当十三塚	111 白山神社前遺跡 平	180 下屋敷北遺跡 繩 平
043 南新居北遺跡 中	112 上ノ屋敷遺跡 繩 平	181・柳坪南遺跡 平
044 深草遺跡	113 大々十三塚 中	182 柳坪北遺跡 繩 亦 平
045 小和田遺跡 繩 平	114 大々神A遺跡 平	183・境原遺跡 亦 平
046 南新居屋敷跡	115 大々神B遺跡 古 平	184 北村北遺跡 繩 亦 平
047 南新居遺跡 半	116 治郎田遺跡 古 平	185 酒呑場東遺跡 繩 弥 平
048 南新居屋西遺跡 平	117 頭無A遺跡 平	186 山本遺跡 繩
049 小山遺跡	118 木道跡 亦 古	187 北村東遺跡 繩 古
050 米山遺跡 川石 繩	119 堀川・桜坪遺跡 繩	188 大久保北遺跡 繩 中
051 米山東遺跡 半	120 頭無遺跡(二木本木道跡) 繩 古	189 天王塚古墳 古
052 塚原遺跡 平	121 新田遺跡 繩	190 池之平北遺跡 繩 平
053 窓田遺跡 繩 古 平	122 堀之越遺跡 中	191 清水頭北遺跡 繩 平
054 弥右衛門塚 1	123 原町北遺跡 平 中	192 宇千平の土塁
055 弥右衛門塚 2	124 原町遺跡 平	193 成岡・藤家
056 汎田北遺跡 平	125 上久遠北遺跡 繩 平	194 馬越場遺跡
057 汎田遺跡 平	126 塚川の土塁 中	195 紺屋遺跡 繩 平
058 東原の土塁	127 下村遺跡	196 治郎田北遺跡 繩
059 東原遺跡 中	128 塚川十三塚群	197 竹原遺跡 繩
060 柳折居遺跡 繩 古 平	129 富久保遺跡 繩	198 天白城址 中
061 原田遺跡 亦 平	130 下村南遺跡 繩	199 下原遺跡 繩
062 柳坪A遺跡 繩 古 平	131 泥里西遺跡 繩 平	
063 柳坪B遺跡 繩 古 平	132 脚見遺跡 繩 平	
064 小屋敷遺跡 繩 平	133 鮎馬場遺跡 繩 平	
065 久保地遺跡 繩	134 寺前遺跡 繩 平 中	
066 成岡道遺跡 亦 平	135 上久遠遺跡 繩	
067 成岡新田遺跡 亦 平	136 反田遺跡 繩 平 中	
068 曲田遺跡 半	137 三井氏屋敷跡 中	
069 石原田北遺跡 繩 平	138 北村遺跡 亦 古	

第2章 遺跡をとりまく環境

1 自然環境

柳坪南遺跡は北緯35度49分58秒、東経138度23分21秒に、境原遺跡は北緯35度50分02秒、東経138度23分45秒にそれぞれ位置する。遺跡の海拔はそれぞれおよそ707 mと722 mを計り、尾根上の平坦面あるいは緩斜面に立地する。このような尾根は、第四紀火山の崩壊としては日本列島で最大規模といわれる葦崎岳屑流によって形成された八ヶ岳南麓緩斜面を、塩川の支流である鳩川や泉川といった中小河川にわずかに浸食されてできたもので、両遺跡が立地する標高700 m付近を境にして、より下流域では浸食力が増大し段丘崖が発達してくる。つまり両遺跡は、起伏の小さい八ヶ岳南麓斜面が、次第に河川浸食による段丘が発達しあはじめる変換点に立地する。

遺跡の立地する尾根上は主に高原野菜を生産する畑や水田に、低位面はほぼ全面で水田化されている。

遺跡周辺の気候は典型的な内陸型気候であり、気温の日較差・年較差が大きく、年間降水量およそ1,100 mmと少ない。高海拔の割に冬季の積雪量は少ないが、多い年では年に数回、30~40cmの積雪量が観測される。

2 長坂町内の遺跡分布

柳坪南と境原の両遺跡の周囲には高密度に遺跡が分布し、発掘調査された遺跡も数多い。柳坪遺跡では縄文時代中期後半を主とした集落遺跡が確認された¹⁾。柳新居遺跡では河川改修にともない調査され、縄文時代中期前半の住居址が数件確認された。県営圃場整備事業にともない調査された別当西遺跡²⁾や大八田原川遺跡³⁾では、縄文時代後期の集落跡が確認された。柳坪遺跡では弥生時代中期の住居址も確認された。境原遺跡でも弥生後期の住居址が確認されている。古墳時代では柳坪遺跡で前期の住居址がある。平安時代の遺跡調査例は多数あり、南新居西遺跡⁴⁾、小和田館跡⁵⁾、大八田原田遺跡、柳坪遺跡、柳坪南遺跡、境原遺跡が挙げられる。中世では、国人領主層の館とそれをとりまく集落が確認された小和田館跡や、堀と土塁が良好に遺存する深草城址がある。

参考文献

- 1) 山梨県教育委員会1975『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書—北巨摩郡長坂・明野・葦崎地内』
- 2) 山梨県教育委員会1986『柳坪遺跡』
- 2) 長坂町教育委員会1987『深草遺跡 別当十三塚遺跡 別当遺跡(第2次) 稲屋敷遺跡』
- 長坂町教育委員会1997『別当西遺跡』
- 3) 長坂町教育委員会1989『大八田原田遺跡』
- 4) 長坂町教育委員会1991『南新居西遺跡』
- 5) 長坂町教育委員会1985『小和田館跡』

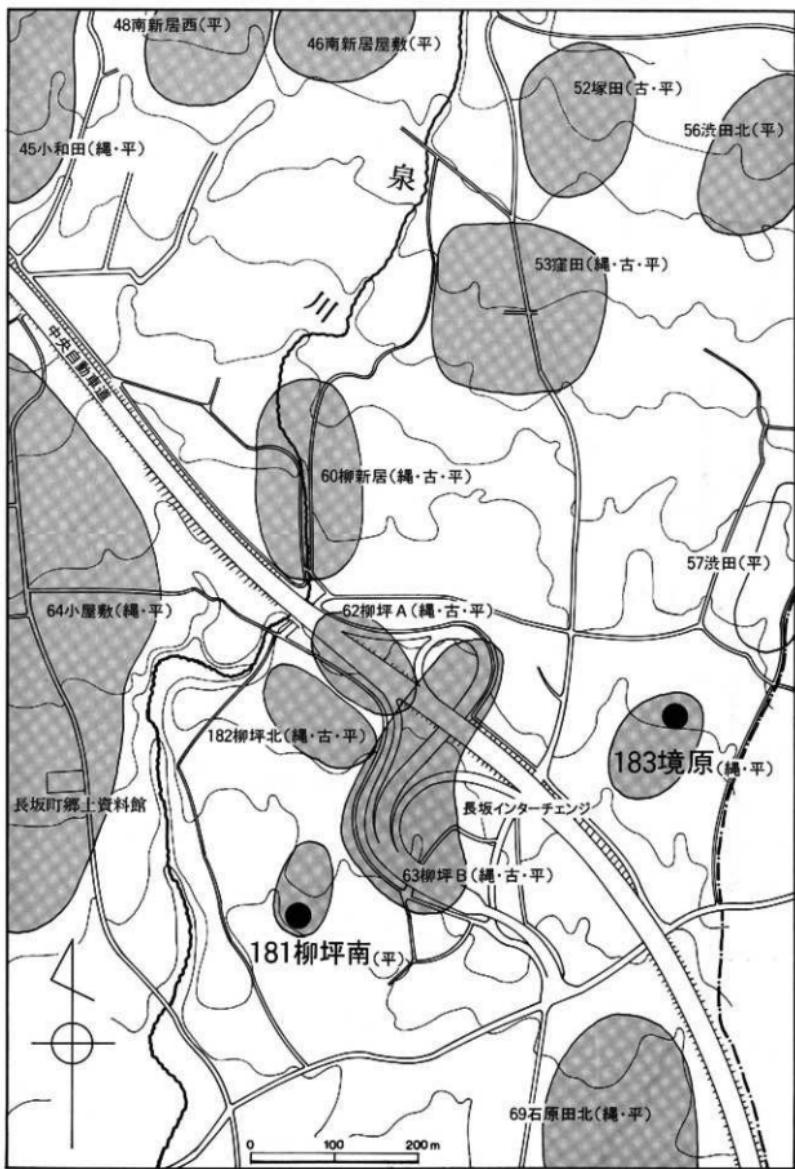


図2 柳坪南遺跡・境原遺跡の位置と周辺遺跡分布図

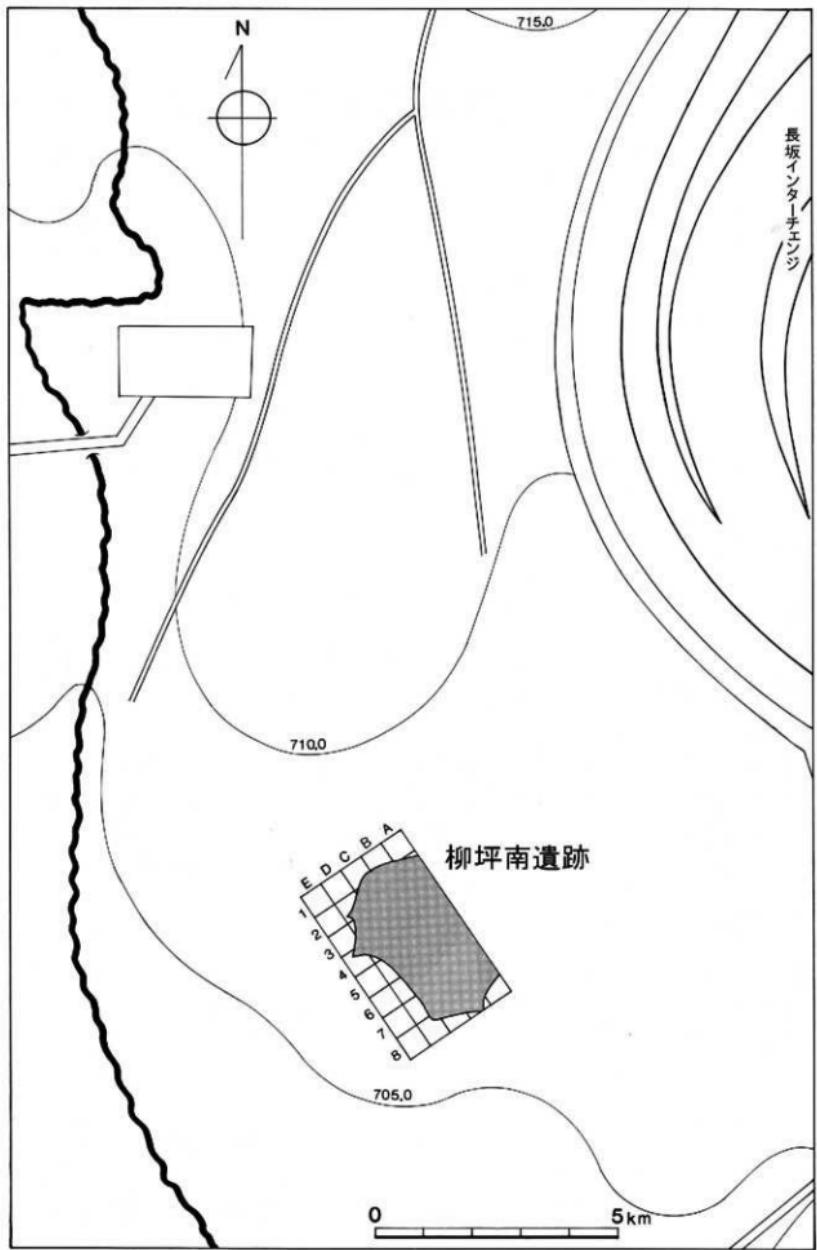


図3 柳坪南遺跡調査区位置図

第3章 柳坪南遺跡の調査

1 平安時代の住居址

調査の結果、平安時代の住居址15件が確認された。

〈1号住居址〉(図6,22)(表2)

位 置：調査区域西北端（B-1, C-1, C-2区）に位置する。

検出状態：遺構北側半分は調査区域から外れている。また遺構南側の壁は排水溝によって擾乱されている。

平面形態：平面形態は、明確ではないが東西方向に方形プランの一端が確認できる。

大きさ：擾乱のため不明。

周 溝：明確でない。

カ マ ド：南東コーナー付近に炭化物と焼土が広がり、カマドの残骸と思われる複数の小礫が確認できる。

〈2号住居址〉(図7,23,24)(表3)

位 置：調査区北端（A-2, B-2, A-3, B-3区）に位置する。遺構東側には1号集石遺構が隣接する。

検出状態：遺構北側約3分の1は排水溝によって擾乱を受けている。

平面形態：やや隅円の長方形。

大きさ：住居短軸長は約3.4m、長軸長に関しては、プラン北側が擾乱を受けており不明。

周 溝：遺構西側コーナー付近に周溝が見られる。

カ マ ド：住居址南東コーナーにしっかりした石組みのカマドがある。

備 考：遺構中央床面に焼土面が検出されている。遺構西側に大型の礫がいくつか点在している。

〈3号住居址〉(8,25図)(表4)

位 置：調査区中央部や東側（A-4, A-5区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。遺構内南側に大型の礫が存在する。

平面形態：長方形。

大きさ：住居長軸長は約4.4m、短軸長は約3.4m。長軸方向はN-18°-W。

周 溝：確認されない。

カ マ ド：住居址北西コーナーと南東コーナーそれぞれに、複数の小礫が確認できるがカマドの残骸であるかどうかわからない。

備 考：大型の礫が住居内に存在することが特徴的である。この大型礫は地山から床面を突き抜けてい

のことから、住居が利用されていた段階でも存在したと推定される。柱穴と思われるものがいくつかある。

〈4号住居址〉(図9,26)(表5)

位 置：調査区中央部やや南東側(A-6、B-6区)に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。遺構内南端に大型の礫が2点存在する。

平面形態：長方形。

大きさ：住居長軸長は4.8m、短軸長は3.2m。長軸方向はN-15°-W。

周 溝：住居壁面には周溝がめぐっているが、東側壁面では明確でない。

カ マ ド：住居址東側にカマドがあり、壁面には焼土や炭化物、粘土などが混じった土が層状に検出された。

備 考：住居内南東端と南西端には大型の礫が存在する。柱穴と思われるものがいくつかある。

〈5号住居址〉(図10,27,28)(表6)

位 置：調査区中央部(B-5、C-5区)に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。北東端に大型の礫が存在する。

平面形態：遺構形態はほぼ方形を呈する。

大きさ：住居長軸長は4.4m、短軸長は4m。主軸方向はE-10°-S。

周 溝：住居壁面には周溝がめぐる。この周溝は南側壁面中央やや西において約1m程途切れるが、住居出入り口ではないかと思われる。なお柱穴は遺構内部の隅に比較的規則的に配置されているようだが、この出入り口と推定される部分の周溝端にも柱穴が配置されている。

カ マ ド：遺構東側壁面にはカマドがある。多少床面が掘り込まれ、その上に焼土交じりの土が堆積した遺構も検出されている。

備 考：遺構内中央部やその周辺にもいくつかピットが検出されている。

〈6号住居址〉(図11,12,13,29,30)(表7)

位 置：調査区中央部西端(D-4、E-4区)に位置する。遺構南側の一部は水田の土手により搅乱されている。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。

平面形態：遺構形態は方形を呈する。

大きさ：一辺が約4.8mのほぼ正方形。主軸方向はほぼ南北に一致する。

周 溝：壁面全体を周溝がめぐるが、遺構南側壁面の一部では周溝が途切れる。この周溝の途切れ方は、5号住居址と同様の位置関係。また遺構中央部にはピットがある。

カ マ ド：住居址北側にはカマドが検出されている。しっかりしたつくりで、周囲には粘土が張られ、内部は焼土に覆われている。

備 考：住居内に礫が散在している。当調査区においては住居址プランが大型であり、カマドも唯一プラン北側につくられるなどの特徴がある。

〈7号住居址〉(図14,31)(表8)

位 置：調査区中央西側(C-3、C-4、D-4区)に位置する。

検出状態：この遺構は、14号住居址と12号住居址に切られている。

平面形態：遺構形態は隅円長方形あるいはほぼ方形を呈する。

大きさ：長軸長約3.2m、短軸長約3m、主軸方向はほぼ東西に一致する。

周 溝：南側の一部を除きほぼ全周している。

カ マ ド：住居址東側にカマドが検出されている。

〈8号住居址〉(図15,32)(表9)

位 置：調査区中央北側(B-3、B-4区)に位置する。

検出状態：この遺構は9号住居址を切る。遺構内北側と西北側には大型の礫が存在する。また遺構中央から南東側にかけては集石状に礫が密集する。

平面形態：遺構形態は長方形を呈する。

大きさ：長軸長4.4m、短軸長3.2m。長軸方向はN-43°-W。

周 溝：なし。

カ マ ド：確認できない。

備 考：南壁面に長方形の浅いピットがある。

〈9号住居址〉(図15,33)(表10)

位 置：調査区中央北側(B-3、B-4区)に位置する。

検出状態：この遺構は8号住居址に切られる。遺構内北東端には大型の礫が存在する。

平面形態：ほぼ正方形を呈すると思われる。

大きさ：長軸長約4m。短軸長は不明。長軸方向はN-6°-W。

周 溝：なし。

カ マ ド：確認できない。

〈10号住居址〉(図16,17,34,35)(表11)

位 置：調査区西側(D-5、D-6区)に位置する。

検出状態：竪穴のプラン南西部は排水溝により搅乱を受けている。

平面形態：隅円長方形。

大きさ：長軸長約5.2m、短軸長約3.6m。主軸方向はE-5°-S。

周 溝：なし。

カマド：東側壁面にカマドが検出されている。カマド周辺に礫が散在しているが、内部にはあまり礫はみられない。

備 考：本遺構は11号住居址を切る。

〈11号住居址〉（図16,17,36）（表12）

位 置：調査区西側（D-5区）に位置する。

検出状態：堅穴のプランのほとんどが排水溝に搅乱されたり、10号住居址と切られていて全体像は不明。

平面形態：長方形か。

大きさ：不明。

周 溝：明確でない。

カマド：確認できない。

備 考：本遺構は10号住居址に切られる。

〈12号住居址〉（図18,19,37,38,39）（表13）

位 置：調査区のほぼ中央部（C-3、C-4区）に位置する。

検出状態：堅穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。遺構内には多くの礫が散在している。

平面形態：ほぼ正方形。比較的規則正しく柱穴が配置されている。

大きさ：長軸長約4m、短軸長約4m。主軸方向はN-77°-E。

周 溝：なし。

カマド：遺構東壁面にカマドが存在。大型の礫を組み上げたしっかりしたつくりである。カマド周辺の散在する礫はカマド構成礫の一部であろう。

備 考：本遺構は8号住居址、14号住居址、7号住居址を切る。

〈13号住居址〉（図20,40）（表14）

位 置：調査区の最南端（B-8、C-8区）に位置する。一部調査区域外に位置する。

検出状態：住居南側が調査区域外となっているため遺構の全体は明らかになっていない。遺構内南西に大型の礫が存在する。

平面形態：正方形に近い方形を呈すると思われる。

大きさ：長軸方向は不明であるが、東西の一辺は約4.4m。

周 溝：なし。

カマド：確認できない。

〈14号住居址〉（図11,41）（表15）

位 置：調査区西側（C-4、D-4区）に位置する。

検出状態：遺構の大半は6号住居址によって切られているため遺構の形状はほとんど確認できない。

平面形態：正方形に近い方形と思われる。

大きさ：不明。

周溝：あり。

カマド：確認できない。

備考：本遺構は6号住居址、12号住居址に切られる。

〈15号住居址〉(図11,42,43)(表16)

位置：6号住居址と重複して検出された。

検出状態：竪穴のプランは6号住居址にほぼ重なり一致する。

平面形態：長方形。

大きさ：長軸長5.5m、短軸長4.8m。長軸方向はほぼ南北に一致する。

周溝：なし。

カマド：確認できない。

2 集石遺構

〈1号集石遺構〉(図21)

位置：調査区北東端(A-3区)に位置する。

検出状態：遺構の北西側は排水溝により搅乱されている。

平面形態：3m×2mほどの範囲に拳大から直径1mほどまでの様々な大きさの礫が密集していた。集石の中には深さ35cmほどのほりこみがあり、覆土にはロームブロックが多量に含まれていた。

大きさ：長軸長3.3m、短軸長2.3m。

備考：遺構の性格は明らかでないが、住居址の一部になる可能性もある。



整理作業風景

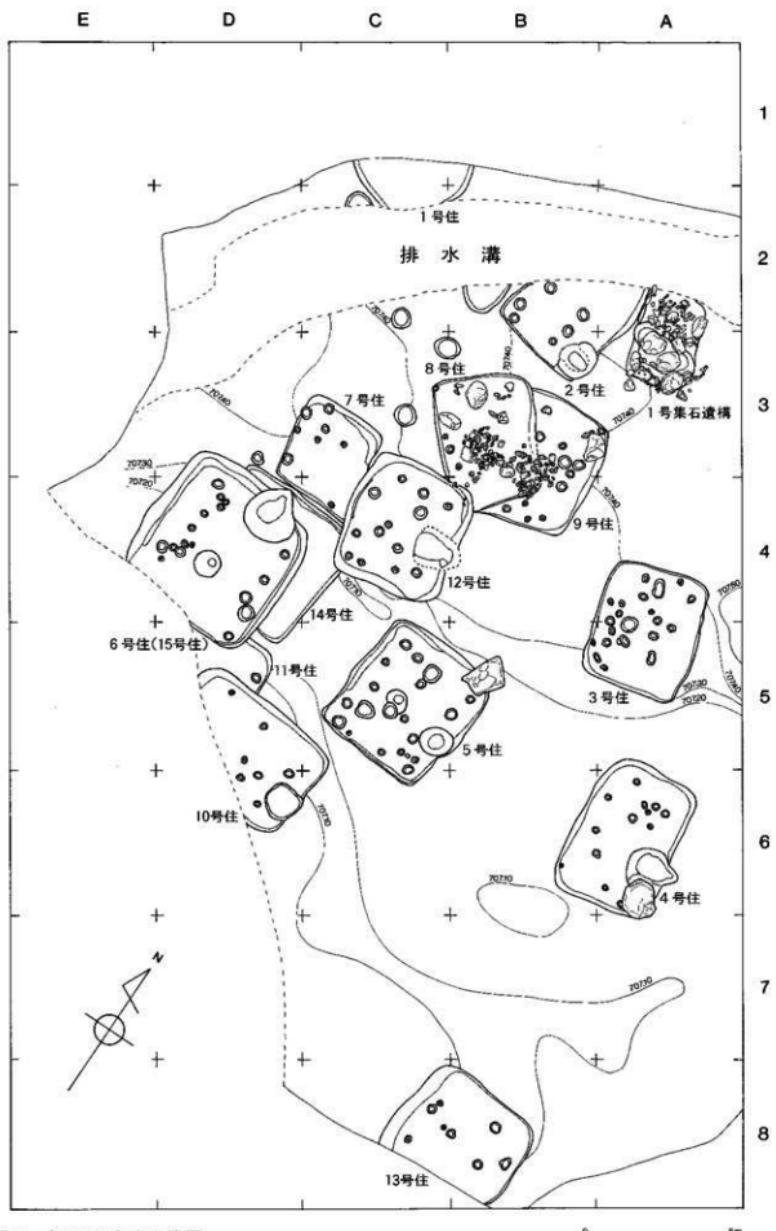


図4 柳坪南遺跡全体図

3 遺物 (図22~45)

表2 1号住居址遺物観察表 (図6.22)

番号	種類	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面) 色調(外面)	調 整	特徴	残存率
1	土師器	坪 4.7 (13.8) 5.6	スコリア	暗褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転条切り			45%
2	土師器	坪 — (16.0) —	スコリア	暗黄褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り			10%
3	土師器	坪 — (14.0) —	石英・長石・雲母	暗褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り			30%
4	土師器	坪 — (15.6) —	スコリア	赤褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り			10%
5	土師器	坪 — (12.0) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り			20%
6	土師器	坪 — (13.0) —	スコリア	暗褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ			10%
7	土師器	坪 — (13.6) —	石英・長石・雲母	暗褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		墨文	10%
8	土師器	皿 2.4 13.4 4.8	スコリア	黒褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り			70%
9	土師器	鉢 — (33.8) —	石英・長石・雲母	暗褐色 (内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目			30%
10	土師器	坪 — (15.0) —	石英・長石・雲母	褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り			20%
11	土師器	皿 (3.0)(14.0) —	石英・長石・雲母	赤褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り			20%
12	灰釉陶器	坪 — — (5.0)	白色粒	灰色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		高台	20%

表3 2号住居址遺物観察表 (図7.23,24)

1	土師器	坪 5.5 (14.4) 5.0	石英・長石・雲母	黒褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転条切り			45%
2	土師器	坪 6.1 (17.6) (7.0)	石英・長石・雲母	灰褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転条切り		内黒	10%
3	土師器	坪 (4.2)(13.7) —	石英・長石・雲母	暗褐色～ 黒褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		墨書・内黒 墨文	20%
4	土師器	坪 (4.0)(17.0) —	石英・長石・雲母	暗灰色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		内黒	20%
5	土師器	坪 (3.0)(12.6) —	石英・長石・雲母	暗褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		内黒	小片
6	土師器	坪 (4.0)(13.4) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ			20%
7	土師器	坪 (3.0)(16.0) —	石英・長石・雲母	赤褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		内黒	小片
8	土師器	坪 (2.5)(13.4) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ			15%
9	土師器	坪 (2.0)(16.0) —	スコリア	赤褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ			小片
10	土師器	坪 — — 6.0	石英・長石・雲母	暗褐色 (底)回転条切り			20%
11	土師器	甕 (9.1)(10.0) (5.2)	石英・長石・雲母	暗赤褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転条切り			40%
12	土師器	甕 — (18.8) —	石英・長石・雲母	暗褐色 (内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目			10%
13	土師器	甕 — (16.0) —	石英・長石・雲母	暗赤褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、クシ目			10%
14	土師器	甕 — — (8.5)	石英・長石・雲母	暗赤褐色 (外)タテ刷毛目 (底)木葉模			5%

表4 3号住居址遺物観察表 (図8.25)

1	土師器	皿 (2.1)(14.0) —	石英・長石・雲母	黒褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		内黒	小片
---	-----	-----------------	----------	--------------------------	--	----	----

表5 4号住居址遺物観察表 (図9.26)

1	土師器	坪 4.2 12.8 5.2	スコリア	赤褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転条切り			70%
2	土師器	甕 — (29.0) —	石英・長石・雲母	暗赤褐色 (内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目			10%
3	土師器	坪 (3.5)(12.0) —	スコリア	赤褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り			15%
4	土師器	坪 (4.5)(14.0) —	スコリア	暗褐色 (内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り			35%

番号	種類	器形	大きさ(cm)		胎土	色調(内面) 色調(外面)	調整	特徴	残存率
			器高・口径	底径					
5	土器	壺	(3.3)(12.0)	—	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転余切り	墨書き	15%
6	土器	壺	—	(5.6)	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	繪文	小片

表6 5号住居址遺物観察表(図10.27.28)

1	土器	壺	4.3 (11.6)	5.4	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転余切り	内黒	40%
2	土器	壺	(4.1)(14.0)	—	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	高台 繪文	30%
3	土器	壺	(4.0)(14.0)	—	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	繪文	小片
4	土器	皿	(2.5)(13.0)	—	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		20%
5	土器	甕	— (13.8)	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目 (底)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目		10%
6	土器	甕	—	8.0	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		10%
7	土器	壺	4.7 15.4	5.8	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転余切り、ヘラ削り	内黒 繪文	65%
8	土器	壺	4.2 12.4	4.0	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		70%
9	土器	甕	5.3 14.6	6.4	石英・長石・雲母 スコリア	暗灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)ヘラ削り	内黒	60%
10	土器	壺	(5.1)(14.4)	—	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		30%
11	土器	甕	4.1 12.0	5.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		60%
12	土器	壺	(5.0)(14.2)	—	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		30%
13	土器	甕	(4.3)(11.4)	—	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		15%
14	土器	壺	(4.3)(17.0)	—	石英・長石・雲母	暗黃褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		30%
15	土器	甕	(3.6)(12.6)	—	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	20%
16	土器	壺	(4.8)(16.0)	—	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	20%
17	土器	壺	(3.2)(14.6)	—	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		15%
18	土器	甕	(4.0)(13.6)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		30%
19	土器	壺	(3.5)(12.4)	—	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		20%
20	土器	甕	(2.7)(13.8)	—	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	墨書き	30%
21	土器	甕	(2.8)(14.0)	—	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	15%
22	土器	甕	(3.1)(12.8)	—	石英・長石・雲母	暗黃褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	15%
23	土器	壺	— — (4.8)	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転余切り	小片	
24	土器	壺	— — (6.0)	—	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転余切り		20%
25	土器	皿	3.0 12.6	5.6	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)ヘラ削り		60%
26	土器	甕	— — (9.0)	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		5%
27	土器	甕	— — (8.0)	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		5%

表7 6号住居址遺物観察表(図11.12.13.29.30)

1	土器	皿	2.4 6.8	—	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	繪文	80%
2	土器	甕	12.3 13.0	6.8	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転余切り		40%
3	土器	甕	(15.2)(18.0)	(7.8)	石英・長石・雲母	暗黃褐色	(内)ロクロナデ(外)ヨコ刷毛目 (底)回転余切り		20%
4	土器	甕	4.1 13.0	5.6	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転余切り	内黒	80%
5	土器	壺	4.2 13.0	5.6	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転余切り	墨書き 内黒	60%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 鉢高・口径・底径	胎土	色調(内面) (外面)	調整量	特徴	既存率
6	土師器	坪	5.0 13.2 5.8	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	墨書き 暗文	50%
7	土師器	坪	4.0 (11.4)(5.6)	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)ヘラ削り	墨書き 内墨	30%
8	土師器	坪	(3.6)(13.0)(5.6)	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	暗文	15%
9	土師器	坪	(3.5)(12.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	暗文	10%
10	土師器	坪	(4.0)(11.2) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		10%
11	土師器	坪	(4.5)(18.8) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨	20%
12	土師器	坪	(3.6)(12.0) —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	暗文	10%
13	土師器	坪	(3.9)(13.4) —	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		10%
14	土師器	坪	(3.2)(16.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		20%
15	土師器	坪	(3.5)(12.8) —	石英・長石・雲母	灰褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨	8%
16	土師器	坪	(4.5)(14.8) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨	10%
17	土師器	坪	(3.2)(13.2) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		20%
18	土師器	坪	(3.4)(12.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨	20%
19	土師器	坪	(3.8)(13.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨	20%
20	土師器	坪	(4.0)(14.8) —	石英・長石・雲母	暗灰褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨	5%
21	土師器	坪	(3.4)(11.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		10%
22	土師器	坪	(3.6)(13.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗灰褐色	(内)ロクロナデ、ヘラ削り(外)ロクロナデ		20%
23	土師器	坪	(2.5)(12.8) —	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		10%
24	土師器	坪	(3.5)(13.0) —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨	10%
25	土師器	坪	— — (5.8)	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (第3回転糸切り)	内墨	30%
26	土師器	坪	— — (5.6)	石英・長石・雲母	灰白色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り		20%
27	土師器	坪	— — (5.0)	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (第3回転糸切り)	内墨	30%
28	土師器	坪	— — (4.4)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		20%
29	土師器	坪	— — (5.6)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	墨書き	20%
30	土師器	坪	— — 4.4	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	墨書き	小片
31	土師器	坪	— — —	スコリア	明灰色 赤褐色	(内)ロクロナデ(底)回転糸切り	墨書き	小片
32	土師器	皿	— — (6.1)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転糸切り	墨書き	小片
33	土師器	皿	— — (9.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	墨書き 暗文	小片
34	土師器	皿	2.8 13.6 6.0	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	墨書き ナガサキ暗文	90%
35	土師器	皿	(2.9) 13.2 (6.4)	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	墨書き 内墨	40%
36	土師器	皿	(2.2)(13.6)(3.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)ヘラ削り		25%
37	土師器	皿	(2.8)(13.0)(5.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラタタキ (底)ヘラ削り		30%
38	土師器	皿	(1.8)(13.2) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		10%
39	土師器	皿	(2.6)(16.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		20%
40	土師器	皿	(2.2)(16.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	暗文	10%
41	土師器	皿	(2.0)(14.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		20%
42	土師器	皿	(2.1)(13.6) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨	10%
43	土師器	皿	(2.3)(16.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		10%

番号	種類	器形	大きさ(cm)		胎土色調(内面)	調整	特徴、残存率	
			高さ・口径・底径	幅				
44	土師器	壺	—	(8.0)	石英・長石・雲母 スコリア	明黄色 赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目 (底)木葉痕	10%
45	土師器	土製 円盤	規格 厚さ	1.0 1.9 0.45	スコリア	赤褐色		再製品 100%

表8 7号住居址遺物観察表(図14.31)

1	土師器	壺	4.2	11.6	6.4	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転条切り	刺書 埋文 75%
2	土師器	壺	—	—	6.0	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転条切り	墨凹 30%
3	土師器	壺	—	26.0	23.2	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目	5%

表9 8号住居址遺物観察表(図15.32)

1	土師器	壺	(3.2)(16.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	埋文	10%
2	土師器	壺	(2.5)(14.2)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		20%
3	土師器	?	—	(6.4)	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転条切り	高台	20%
4	土師器	壺	—	29.0	—	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目	5%

表10 9号住居址遺物観察表(図15.33)

1	土師器	壺	(4.2)(15.6)	—	石英・長石・雲母 スコリア	褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨	15%	
2	土師器	壺	—	—	9.0	石英・長石・雲母 スコリア	黃褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転条切り、クシ目	内墨	20%

表11 10号住居址遺物観察表(図16.17.34.35)

1	土師器	壺	3.2	13.8	6.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転条切り	— 20%
2	土師器	壺	(2.8)	16.0	—	石英・長石・雲母 スコリア	暗黃褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	小片
3	土師器	壺	(3.0)(14.0)	—	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
4	土師器	壺	(2.5)(14.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		10%
5	土師器	壺	—	—	4.4	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	30%
6	灰釉陶器	鉢	—	(7.6)	—	白色粒 黒色粒	暗灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転条切り	高台 20%
7	須恵器	壺	(3.5)(14.4)	—	白色粒	灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		20%
8	土師器	壺	5.2	(15.2)	6.0	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転条切り	刺書 60%
9	土師器	壺	4.2	(13.2)	4.8	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)底切、ヘラ削り	墨書 70%
10	土師器	壺	4.2	(13.6)	6.2	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転条切り	45%
11	土師器	壺	4.0	(13.4)	(5.0)	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	30%
12	土師器	壺	(3.5)(12.0)	(6.0)	—	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨 埋文 30%
13	土師器	壺	4.1	13.0	5.0	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	墨書 90%
14	土師器	?	(4.8)(16.8)	—	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		20%
15	土師器	壺	(3.8)(13.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		10%
16	土師器	壺	(3.6)(13.4)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		10%
17	土師器	壺	(2.5)(13.6)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		10%
18	土師器	壺	(3.7)(10.8)	—	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		小片

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面) (外面)	調整	特徴	残存率
19	土師器	壺	(3.0)(13.4) -	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)ヘラ削り		10%
20	土師器	壺	(2.8)(14.0) -	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)ヘラ削り	内黒	10%
21	土師器	壺	- - (5.0)	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		30%
22	土師器	壺	- - (6.8)	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り		20%
23	土師器	壺	- - (5.4)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転ヘラ削り		30%
24	土師器	壺	- - -	スコリア	明黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り	墨書き	小片
25	土師器	壺	- - 5.0	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転ヘラ削り		20%
26	土師器	壺	- - (4.0)	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		20%
27	土師器	壺	- (31.8) -	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
28	土師器	壺	- (19.0) -	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		10%
29	土師器	壺	- 14.0 -	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		10%

表12 11号住居址遺物観察表 (図16.17.36)

1	土師器	壺	(4.5)(11.1)(4.8)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		10%
---	-----	---	------------------	------	-----	-----------------------------------	--	-----

表13 12号住居址遺物観察表 (図18.19.37.38.39)

1	土師器	壺	4.2 15.4 6.0	石英・長石・雲母	茶褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒 墨文	60%
2	土師器	壺	3.8 12.8 5.4	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り		70%
3	土師器	壺	(3.5) 15.0 -	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書き 内黒	20%
4	土師器	壺	(3.9) 11.6 -	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		35%
5	土師器	壺	17.3 15.6 7.4	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ヨコ刷毛目 (底)回転糸切り		80%
6	土師器	壺	4.8 - 5.8	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒 墨文	70%
7	土師器	壺	4.3 15.4 6.8	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	50%
8	土師器	壺	5.5 15.6 (6.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		30%
9	土師器	壺	4.4 11.8 5.4	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		50%
10	土師器	壺	(4.8) 15.1 4.2	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ磨キ	内黒 高台	60%
11	土師器	壺	(4.0)(11.0) -	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ロクロナデ、ヘラ磨キ (外)ロクロナデ		30%
12	土師器	壺	(3.3)(16.0) -	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		10%
13	土師器	壺	(3.5)(16.0) -	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
14	土師器	壺	(3.2)(14.0) -	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
15	土師器	壺	(4.0) 14.8 -	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	30%
16	土師器	壺	(3.5) 11.6 -	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)糸切り		20%
17	土師器	壺	(2.7)(14.0) -	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		15%
18	土師器	壺	(3.0)(12.0) -	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書き	10%
19	土師器	壺	(4.1)(16.6) -	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書き・内黒 墨文	20%
20	土師器	壺	(4.2)(13.4) -	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
21	土師器	壺	(3.2)(12.8) -	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	15%
22	土師器	壺	(4.0)(17.0) -	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
23	土師器	壺	(3.6)(12.8) -	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	35%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	絹土	色調(内面)	調整	特徴	保存率
24	土師器	壺	(4.4)(7.0) -	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	40%
25	土師器	壺	(2.8)(12.4) -	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒 口縁に溝	10%
26	土師器	壺	- - 5.2	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	20%
27	土師器	壺	- - 5.6	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	30%
28	土師器	壺	- - 5.4	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	20%
29	土師器	壺	- - 7.0	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	墨書 内黒	15%
30	土師器	壺	- - 5.0	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	30%
31	土師器	壺	- - 6.0	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	内黒	30%
32	土師器	皿	3.0 13.0 6.0	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)糸切り、ヘラ削り		90%
33	土師器	皿	2.8 13.2 5.2	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	90%
34	土師器	皿	2.7 13.0 5.4	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		50%
35	土師器	皿	2.6 14.0 5.0	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		50%
36	土師器	皿	2.5 13.8 -	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		30%
37	土師器	皿	2.8 13.2 4.4	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		50%
38	土師器	皿	(2.0)(13.2) -	石英・長石・雲母 スコリア	茶褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		15%
39	土師器	皿	(2.0)(14.0) -	石英・長石・雲母 スコリア	薄茶色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		15%
40	土師器	皿	(2.3)(13.6) -	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
41	土師器	皿	(2.2)(14.0) -	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	10%
42	土師器	皿	(2.3)(13.2) -	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	墨書	15%
43	土師器	皿	(2.2)(12.4) -	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	墨書	20%
44	土師器	甕	14.2 13.2 6.0	石英・長石・雲母	緑赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り		40%
45	土師器	甕	9.2 10.8 5.0	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り		30%
46	土師器	甕	- - 7.2	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り		10%
47	土師器	甕	13.3 16.4 7.6	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タケ刷毛目 (底)木漬液		45%
48	土師器	甕	- - 25.2 -	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タケ刷毛目		15%
49	土師器	鉢?	- - 9.0	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		10%
50	灰陶陶器	蓋	3.2 14.6 -	白色粒	緑灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		50%
51	灰陶陶器	壺	6.8 18.4 9.4	白色粒	緑灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	高台	30%
52	灰陶陶器	壺	(4.2)(18.4) -	白色粒	緑灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		20%
53	灰陶陶器	鉢	- - 9.0	白色粒	明緑色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	高台	15%

表14 13号住居址遺物観察表(図20.40)

1	土師器	壺	4.2 13.2 4.8	石英・長石・雲母 スコリア	明赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		90%
2	土師器	壺	(3.8)(11.8) -	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	唯文	10%
3	土師器	壺	(3.8)(16.0) -	石英・長石・雲母 スコリア	黄赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒 暗文	15%
4	土師器	壺	(2.8)(11.6) -	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	墨書 暗文	10%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面) (外面)	調整	特徴	残存率
5	土器	环	(3.6)(12.4) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	暗文	10%
6	土器	环	(3.4)(13.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		20%
7	土器	环	— — (6.6)	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)余切り	暗文	20%
8	土器	皿	(2.2)(15.2) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	暗文	10%
9	土器	皿	(2.0)(14.8) —	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		8%

表15 14号住居址遺物観察表(図11.41)

1	土器	环	5.3 14.6 6.6	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)余切り、ヘラ削り	暗文	90%
---	----	---	--------------	------	-----	--------------------------------------	----	-----

表16 15号住居址遺物観察表(図11.42.43)

1	土器	环	(3.7)(11.2)(5.6)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	暗文	25%
2	土器	环	— (16.8) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	15%
3	土器	环	(3.8)(12.8) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	15%
4	土器	环	(4.0)(14.4) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	20%
5	土器	环	(3.5)(13.4) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	20%
6	土器	环	(3.1)(13.0) —	石英・長石・雲母	灰褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	20%
7	土器	环	4.2 12.1 5.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)余切り、ヘラ削り		70%
8	土器	环	— — (5.4)	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	小片
9	土器	裏	— — (6.2)	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、クシ目 (底)余切り		10%

表17 表採 遺物観察表(図44)

1	土器	环	4.0 10.8 4.6	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)余切り、ヘラ削り	暗文	80%
2	土器	环	4.0 12.8 5.0	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		小片
3	土器	环	(3.0)(12.0) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	墨書	15%
4	土器	环	(4.2)(13.6) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ、クシ目(外)ロクロナデ	内黒	20%
5	土器	环	— — (5.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)余切り、ヘラ削り		30%
6	土器	环	— — (6.6)	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)余切り	内黒	30%
7	土器	环	— — (5.6)	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転余切り	内黒	40%
8	土器	皿	2.5 12.5 5.0	石英・長石・雲母	茶褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転余切り	内黒	80%
9	灰陶器	环	— — (9.6)	白色粒	灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	高台	20%

表18 調査区北遺物観察表(図45)

1	須恵器	蓋	— — —	白色粒・黒色粒	灰白色	(内)ロクロナデ、ヘラ調整(外)ロクロナデ、クシ目		10%
2	須恵器	蓋	— (39.4) —	白色粒	灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		5%
3	土器	蓋	4.4 16.0 —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	暗文	95%
4	土器	蓋	— 25.4 —	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ削毛目(外)タテ削毛目		5%

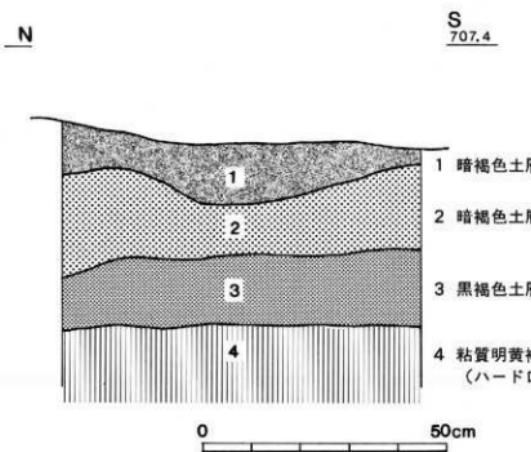


図5 基本層序

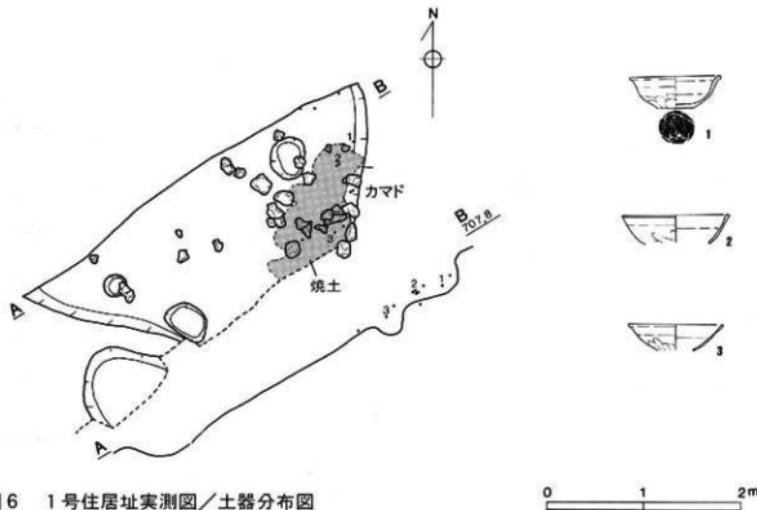
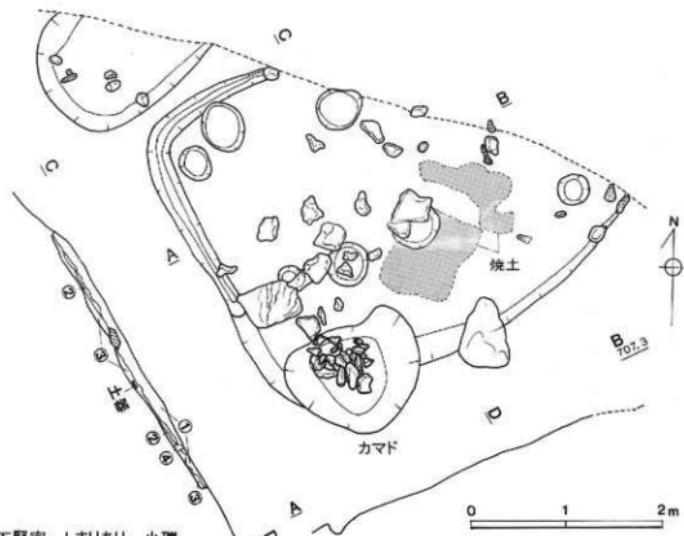


図6 1号住居址実測図／土器分布図



- ① 暗褐色土、不緊密、しまりあり、小礫
 ② 黒褐色土、緊密
 ③ 黄褐色土、ローム多量、不緊密、しまりあり
 ④ ロームブロック混入、不緊密、しまりあり

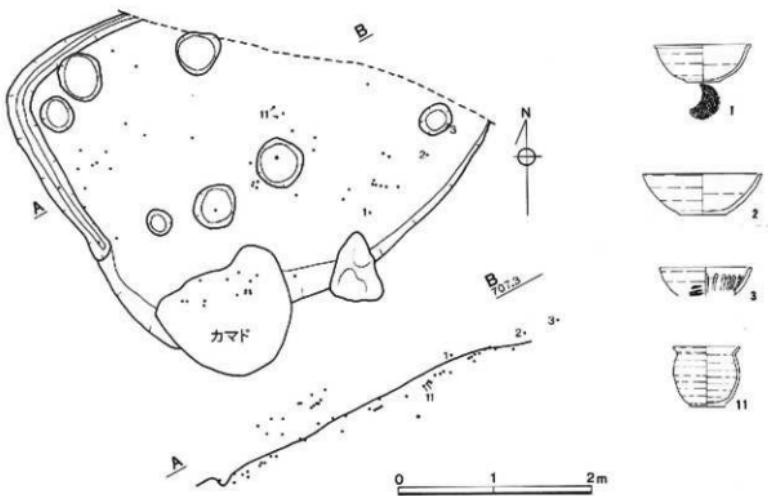
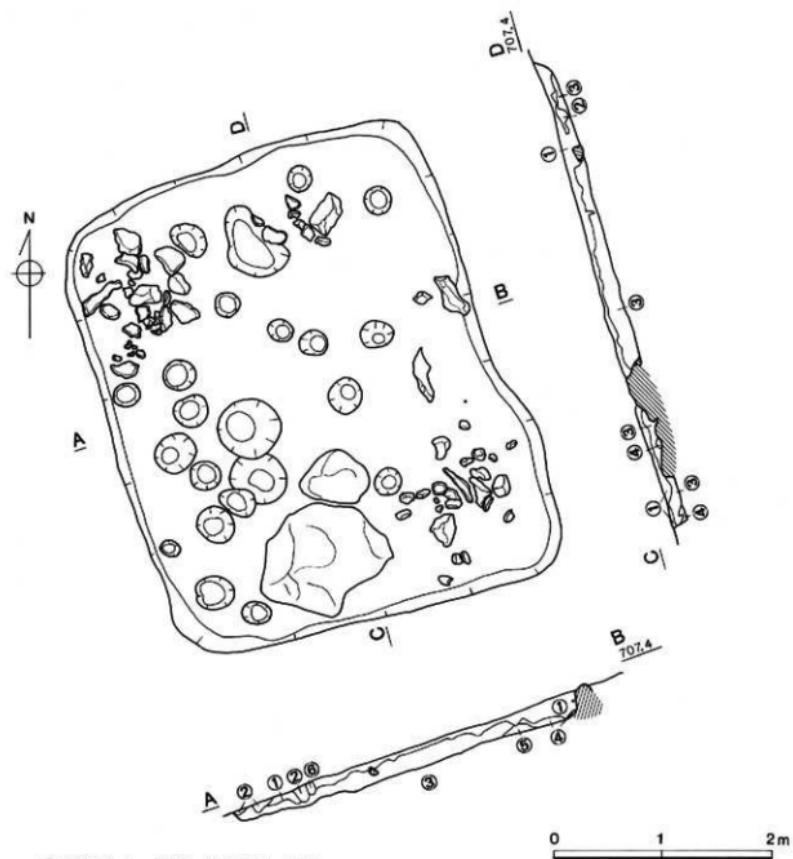
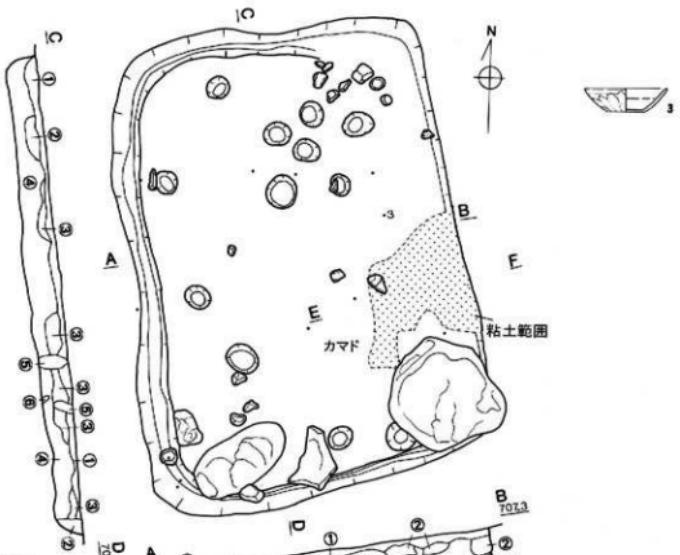


図7 2号住居址実測図／土器分布図



- ① 暗褐色土、緊密、しまりあり、小礫
- ② 黒褐色土、緊密、礫
- ③ 黄褐色土、ローム多量、不緊密、しまりなし
- ④ 黄褐色土、炭化物少量、緊密、しまり非常に強い、礫多量
- ⑤ 黒褐色土、ローム少量、不緊密
- ⑥ 暗褐色土、不緊密

図8 3号住居址実測図



- ① 暗褐色土、不緊密
- ② 黒褐色土、不緊密
- ③ 黒褐色土、ローム少量、不緊密
- ④ 黄褐色土、ローム少量、緊密、しまりあり
- ⑤ 黒褐色土、不緊密、しまりなし、礫
- ⑥ ロームブロック
- ⑦ 灰白色、粘土

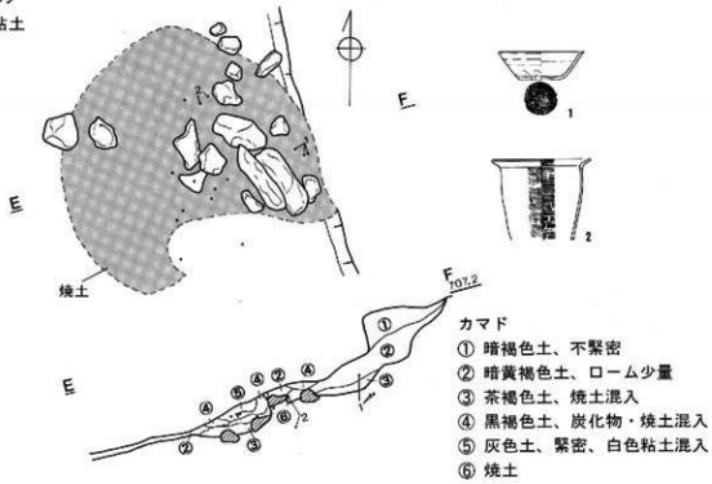


図9 4号住居址・カマド実測図／土器分布図

0 1m

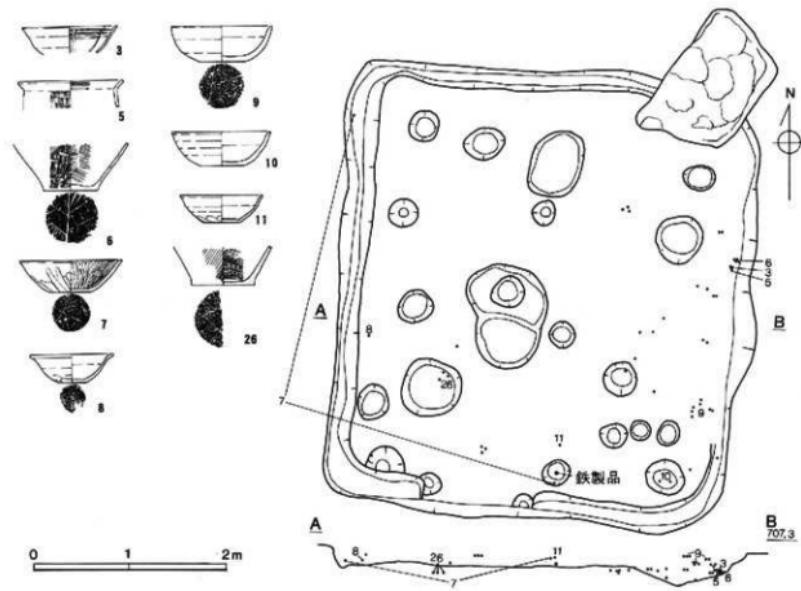
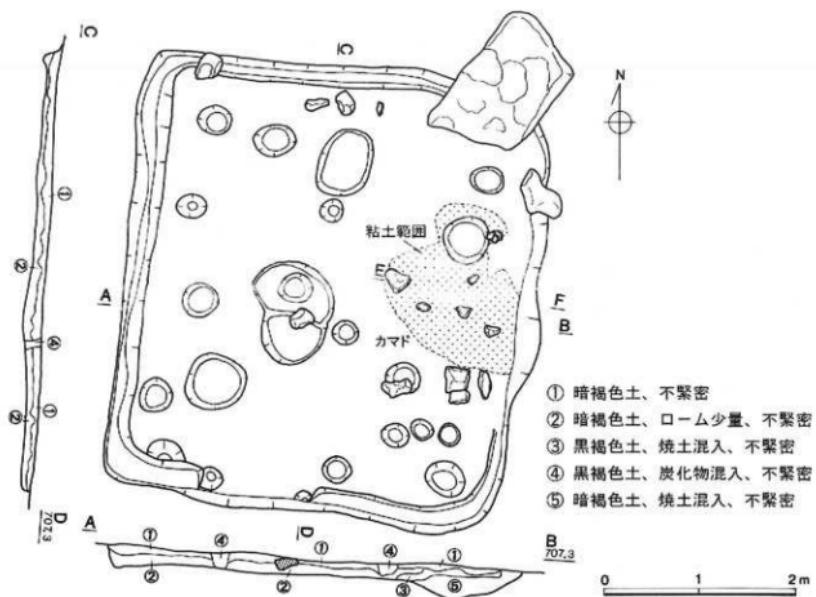
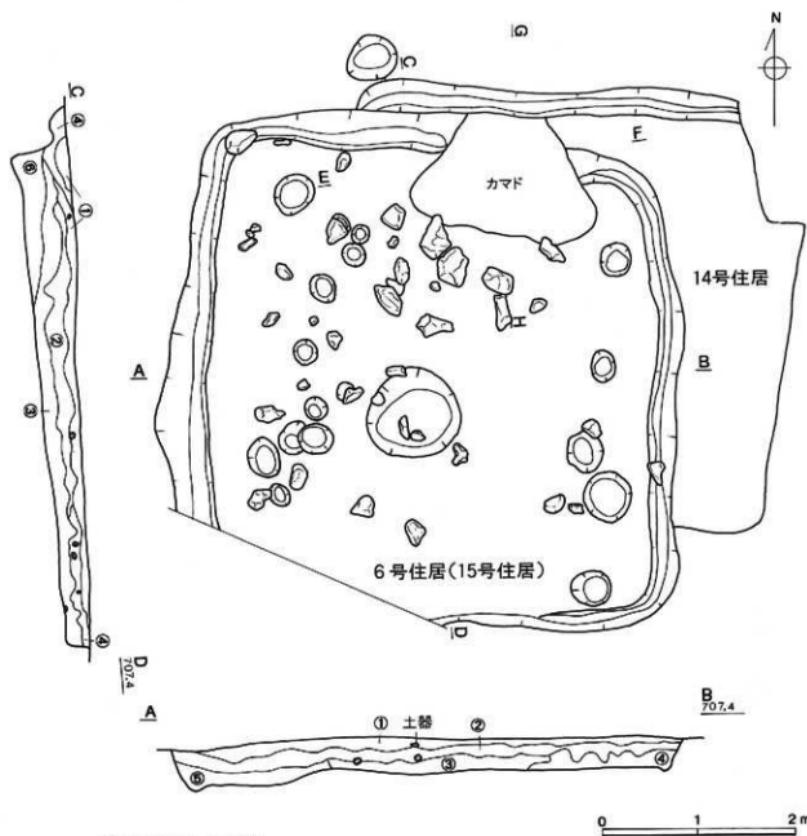


図10 5号住居址実測図／土器分布図



- ① 暗褐色土、不緊密
- ② 暗褐色土、ローム少量、焼土混入、不緊密
- ③ 黒褐色土、ローム微量、不緊密
- ④ 黄褐色土、ローム少量、不緊密
- ⑤ 黄褐色土、ロームブロック混入、不緊密
- ⑥ 灰白色、粘土

図11 6号住居(15号住居)・14号住居址実測図

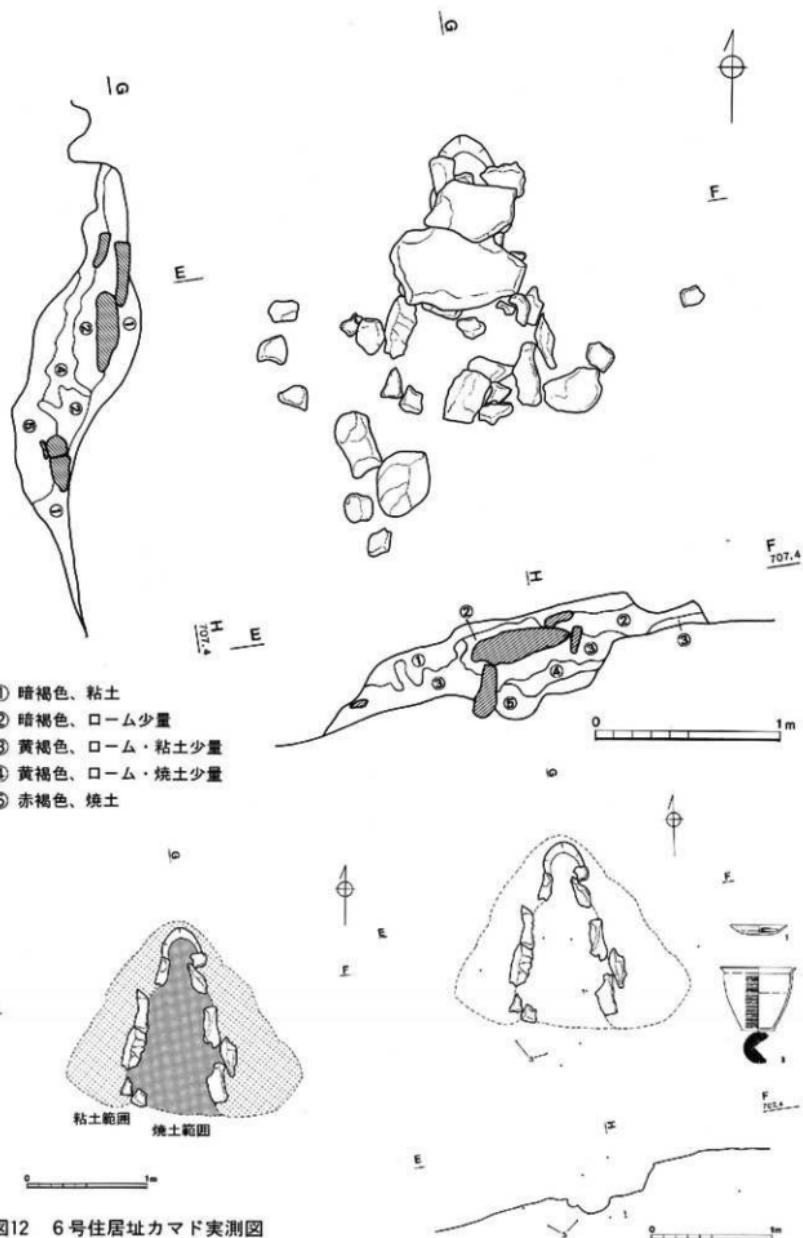


図12 6号住居址カマド実測図

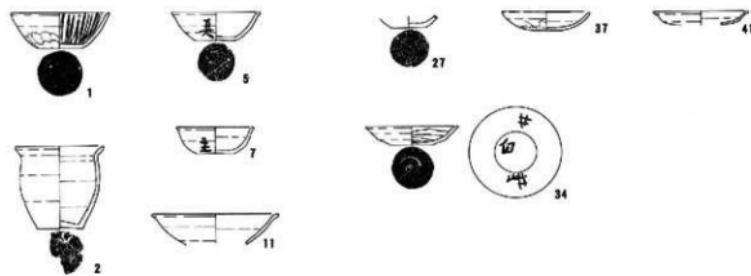
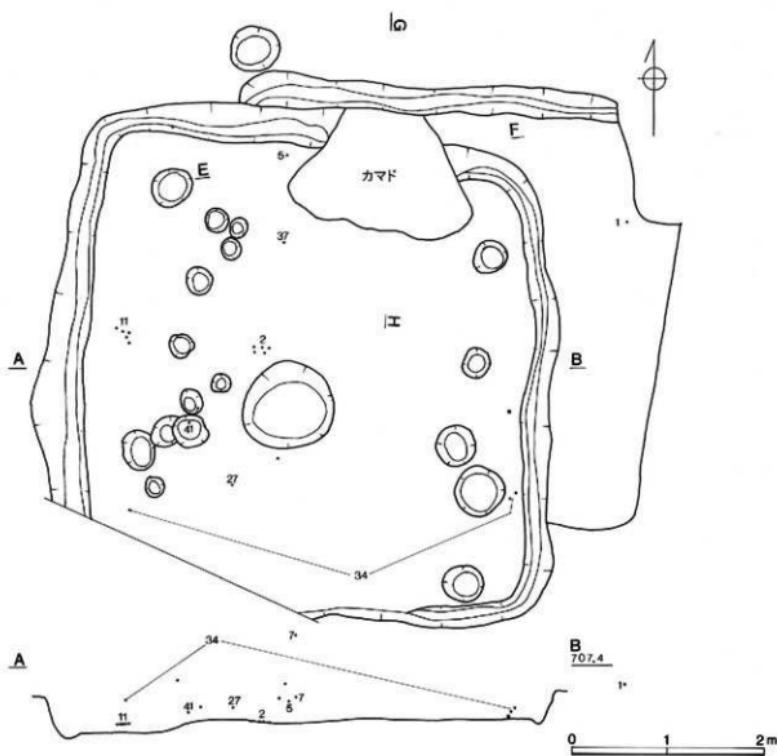


図13 6号住居址土器分布図

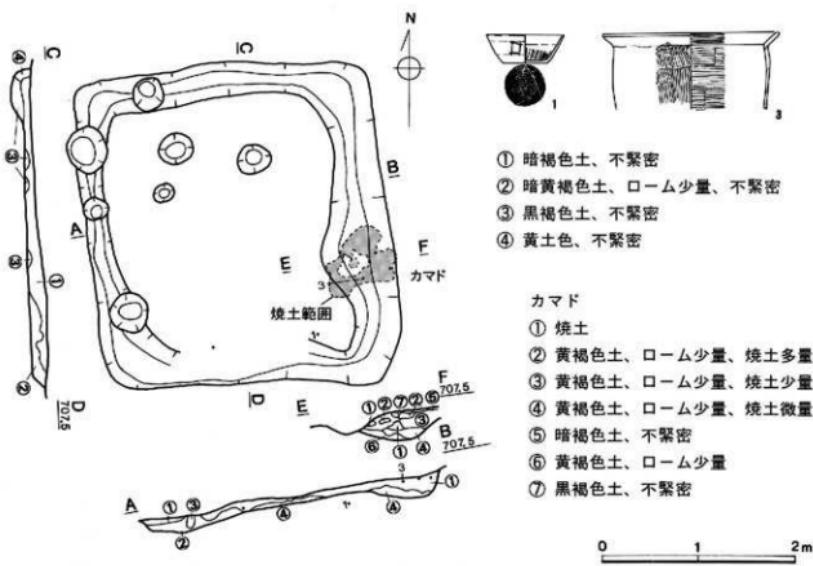


図14 7号住居址実測図／土器分布図



図15 8号・9号住居址実測図／土器分布図

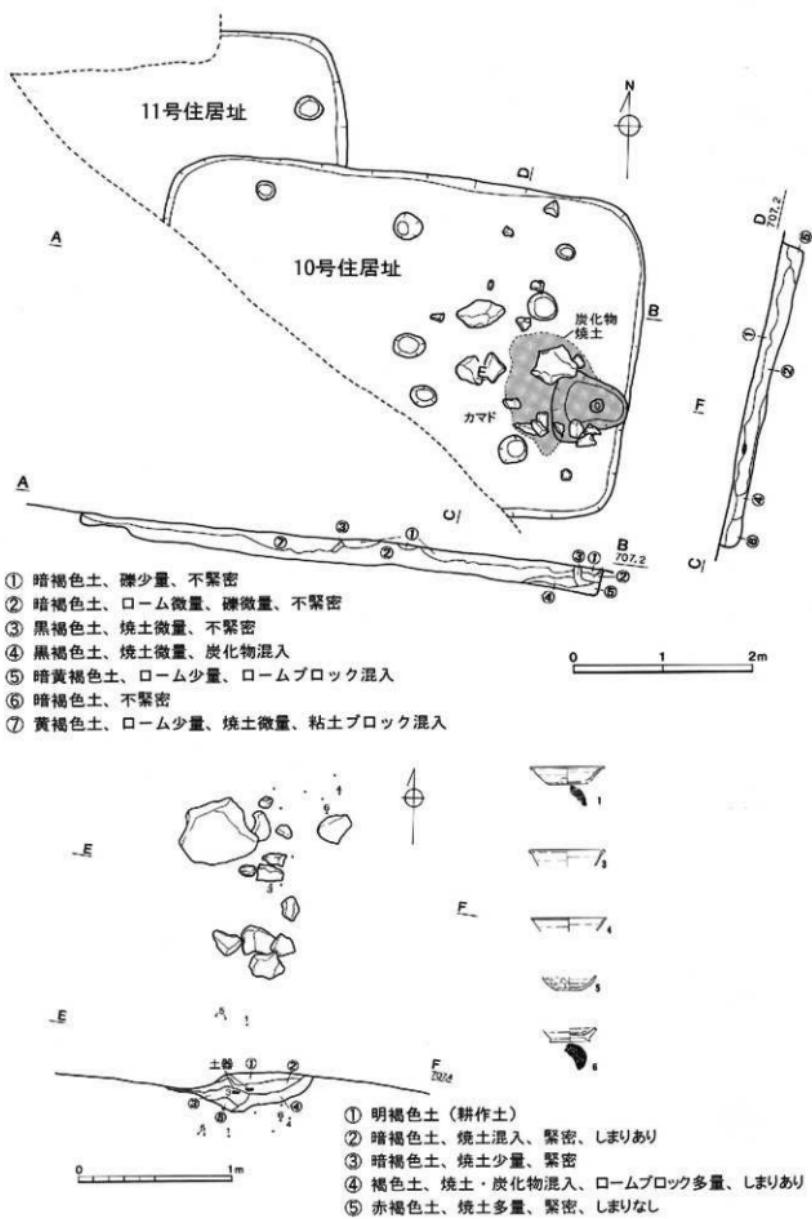


図16 10号住居址・カマド実測図／11号住居址実測図

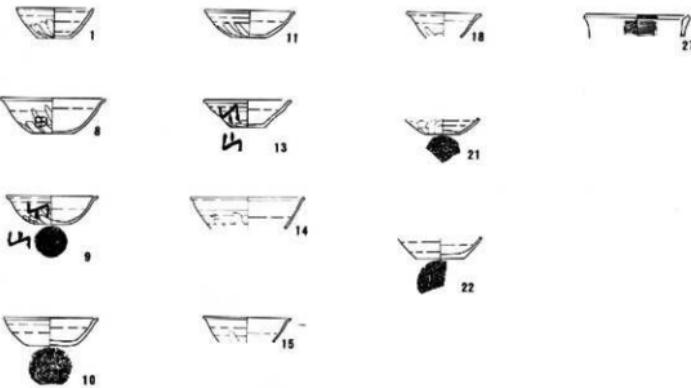
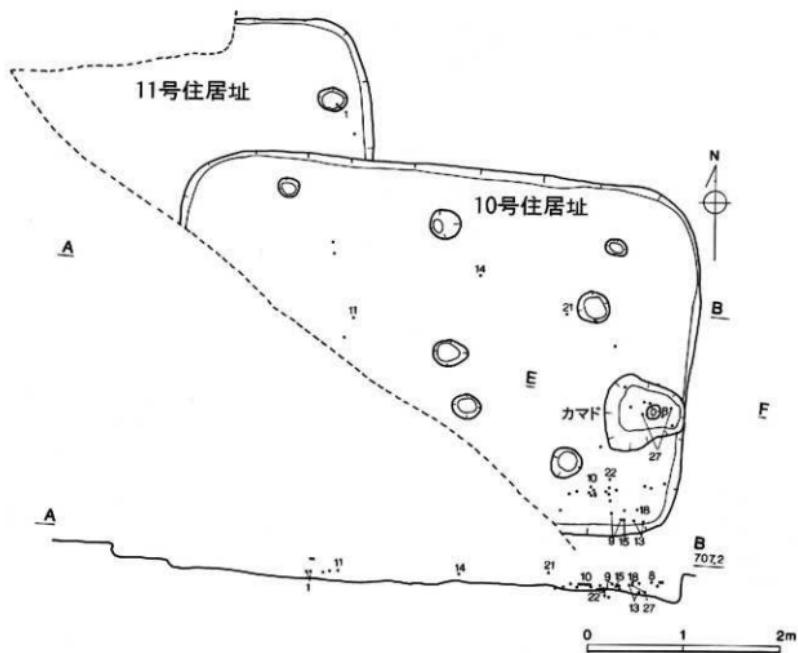


図17 10号・11号住居址土器分布図

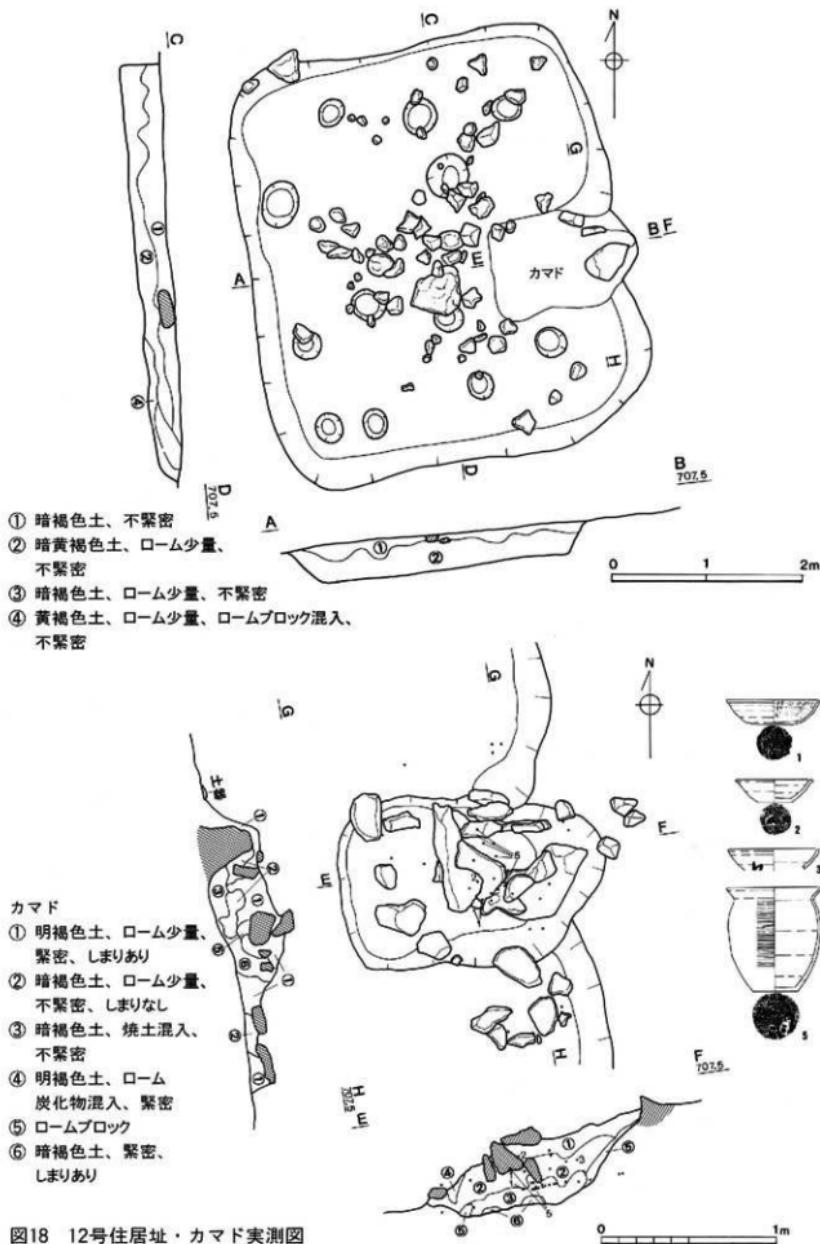


図18 12号住居址・カマド実測図

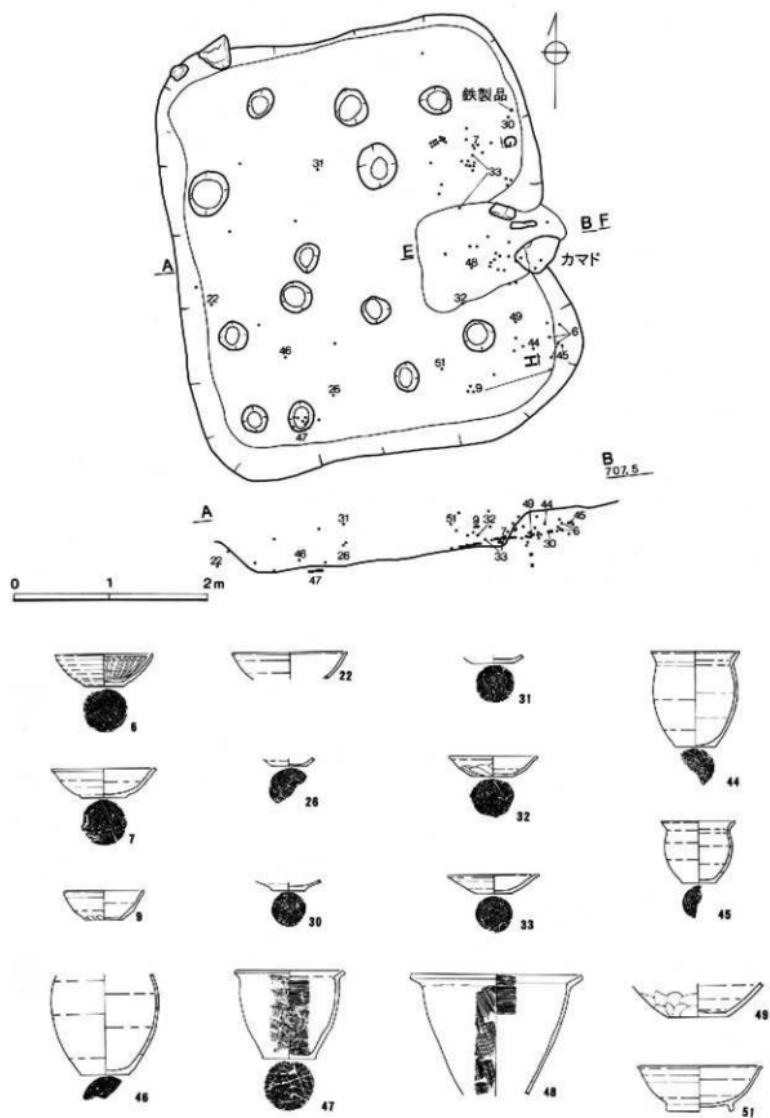
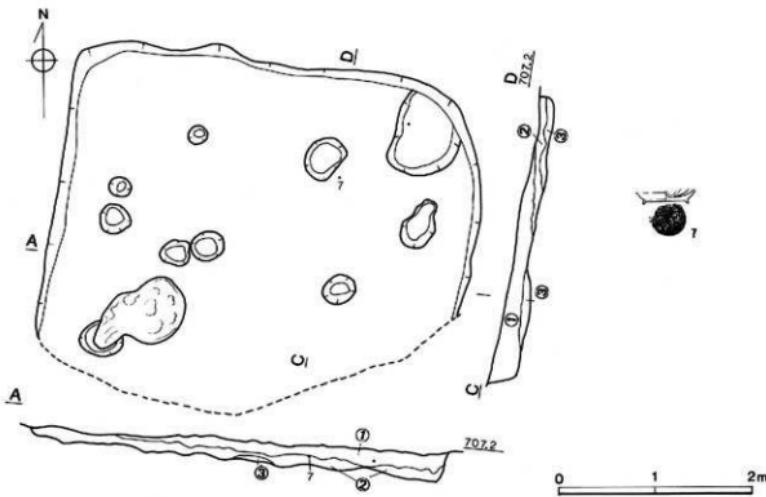


図19 12号住居址土器分布図

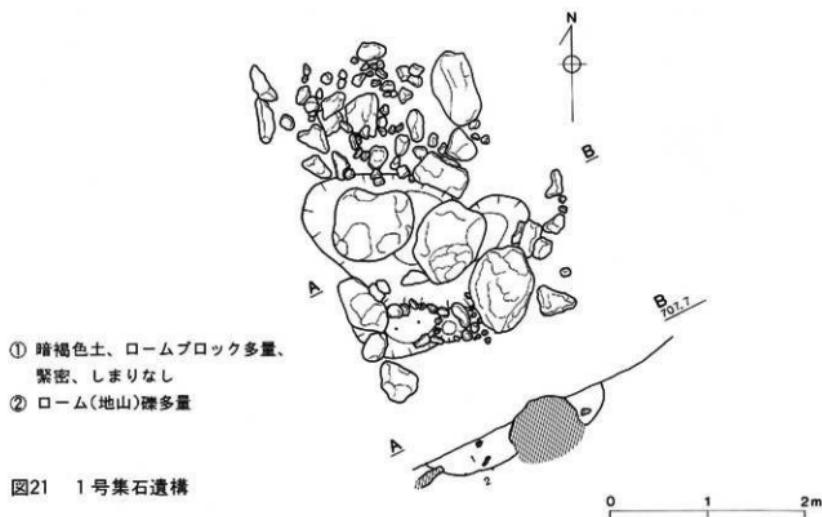


① 暗黄褐色土、ローム混入、不緊密

② 暗褐色土、ローム微量、不緊密

③ 黄土、ローム混入、不緊密

図20 13号住居址実測図／土器分布図



① 暗褐色土、ロームブロック多量、

緊密、しまりなし

② ローム(地山)礫多量

図21 1号集石遺構

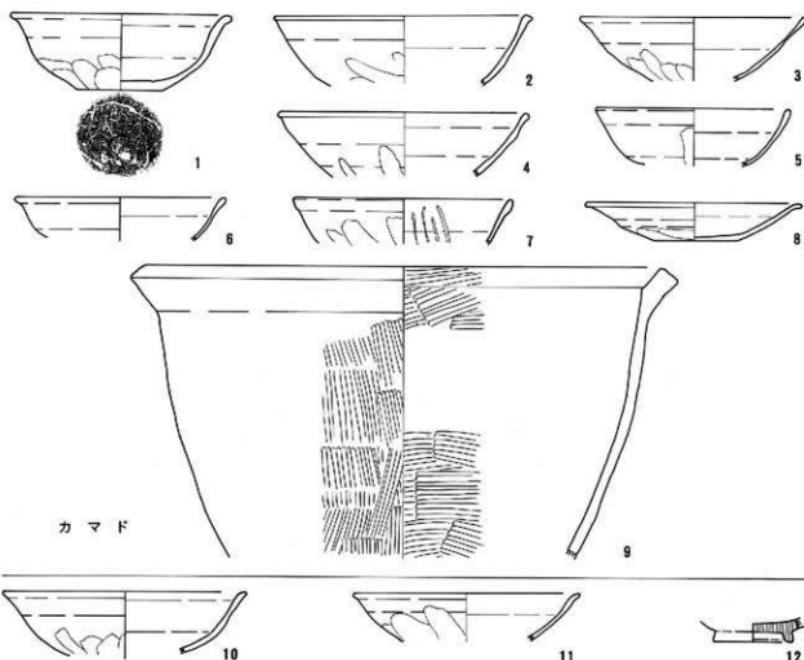


図22 1号住居址出土遺物 [1/3]

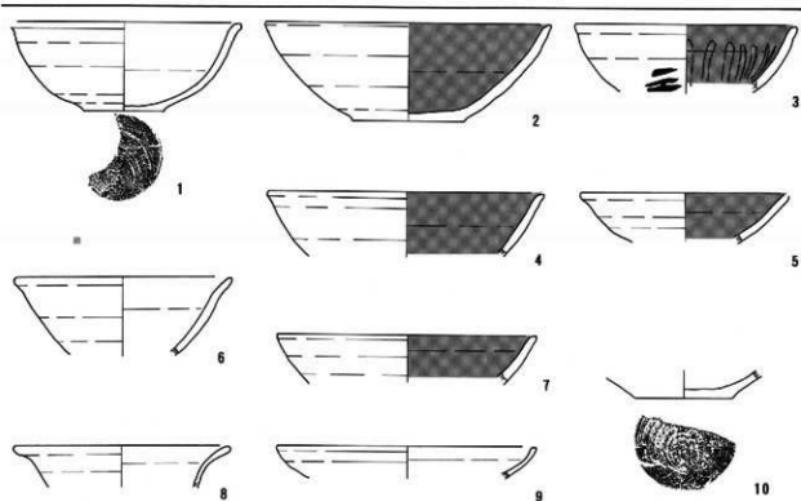


図23 2号住居址出土遺物(1) [1/3]

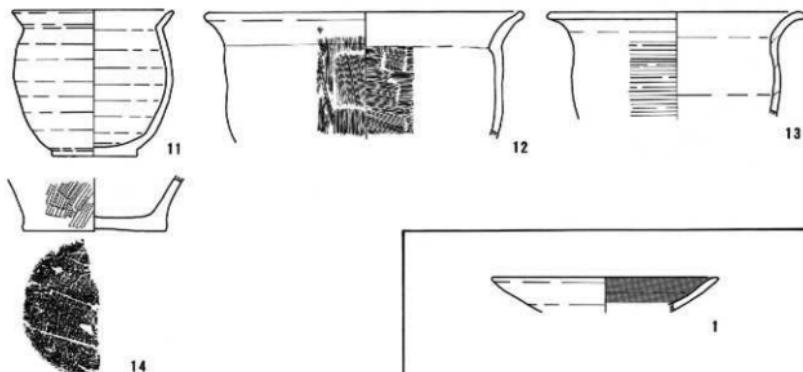


図24 2号住居址出土遺物(2) [1/3]

図25 3号住居址出土遺物 [1/3]

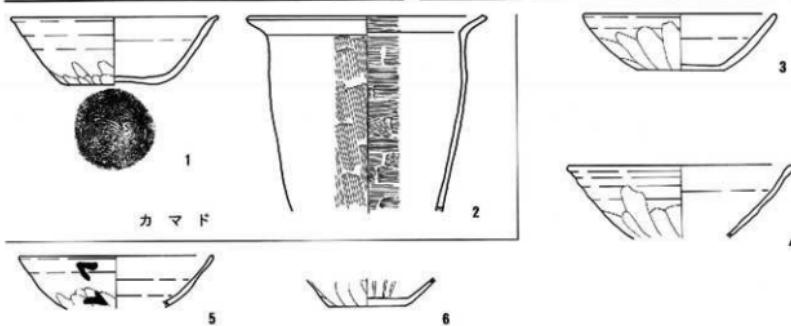


図26 4号住居址出土遺物 [1/3]

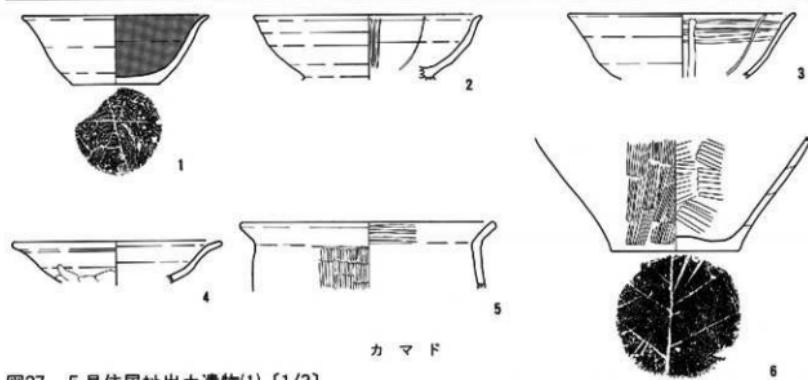


図27 5号住居址出土遺物(1) [1/3]

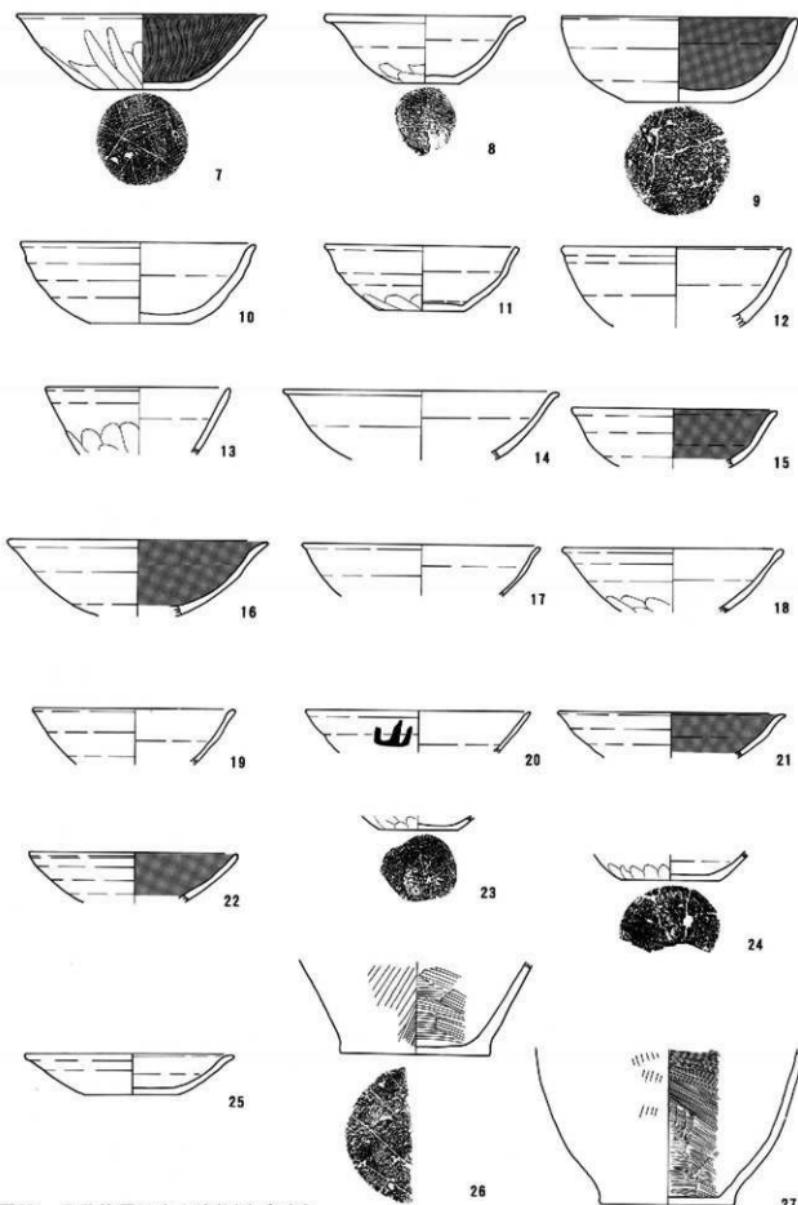


图28 5号住居址出土遗物(2) (1/3)

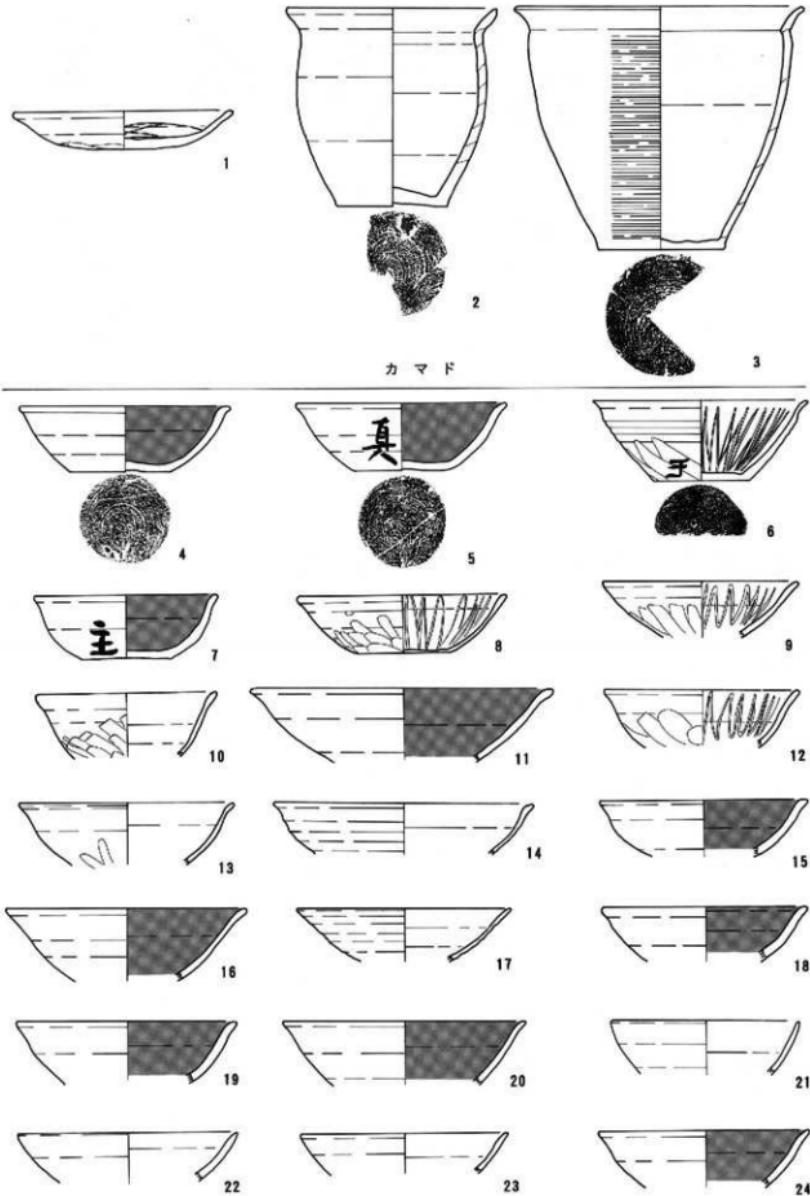


図29 6号住居址出土遺物(1) [1/3]

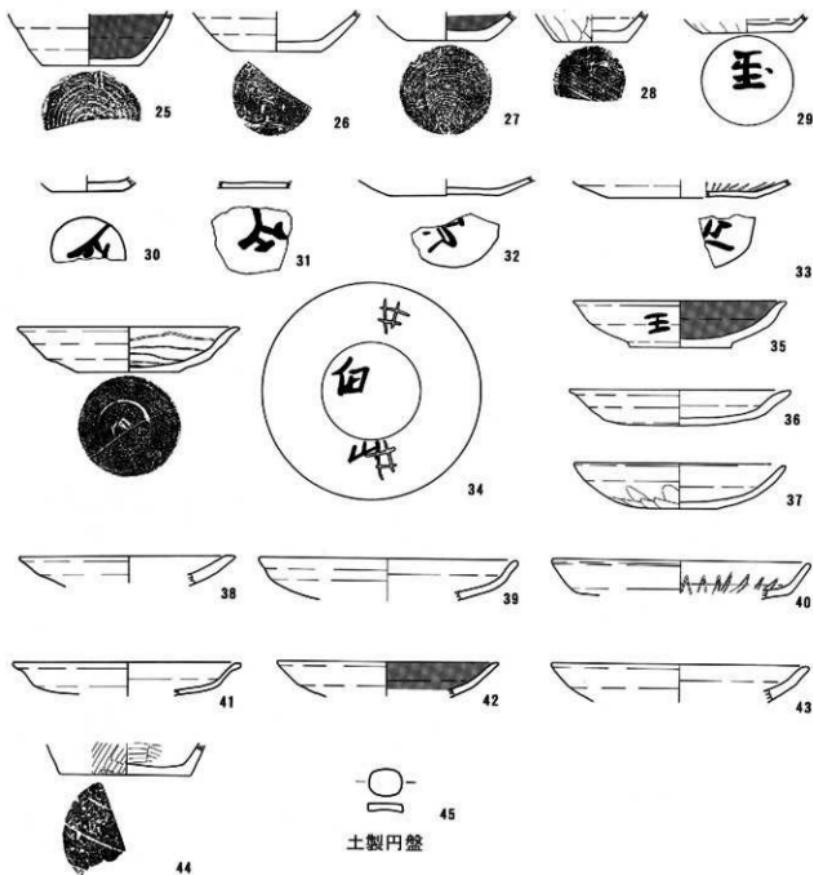


図30 6号住居址出土遺物(2) [1/3]

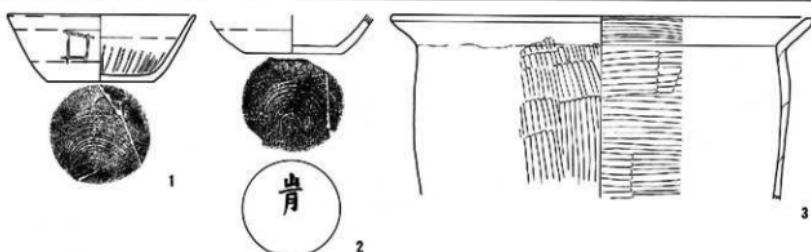


図31 7号住居址出土遺物 [1/3]

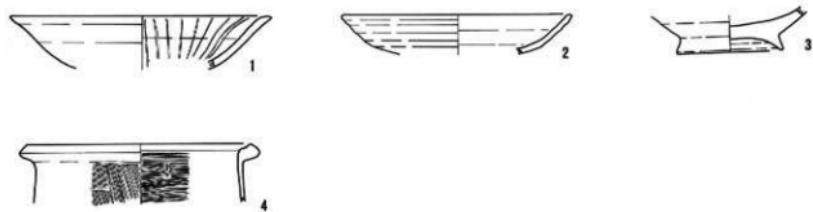


図32 8号住居址出土遺物 [1/3]

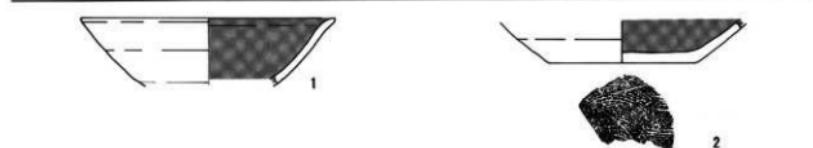


図33 9号住居址出土遺物 [1/3]

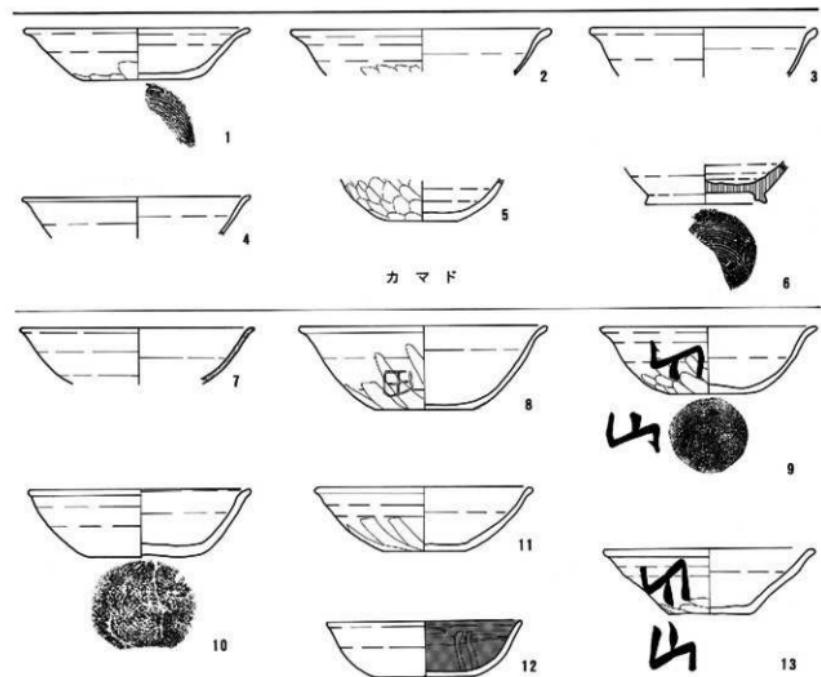


図34 10号住居址出土遺物(1) [1/3]

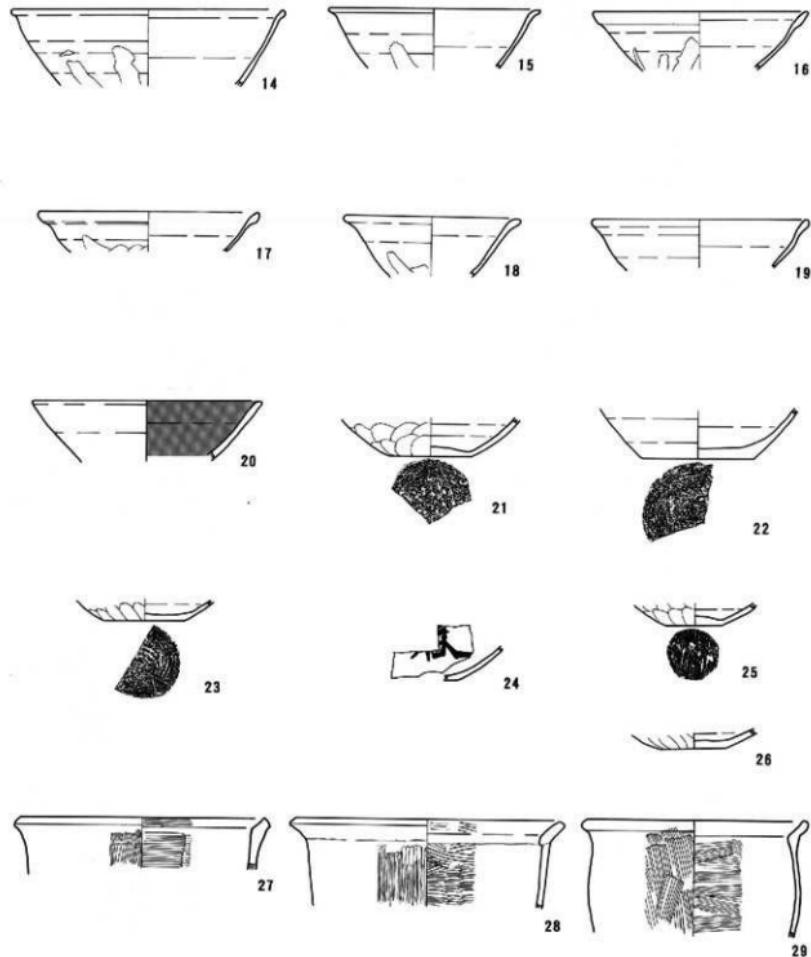


图35 10号住居址出土遗物(2) (1/3)



图36 11号住居址出土遗物 (1/3)

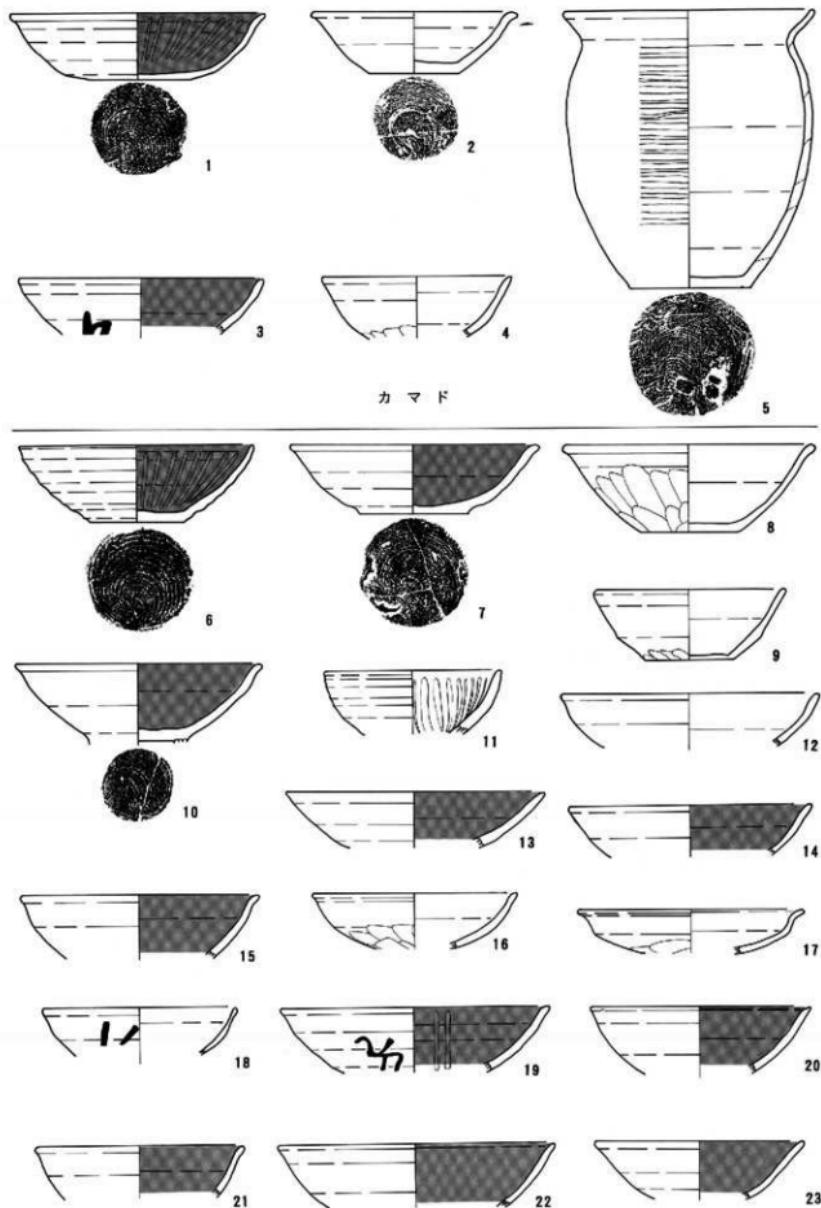


図37 12号住居址出土遺物(1) [1/3]

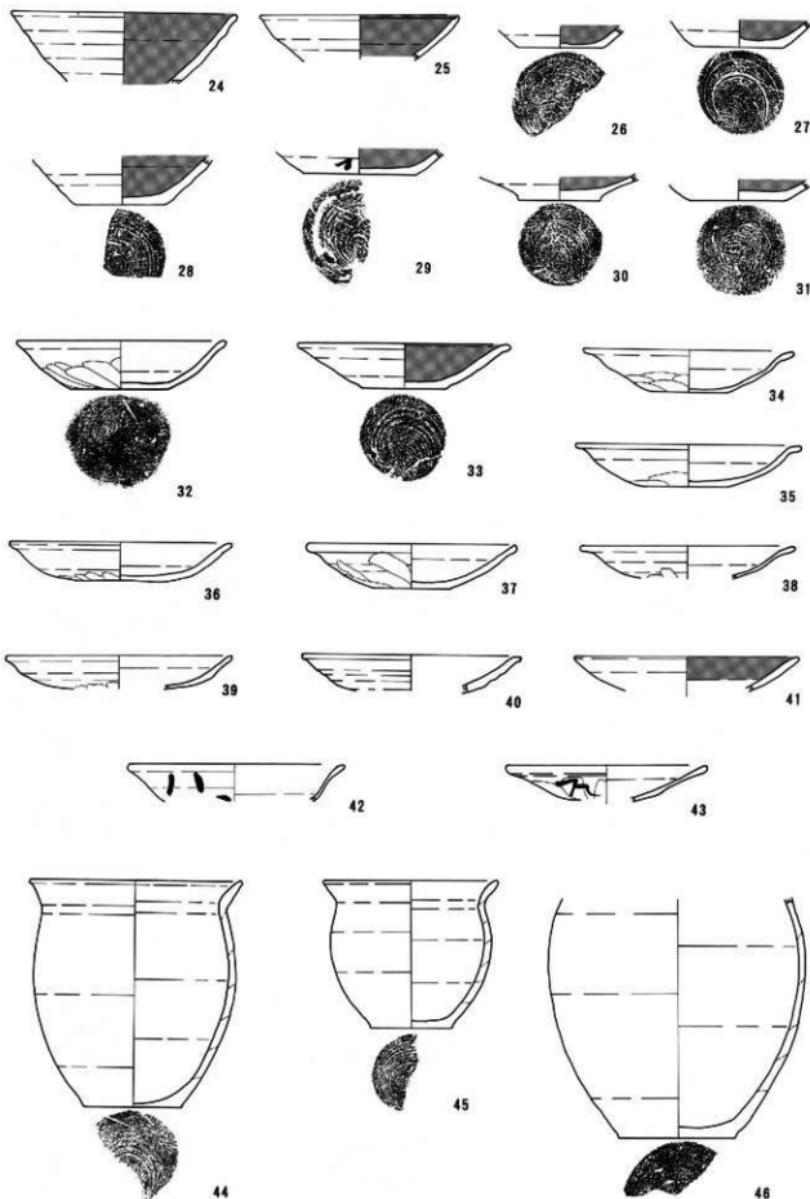


图38 12号住居址出土遗物(2) [1/3]

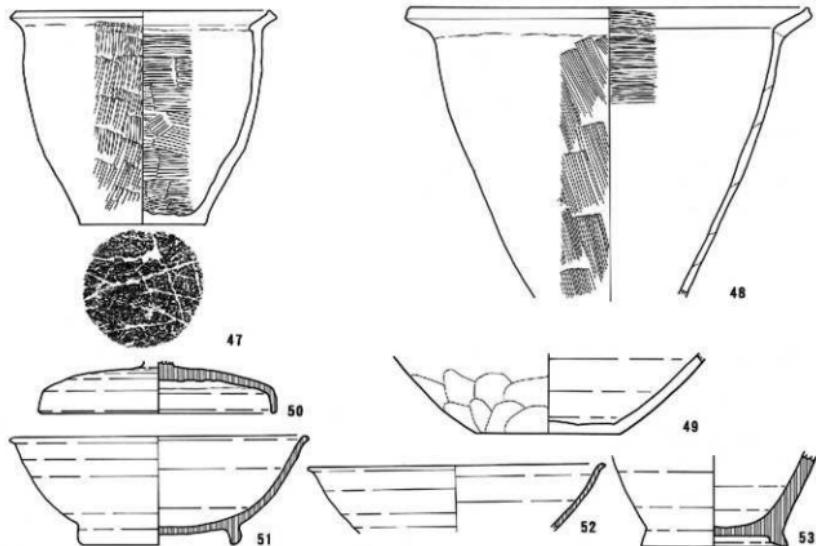


図39 12号住居址出土遺物(3) [1/3]

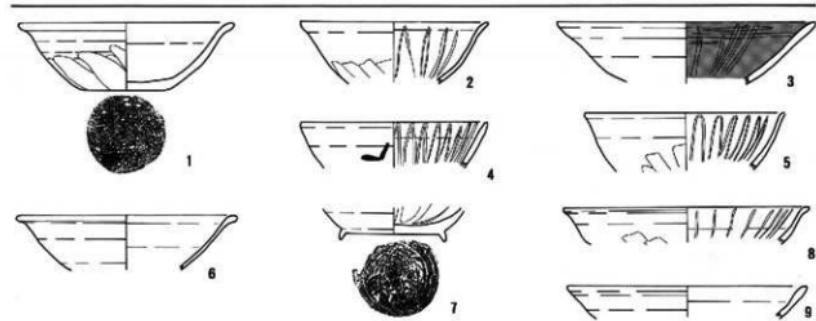


図40 13号住居址出土遺物 [1/3]

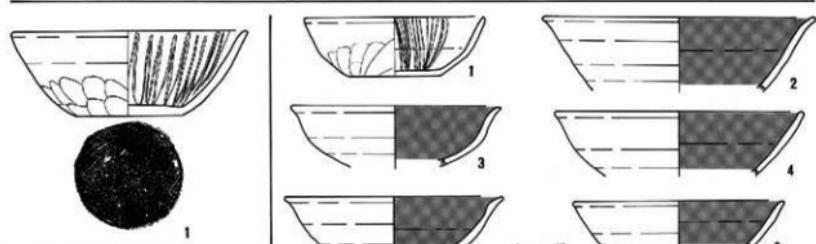


図41 14号住居址
出土遺物 [1/3]

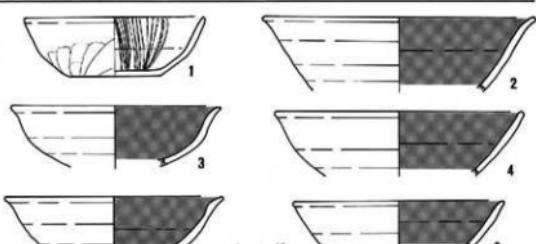


図42 15号住居址出土遺物(1) [1/3]

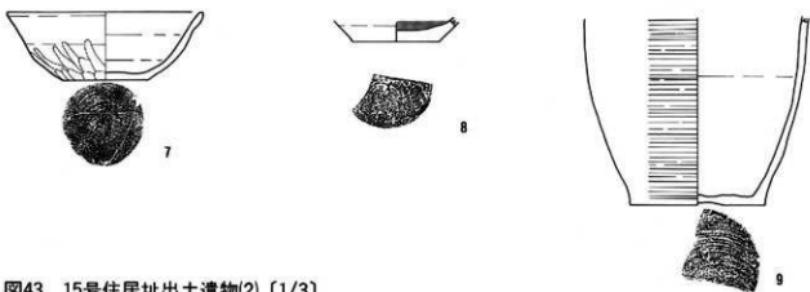


図43 15号住居址出土遺物(2) [1/3]

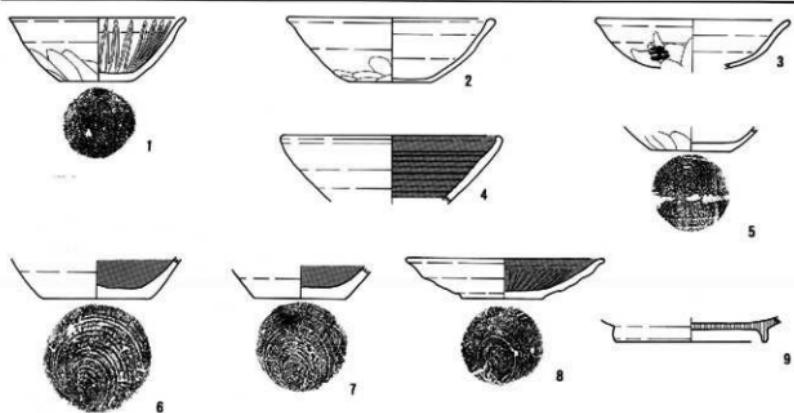


図44 表探遺物 [1/3]

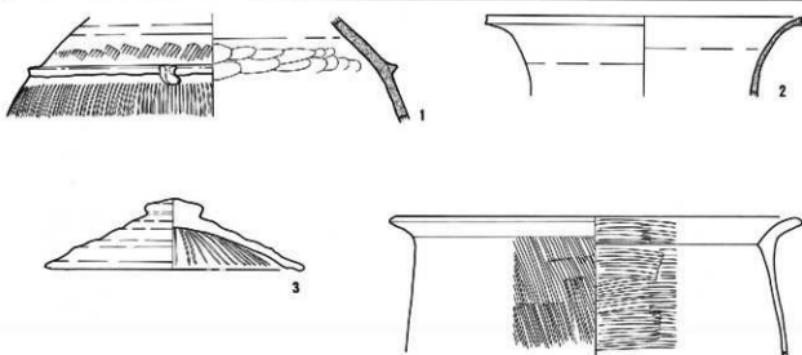


図45 調査区北出土遺物 [1/3]

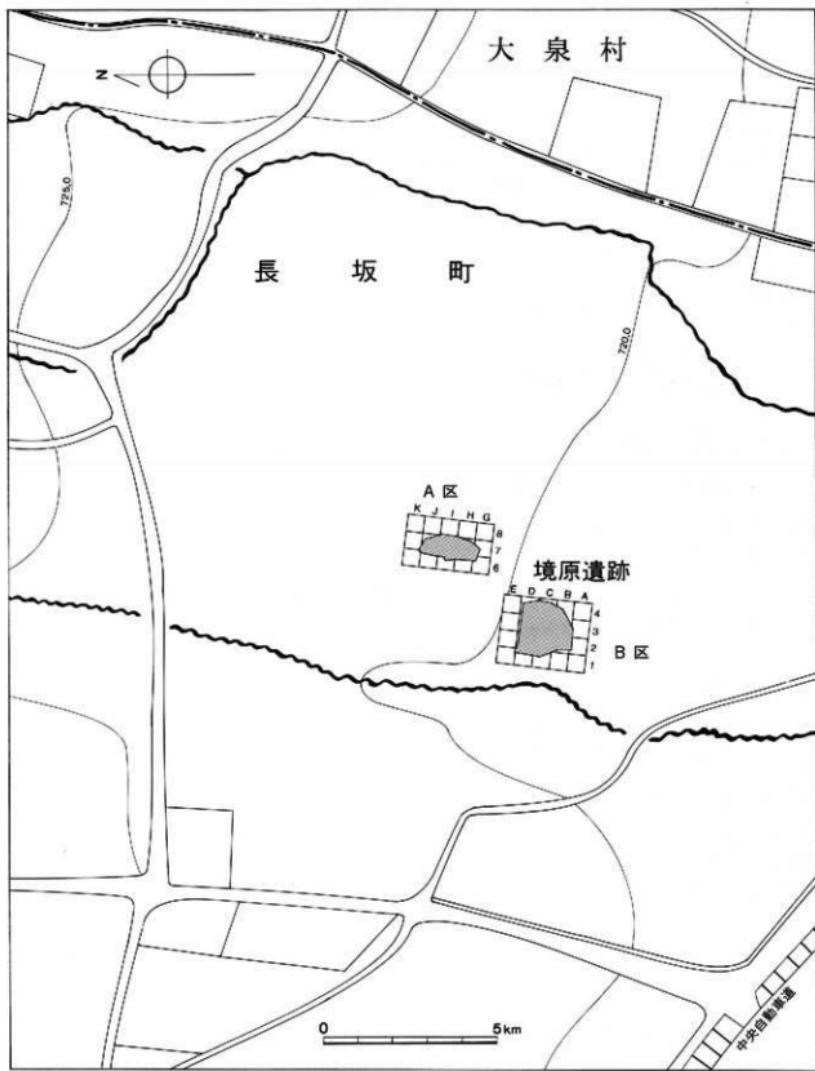


図46 境原遺跡調査区位置図

第4章 境原遺跡の調査

調査の結果、A区では平安時代の住居址5件が、B区では弥生時代の住居址2件と平安時代の住居址4件がそれぞれ確認された。他には、縄文時代中期後半の埋設土器と土坑がある。

A区

1 平安時代の住居址

〈1号住居址〉(図50,51,66) (表19)

位 置：調査区北端（J-6、J-7区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：長方形。

大 き さ：長軸長4.9m、短軸長4.5m。長軸方向はN-15°-W。

周 溝：カマド付近を除きほぼ全周する。

カ マ ド：住居址南東コーナーに石組みのしっかりしたカマドが確認された。

備 考：1号溝に切られている。

〈2号住居址〉(図52,53,67) (表20)

位 置：調査区北側（J-6、J-7、I-6、I-7区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：長方形。

大 き さ：長軸長4.6m、短軸長4.0m。長軸方向はN-25°-E。

周 溝：カマド付近を除きほぼ全周する。

カ マ ド：住居址南東コーナーにカマドがある。また東側ほぼ中央の壁際にも、住居拡張前に使用していたカマドの残骸と思われる礫や焼土が散在している。

備 考：住居址の南側に向かって、住居の拡張があったと思われる。

〈3号住居址〉(図54,68) (表21)

位 置：調査区ほぼ中央西よりに位置する（I-6区）。

検出状態：遺構北西側は調査区外にある。

平面形態：長方形を呈すると思われる。

大きさ：長軸長不明、短軸長2.9m。

周溝：確認できない。

カマド：住居址南東側の壁際にカマドがある。

〈4号住居址〉(図55,69) (表22)

位置：調査区南寄り(H-6, H-7区)に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：長方形。

大きさ：長軸長3.9m、短軸長3.2m。主軸方向はE-28°-S。

周溝：カマド付近を除きほぼ全周する。

カマド：住居址南東側壁際に石組みのしっかりしたカマドがある。

備考：住居址床面中央からカマド付近にかけて炭化物がやや濃密に分布。

〈5号住居址〉(図56,57,70) (表23)

位置：調査区南端(H-7, G-7区)に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：正方形に近い。

大きさ：長軸長3.9m、短軸長3.7m。長軸方向はE-18°-S。

周溝：カマド付近を除きほぼ全周する。

カマド：住居址南東の壁際にカマドの掘り込みが検出された。

備考：住居址床面中央からカマド付近にかけて炭化物がやや濃密に分布。

2 土坑

〈1号土坑〉(図59)

位置：調査区南寄り(H-7区)に位置する。

平面形態：ほぼ円形。

大きさ：直径約1.0m、確認面からの深さ約1.0m。

〈2号土坑〉

位置：調査区南寄り(H-7区)に位置する。

平面形態：ほぼ円形。

大きさ：直径約1.0m。

3 埋設土器

〈1号埋設土器〉(図58,71) (表24)

位 置：調査区南寄り (H-7区) に位置する。

検出状態：1.1m×1.0mほどの掘りかたのなかに、ほぼ正位で埋設されていた。

備 考：曾利式新段階の深鉢である。



1 弥生時代の住居址

〈7号住居址〉(図61,73) (表26)

位 置：調査区東寄り (D-3, D-4, C-3, C-4区) に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：隅丸長方形。

柱 穴：主柱穴は6本。

大 き さ：長軸長4.2m、短軸長3.9m。主軸方向はほぼ南北に一致する。

周 溝：確認できない。

炉 焼：住居址北側の奥壁よりの中央付近に地床炉がある。

〈11号住居址〉(図65,77,78) (表29)

位 置：調査区南端 (B-2, B-3区) に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：長方形。

柱 穴：主柱穴は4本。

大 き さ：長軸長4.7m、短軸長4.0m。主軸方向はN-15°-W。

周 溝：確認できない。

炉 焼：住居址北側の奥壁よりの中央付近に石圍炉がある。

2 平安時代の住居址

〈6号住居址〉(図60,72) (表25)

位 置：調査区北東端 (D-4区) に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：ほぼ正方形。

大きさ：3.4m×3.4mの方形。主軸方向はN-18°-S。

周溝：カマド付近を除いてほぼ全周する。

カマド：住居址南東側にしっかりした石組みのカマドがある。

備考：住居址中央に間仕切り状の溝がある。

〈8号住居址〉(図62,74)(表27)

位置：調査区北端(D-2区)に位置する。

検出状態：住居址北側の壁は一部調査区外にありプランの全てを検出できなかった。

平面形態：長方形。

大きさ：長軸長3.6m、短軸長3.4m。長軸方向はN-18°-E。

周溝：住居址南側とカマド付近には存在しない。

カマド：住居址東側にしっかりした石組みのカマドがある。

備考：住居址西側に間仕切り状の溝がある。

〈9号住居址〉(図63,75,76)(表28)

位置：調査区西寄り(C-2区)に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：ほぼ正方形。

大きさ：長軸長3.6m、短軸長3.5m。長軸方向はN-13°-E。

周溝：カマド付近を除いてほぼ全周する。

カマド：住居址東側にしっかりした石組みのカマドがある。

備考：床面上に比較的多くの礫が散在する。

〈10号住居址〉(図64)

位置：調査区西端(D-1、D-2、C-1、C-2)に位置する。

検出状態：竪穴のプラン西側は調査区外にある。

平面形態：長方形。

大きさ：長軸長不明、短軸長4.5m。長軸方向はN-65°-E。

周溝：確認できない。

カマド：カマドの残骸と思われる礫が住居内に散在するが、明らかでない。

備考：床面上に比較的多くの礫が散在する。

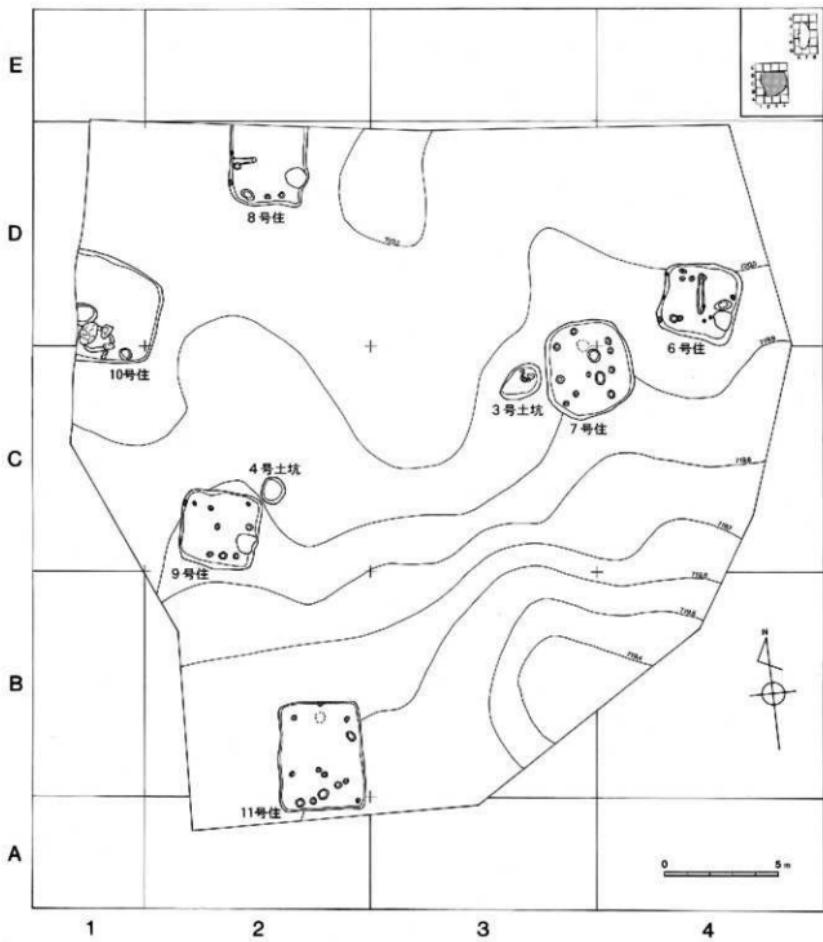


図47 境原遺跡B区全体図

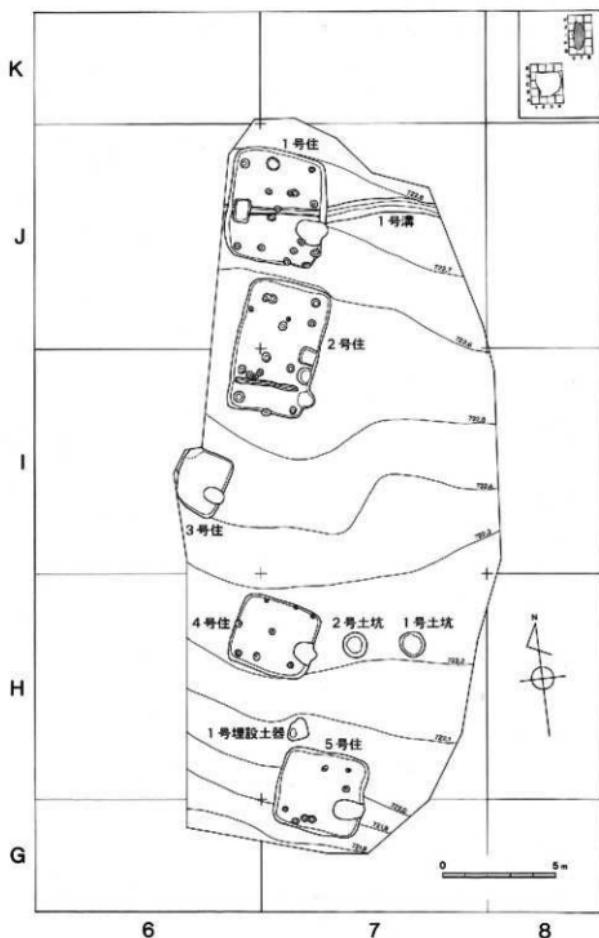


図48 境原遺跡A区全体図

3 遺物 (図66~79)

表19 1号住居址遺物観察表 (図50.51.66)

番号	種類	器形	大きさ(cm) 鉢高・口径・底径		胎土	色調(内面) (外面)	調査	特徴	残存率	
			鉢高	口径						
1	土師器	壺	5.0	(17.0)	7.0	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	内墨	60%
2	土師器	壺	3.8	(12.9)	5.0	石英・長石 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転条切り、ヘラ削り		60%
3	土師器	壺	5.1	(15.0)	5.0	石英・長石	明赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)ヘラ削り		70%
4	土師器	壺	—	(15.0)	—	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
5	土師器	壺	—	(12.2)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
6	土師器	皿	2.2	12.6	6.4	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転条切り		60%
7	土師器	皿	2.2	(12.2)	6.0	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転条切り		50%
8	土師器	皿	—	13.6	—	石英・長石 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		50%
9	土師器	皿	—	(12.6)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
10	土師器	壺	3.3	(12.7)	6.0	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転条切り、ヘラ削り		50%
11	土師器	壺	—	(10.8)	—	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
12	土師器	壺	—	(16.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	墨書き	30%
13	土師器	壺	—	(16.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
14	土師器	壺	—	(13.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
15	土師器	壺	—	(13.6)	—	スコリア	明赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
16	土師器	壺	—	(13.6)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
17	土師器	壺	—	—	(4.7)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		小片
18	土師器	壺	—	(12.2)	—	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
19	土師器	壺	—	(13.6)	—	スコリア	黒褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り	内墨	小片
20	土師器	皿	—	(13.6)	—	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
21	土師器	皿	—	(12.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
22	土師器	皿	—	(13.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		小片
23	土師器	皿	—	(14.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		小片
24	土師器	皿	—	(13.0)	—	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
25	土師器	裏	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)タケ刷毛目(外)ヨコ刷毛目		小片
26	灰釉陶器	壺	—	(14.0)	—	スコリア	緑灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
27	灰釉陶器	壺	—	—	6.6	白色粘	緑灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	輪用碳	小片

表20 2号住居址遺物観察表 (図52.53.67)

1	土師器	壺	4.4 (15.2)	5.4	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	内墨	35%	
2	土師器	壺	4.8 (15.2)	6.0	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		20%	
3	土師器	壺	3.8 (13.3)	5.0	石英・長石 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	内墨	95%	
4	土師器	壺	3.5 (11.8)	5.8	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転条切り		60%	
5	土師器	壺	4.0	12.6	5.0	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転条切り		65%
6	土師器	皿	2.1	12.8	3.4	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		100%

番号	種類	體形	大きさ(cm)		胎土	色調(内面) (外面)	調	整	特徴	保存率
			器高・口径	底径						
7	土師器	皿	2.8	13.0	5.2	スコリア	赤褐色 (底)ヘラ削り	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り		90%
8	土師器	皿	—	—	—	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り		小片
9	土師器	甕	—	(14.8)	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目		小片
10	土師器	甕	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目		小片
11	土師器	甕	12.5	13.6	9.0	石英・長石・雲母	茶褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目 (底)木裏底		65%
12	土師器	甕	—	—	—	石英・長石・雲母	暗黃褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目		小片
13	土師器	甕	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)タテ刷毛目(外)ヨコ刷毛目		小片
14	土師器	甕	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目		小片
15	土師器	甕	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目		小片
16	土師器	甕	—	—	(8.2)	石英・長石・雲母	暗褐色	(底)木裏底		小片
17	土師器	脚高台	—	(18.8)	—	石英・長石・雲母 角閃石	赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目 (底)ヘラ削り		40%
18	灰陶器	壺	—	—	6.7	白色粒	灰白色 一部緑灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	底部墨書き	小片
19	灰陶器	壺	—	—	6.6	白色粒	明灰白色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	軽用鏡	小片
20	灰陶器	壺	—	—	6.2	白色粒	灰白色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り		小片

表21 3号住居址遺物観察表(図54.68)

1	須恵器	壺	5.2	13.6	6.8	白色粒	灰白色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	墨書き	100%
2	土師器	壺	4.4	12.4	5.8	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒 着文	99%
3	土師器	壺	4.8	14.4	4.6	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		85%
4	土師器	壺	3.3	13.5	4.8	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	80%
5	土師器	壺	3.8	12.0	5.8	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色に 黒色彩色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒 着文	99%
6	土師器	皿	3.1	12.8	6.0	石英・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	内黒	90%
7	土師器	甕	—	(17.0)	—	石英・長石・雲母	茶褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目		小片
8	土師器	小型甕	9.3	12.0	7.2	石英・長石	茶褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目 (底)木裏底		40%
9	土師器	甕	—	—	—	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ヘラナデ(外)ヘラナデ		小片
10	土師器	甕	—	—	—	石英・長石・雲母	黒色	(内)ヨコ刷毛目(外)ヘラナデ		小片
11	灰陶器	皿	3.0	13.0	5.5	白色粒	灰白色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り		70%

表22 4号住居址遺物観察表(図55.69)

1	土師器	壺	4.6(15.2)	6.2	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)西脇糸切り		着文	25%
2	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内黒	小片
3	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り		小片
4	土師器	小型甕	—	(16.0)	—	雲母	黒色	(内)ヨコ刷毛目(外)タテ刷毛目		10%
5	土師器	甕	—	—	—	石英・長石・雲母	暗黃褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)斜刷毛ナデ		小片
6	灰陶器	壺?	—	—	—	白色粒 黒色粒	灰色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り		小片

表23 5号住居址遺物観察表(図56.57.70)

番号	種類	器形	大きさ(cm)		胎土	色調(内面) (外面)	調整	特徴	残存率	
			器高・口径	底深						
1	土師器	壺	4.4	(13.6)	5.9	石英・雲母 スコリア	暗青褐色 (内)回転余切り	内黒 印文	40%	
2	土師器	壺	—	(13.6)	—	石英	茶褐色 (内)ロクロナデ	外ロクロナデ	小片	
3	土師器	壺	—	—	—	石英・長石 角閃石	暗赤褐色 (内)ヨコ刷毛目	外タテ刷毛目	小片	
4	土師器	壺?	—	—	—	石英・長石・雲母	赤褐色 (内)ヨコ刷毛目	外タテ刷毛目	小片	
5	土師器	壺?	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色 (内)ヨコ刷毛目	外タテ刷毛目	小片	
6	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	黒褐色 (内)木葉模	外タテ刷毛目	小片	
7	灰釉陶器	壺	5.3	14.0	7.0	白色粒	明灰色 (内)ロクロナデ	外ロクロナデ (内)回転タラ削り	自然縁釉	70%
8	灰釉陶器	壺	—	(16.0)	—	白色粒	灰白色 (内)ロクロナデ	外ロクロナデ	小片	
9	須恵器	壺?	—	—	9.0	長石	灰色 (内)ロクロナデ	外ロクロナデ (内)回転タラ削り	自然縁釉	小片
10	土師器	壺	4.1	(13.2)	4.8	石英・長石・雲母	赤褐色 (内)ヘラ磨キ	外ロクロナデ (内)回転余切り	内黒 墨書	35%
11	土師器	壺	—	—	3.6	スコリア	赤褐色 (内)ロクロナデ	外ヘラ削り (内)回転余切り	小片	
12	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色 (内)ヘラナデ	外ヘラナデ	小片	
13	土師器	壺	—	(29.2)	—	石英・長石・雲母	暗赤色 (内)ヘラナデ	外ヘラナデ	小片	
14	土師器	壺	—	—	—	石英・長石	赤褐色 黒褐色 (内)ヘラナデ	外ロクロナデ タテ刷毛目	小片	
15	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色 (内)ヨコ刷毛目	外タテ刷毛目	小片	
16	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色 (内)ヘラナデ	外タテ刷毛目	小片	
17	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	黒褐色 (内)ヨコ刷毛目	外タテ刷毛目	小片	

表24 1号埋設土器(図58.71)

1	縄文土器	深鉢	32.5	31.7	9.0	石英・長石・雲母 角閃石	黄褐色	(内)ヘラ削り (外)羽状沈線文、蛇行沈線文、隆帶	…	95%
---	------	----	------	------	-----	-----------------	-----	------------------------------	---	-----

表25 6号住居址遺物観察表(図60.72)

1	土師器	壺	—	—	6.0	石英・長石	褐色 (内)ロクロナデ	外ロクロナデ (内)回転余切り	内黒	小片
2	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	黃褐色 (内)ヘラナデ	外タテ刷毛目	…	小片
3	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	褐色 (内)ヨコ刷毛目	外タテ刷毛目	…	小片
4	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	赤褐色 灰褐色 (内)ヘラナデ	外タテ刷毛目	…	小片
5	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色 黒褐色 (内)ヨコ刷毛目	外ヘラナデ	…	小片
6	土師器	壺	—	—	—	石英・長石・雲母	暗赤褐色 (内)ヨコ刷毛目	外タテ刷毛目	…	小片
7	弥生土器	?	—	—	—	石英・長石・雲母	赤褐色 (内)ヘラナデ	外タテ刷毛目	…	小片

表26 7号住居址遺物観察表(図61.73)

1	弥生土器	壺	—	16.5	—	石英・長石・雲母	茶褐色 (内)ヘラナデ	外ヘラナデ、ヘラ削り	口縁刻目	90%
2	縄文土器	—	—	—	—	石英・長石	黒褐色 赤褐色 (内)ヘラ磨キ	外沈線	…	小片

表27 8号住居址遺物観察表(図62.74)

1	土師器	壺	4.3	14.4	—	石英・長石 スコリア	暗赤褐色 (内)ロクロナデ	外ロクロナデ、ヘラ削り	胴部縁割	20%
2	土師器	壺	3.6	(12.8)	—	石英・長石	黒褐色 (内)ロクロナデ	外ロクロナデ	…	20%

番号	種類	器形	大きさ(cm)	胎土	色調(内面)	調整	特徴	残存率
3	土師器	坪	— — 5.6	石英・長石	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転糸切り	堆文	小片
4	土師器	坪	— — 4.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転糸切り、ヘラ削り		小片
5	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母	黒褐色 赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タチ刷毛目		小片
6	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母	黒色 暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タチ刷毛目		小片
7	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目(外)タチ刷毛目		小片
8	土師器	坪	— — 3.8	スコリア	明赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		小片

表28 9号住居址遺物観察表(図63.75.76)

1	土師器	坪	5.3 15.7 6.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	内墨	40%
2	土師器	坪	5.1 12.2(4.4)	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	内墨 堆文	45%
3	須恵器	坪	— — 8.2	白色粒	灰白色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り		小片
4	土師器	坪	4.3(13.0) —	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転糸切り	墨書	9%
5	土師器	坪	4.1 11.2(3.2)	石英・長石	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ヘラナデ、ヘラ削り (底)回転糸切り、ヘラ削り		35%
6	土師器	坪	— (15.6) —	石英・長石・雲母	暗茶褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ	内墨 堆文	20%
7	土師器	甕	2.2 (12.8)(6.8)	石英・長石	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	内墨	40%
8	土師器	?	— — —	石英・長石	赤褐色 黒色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り		小片
9	土師器	甕	— (32.6) —	石英・長石	暗褐色	(内)ヨコヘラナデ(外)ヘラナデ		小片
10	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ		小片
11	土師器	甕	— — —	—	褐色	(内)ヘラ磨キ(外)ヘラ磨キ		小片
12	土師器	?	— — (7.7)	石英・長石	暗赤褐色 暗灰褐色	(内)ヘラ磨キ(外)ヘラ磨キ (底)ヘラ削り		小片
13	土師器	?	— — —	石英・長石	暗褐色	(内)ヘラナデ(外)ヘラナデ		小片
14	縄文土器	?	— — —	石英・長石・雲母	黒褐色			小片
15	縄文土器	?	— — —	石英・長石・雲母	赤褐色	(外)沈線		小片
16	縄文土器	?	— — —	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(外)沈線		小片
17	縄文土器	?	— — —	石英・長石・雲母	黒褐色	(外)沈捺		小片
18	弥生土器	?	— — —	石英・長石	暗黃褐色	(内)ヘラナデ(外)櫛捺波状文		小片
19	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	黃褐色	(内)ヘラ磨キ(外)櫛捺波状文		小片
20	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	暗黃褐色	(内)クシ目(外)櫛捺波状文		小片
21	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	黃褐色	(内)ヘラナデ(外)櫛捺波状文		小片
22	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	暗黃褐色	(内)ヘラナデ(外)櫛捺波状文		小片
23	弥生土器	?	— — (7.8)	石英・長石・雲母	暗黃褐色	(内)ヘラナデ(外)ヘラナデ (底)ヘラ削り		小片

表29 11号住居址遺物観察表(図65.77.78)

1	土師器	坪	3.6 12.6 4.6	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ(外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転糸切り、ヘラ削り	墨書	99%
2	土師器	?	— — —	石英・長石・雲母	明黃褐色	(内)ヘラ磨キ(外)ヘラ磨キ		小片
3	弥生土器	甕	17.3 13.5 5.8	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ヘラナデ(外)ヘラナデ、櫛捺波状文	口縁剥落	95%
4	弥生土器	甕	37.5 26.2 10.0	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ヘラ磨キ(外)頸部一帯櫛捺波状文 肩部一帯ヘラナデ		95%
5	弥生土器	甕	— 24.0 —	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ヘラナデ(外)頸部一帯櫛捺波状文 肩部一帯毛目	口縁剥落	小片
6	弥生土器	?(?)	5.4 6.7 4.5	石英・長石・雲母	灰褐色	手捏		99%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)	調	整	特徴	鉢形
7	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ヘラナデ (外)櫛描波状文			小片
8	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	明黃褐色	(内)ヘラナデ (外)櫛描波状文			小片
9	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	明黃土色	(内)ヘラナデ (外)櫛描波状文			小片
10	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ヘラナデ (外)櫛描波状文			小片
11	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	明赤褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ 櫛描波状文			小片
12	弥生土器	?	— — —	石英・長石・雲母	黒褐色 暗褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ			小片

表30 表 採 遺物観察表(図79)

1	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目			小片
2	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母 角閃石	暗赤褐色 赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目			小片
3	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目			小片
4	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母 角閃石	暗赤褐色 赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目			小片
5	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ヘラナデ (外)タテ刷毛目			小片
6	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母	黒褐色 赤褐色	(内)ヘラナデ (外)タテ刷毛目			小片
7	土師器	甕	— — —	石英・長石・雲母	暗赤褐色 赤褐色	(内)ヘラナデ (外)タテ刷毛目			小片
8	縹文土器	?	— — —	石英・長石	暗赤褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ			小片
9	弥生土器	?	— — —	石英・長石 角閃石	黄褐色	(内)ヘラナデ (外)櫛描直線文			小片
10	弥生土器	?	— — —	石英・長石 角閃石	黄褐色	(内)ヘラ磨キ (外)櫛描波状文			小片
11	弥生土器	?	— — —	石英・長石 角閃石	明黃褐色	(内)ヘラ磨キ (外)櫛描波状文、直線文			小片

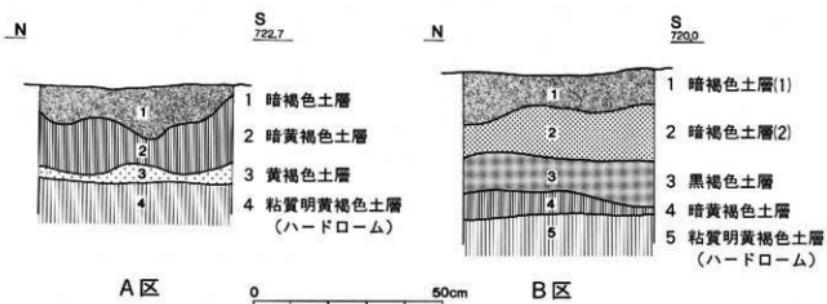


図49 基本層序

- ① 暗褐色土、不緊密
- ② 明褐色土、ローム少量、不緊密
- ③ 明褐色土、ローム微量、不緊密
- ④ 黒褐色土、ローム微量
- ⑤ 灰色土、粘土微量
- ⑥ 黄褐色土、粘土微量
- ⑦ 暗黒褐色土、ローム多量

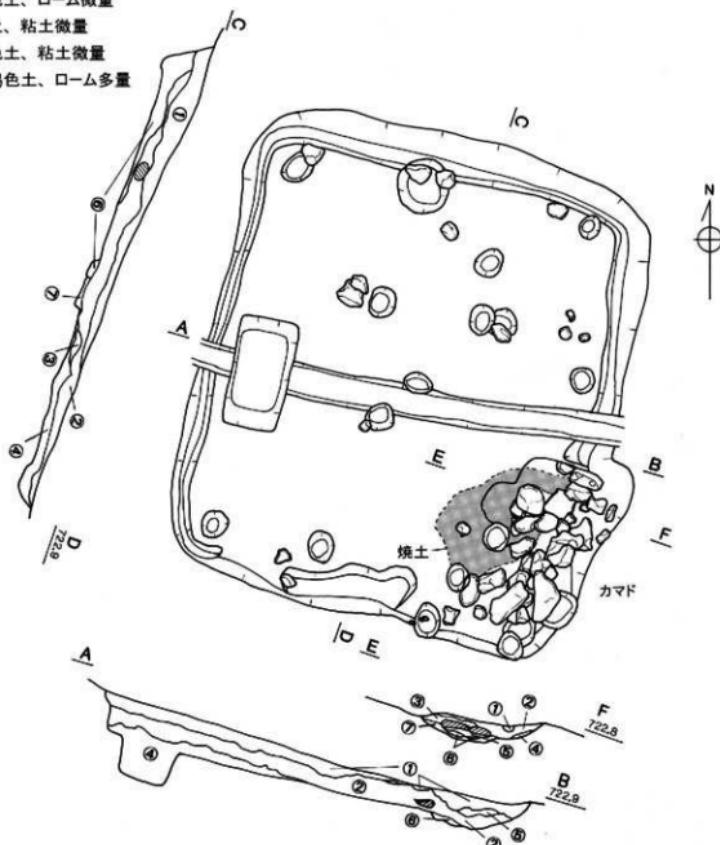


図50 1号住居址実測図（A区）

カマド

- ① 黄褐色土、ローム少量、焼土少量
- ② 暗黄褐色土、ローム微量
- ③ 黑褐色土、炭化物
- ④ 明黄褐色土、ローム多量
- ⑤ 黑褐色土、炭化物微量
- ⑥ 烧土
- ⑦ 明黄土、ローム

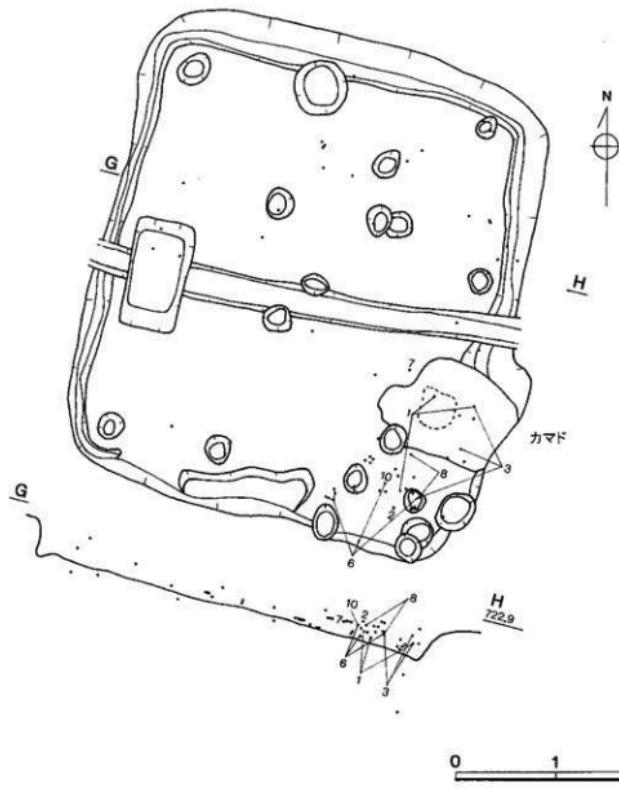


図51 1号住居址土器分布図（A区）

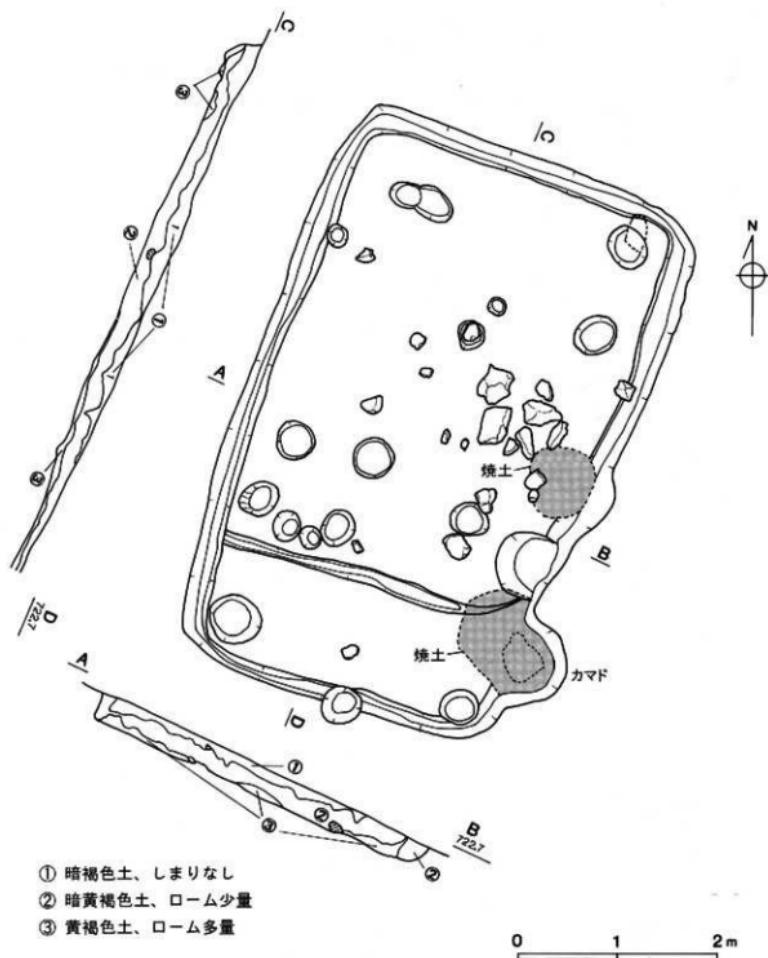
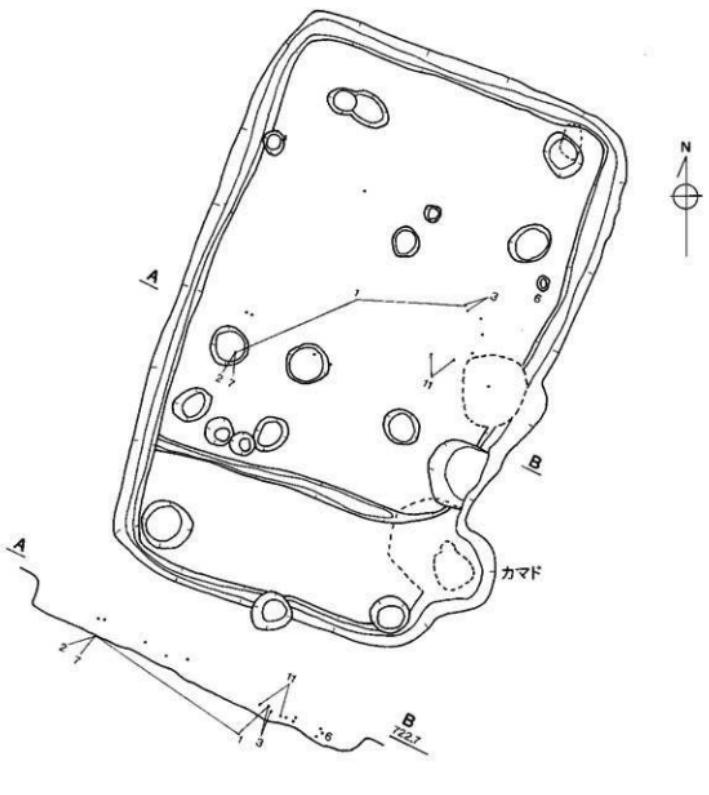


図52 2号住居址実測図（A区）



0 1 2 m

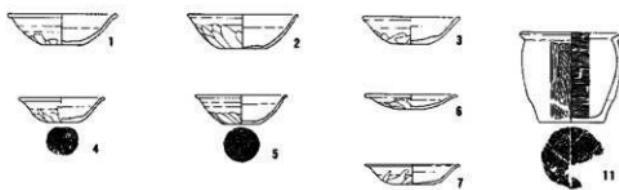


図53 2号住居址土器分布図(A区)

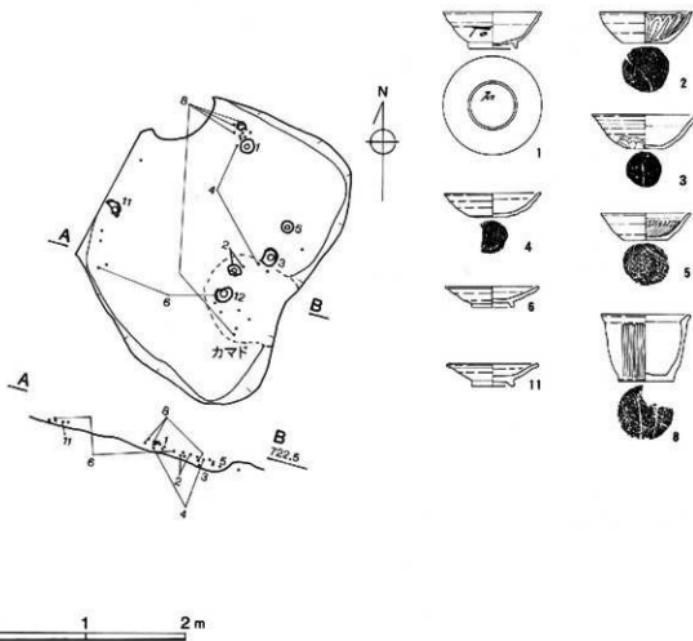


図54 3号住居址実測図／土器分布図（A区）

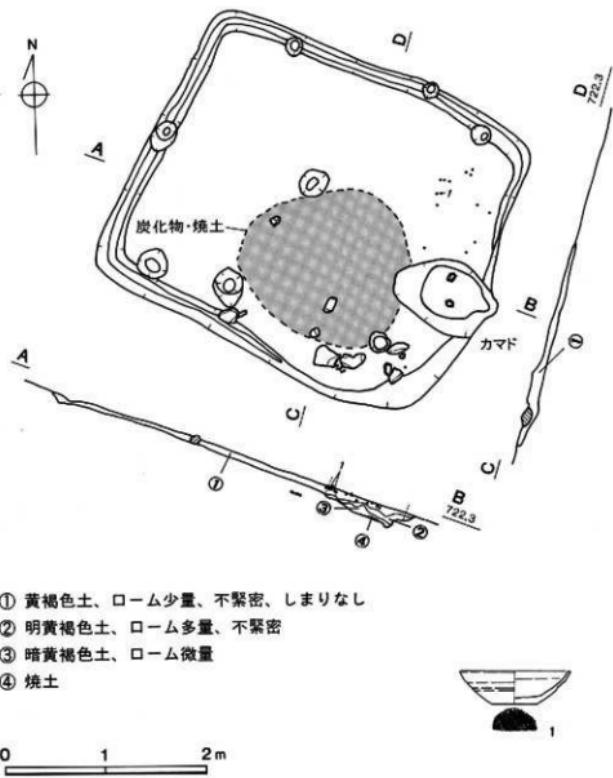


図55 4号住居址実測図／土器分布図（A区）

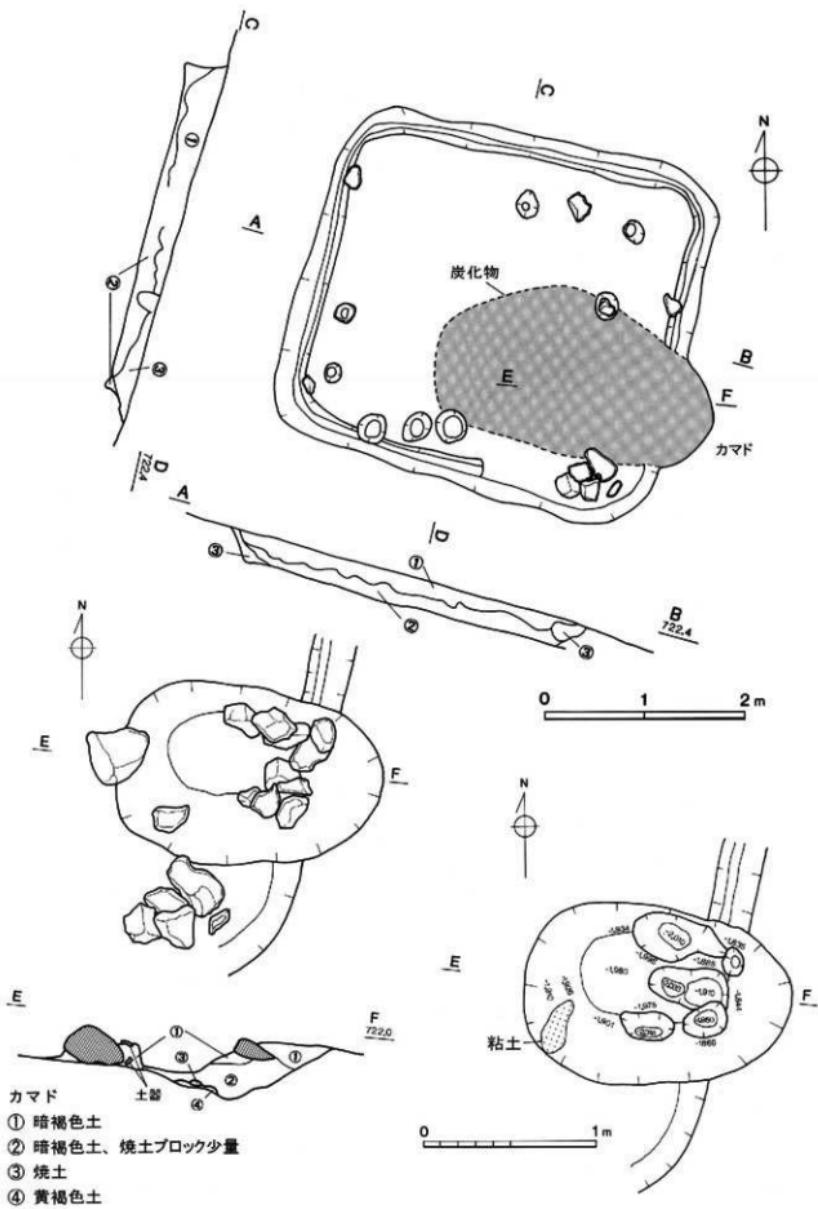


図56 5号住居址・カマド実測図（A区）



図57 5号住居址土器分布図（A区）

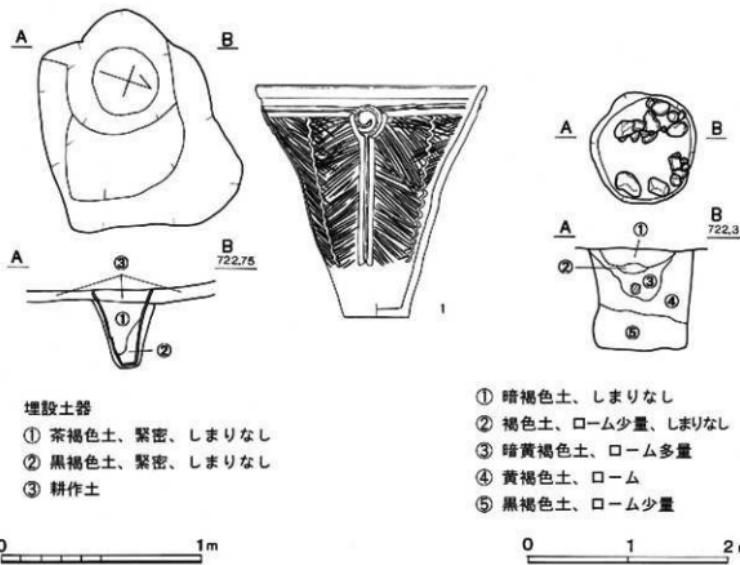


図58 1号埋設土器実測図（A区）

図59 1号土坑実測図（A区）

- ① 暗褐色土、不緊密、
しまりなし
- ② 暗褐色土、ローム微量、
しまりなし
- ③ 暗黄褐色土、ローム少量、
しまりなし
- ④ 黄褐色土、ローム多量、
ロームブロック

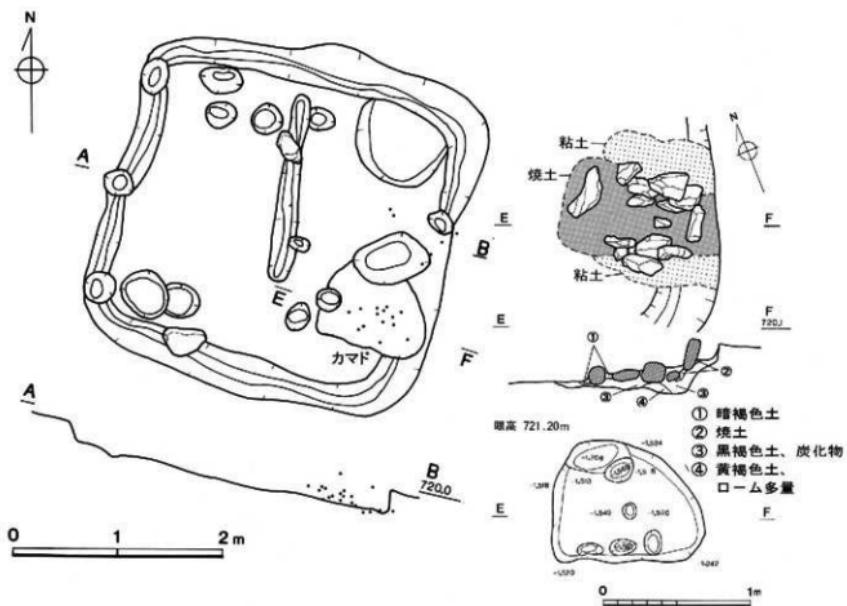
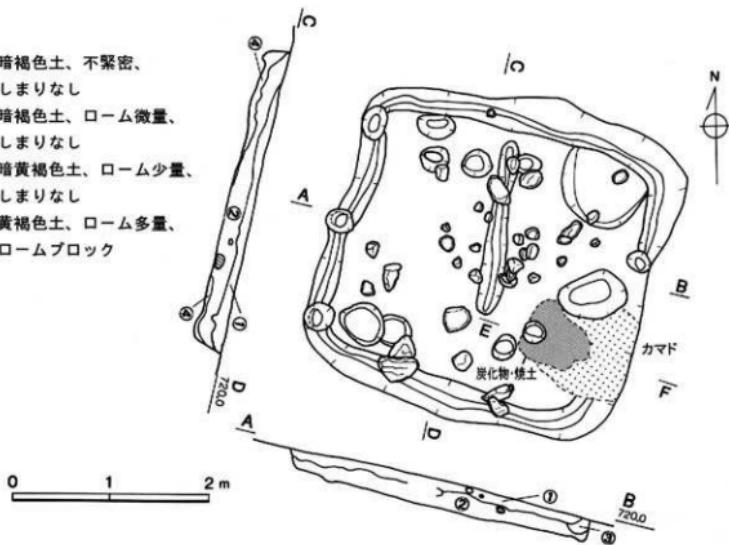
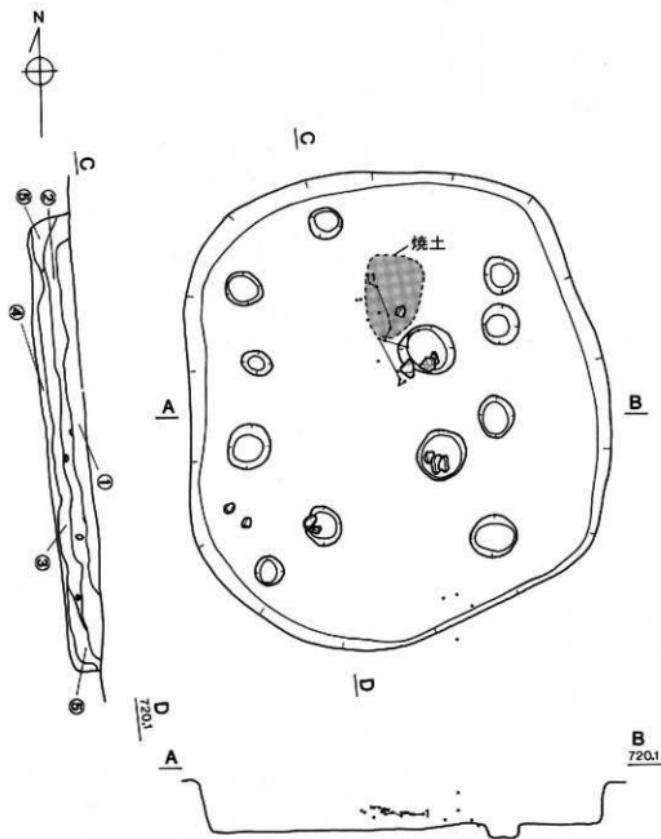


図60 6号住居址・カマド実測図／土器分布図（B区）



- ① 暗褐色土、不緊密、しまりなし
- ② 暗褐色土、ローム少量、不緊密
- ③ 黒褐色土、ローム微量、不緊密
- ④ 暗黄褐色土、ローム少量、ロームブロック混入、不緊密
- ⑤ 暗黄褐色土、ローム少量

0 1 2m



図61 7号住居址実測図／土器分布図（B区）

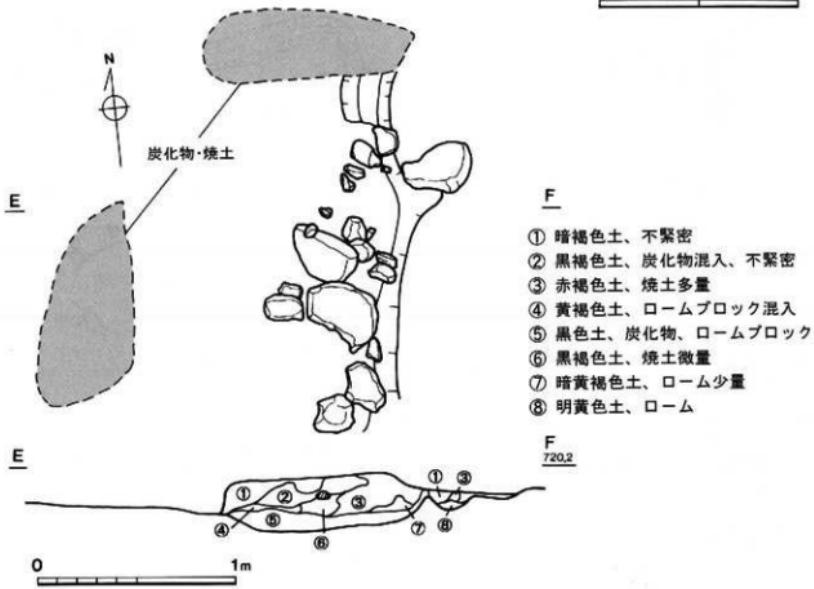
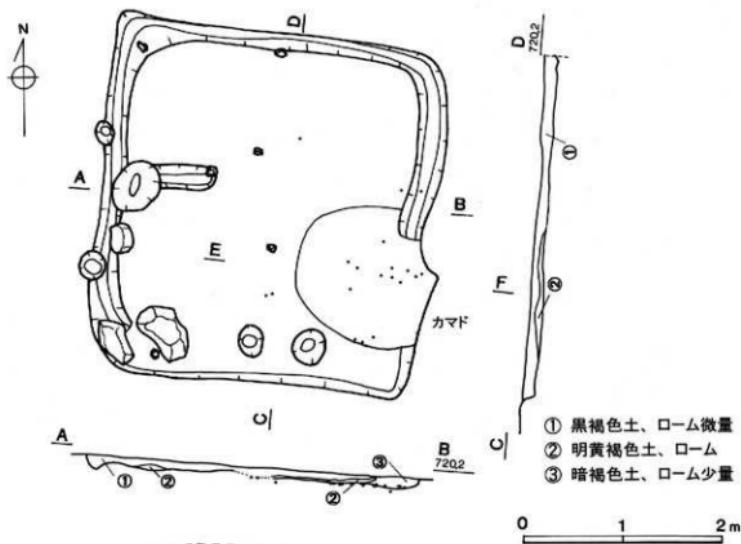


図62 8号住居址実測図／土器分布図（B区）

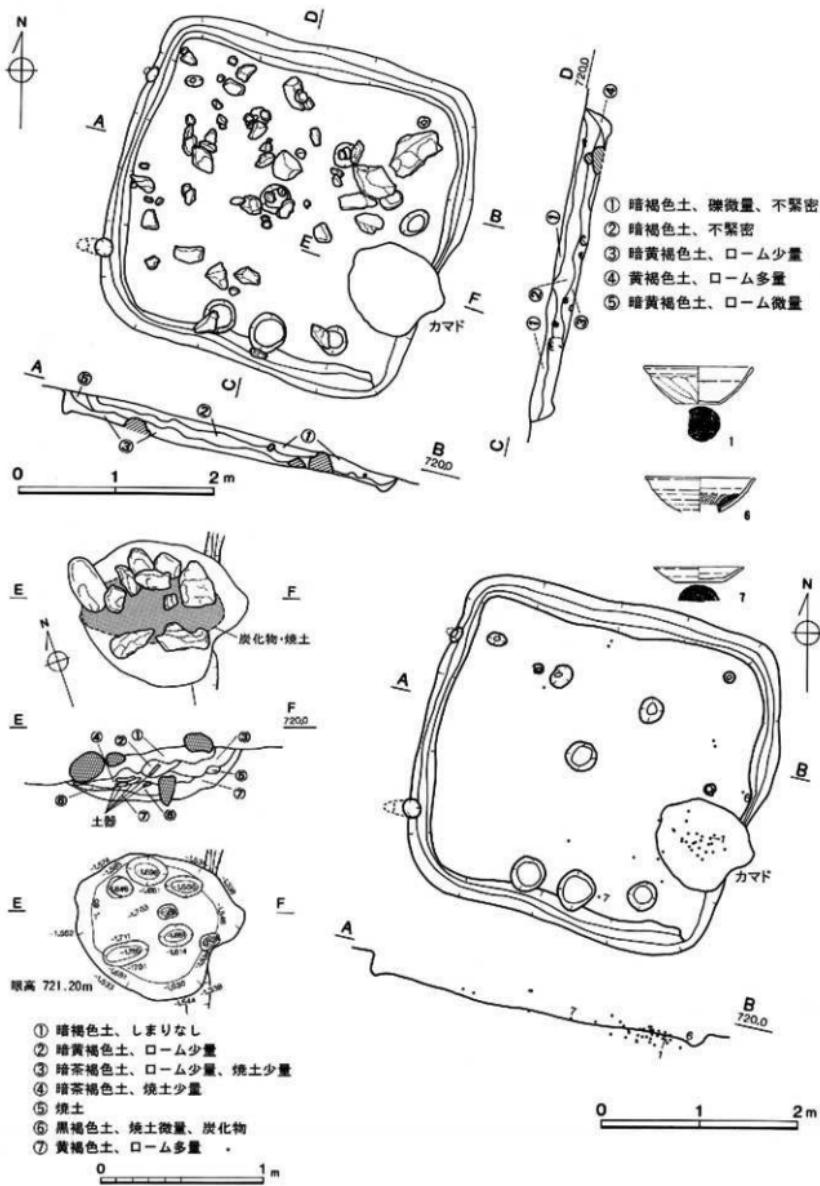


図63 9号住居址・カマド実測図／土器分布図（B区）

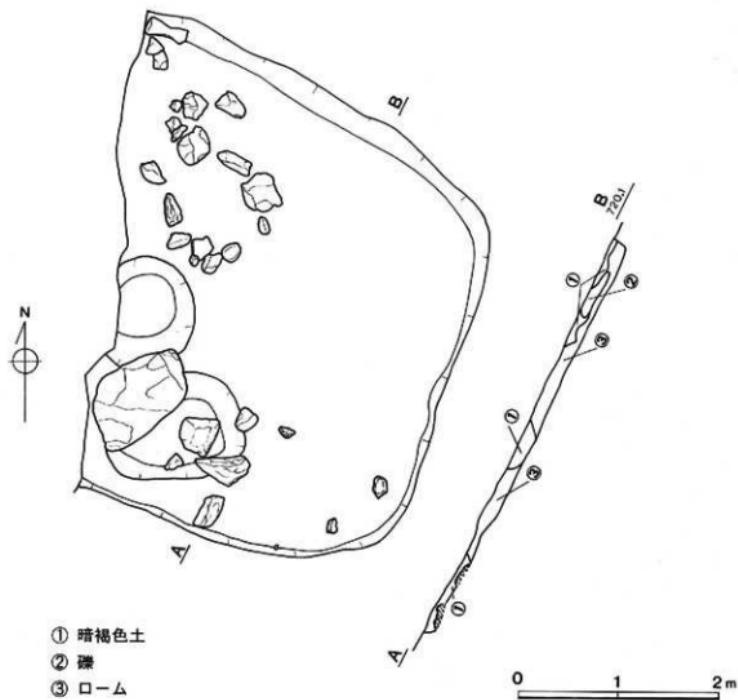


図64 10号住居址実測図（B区）

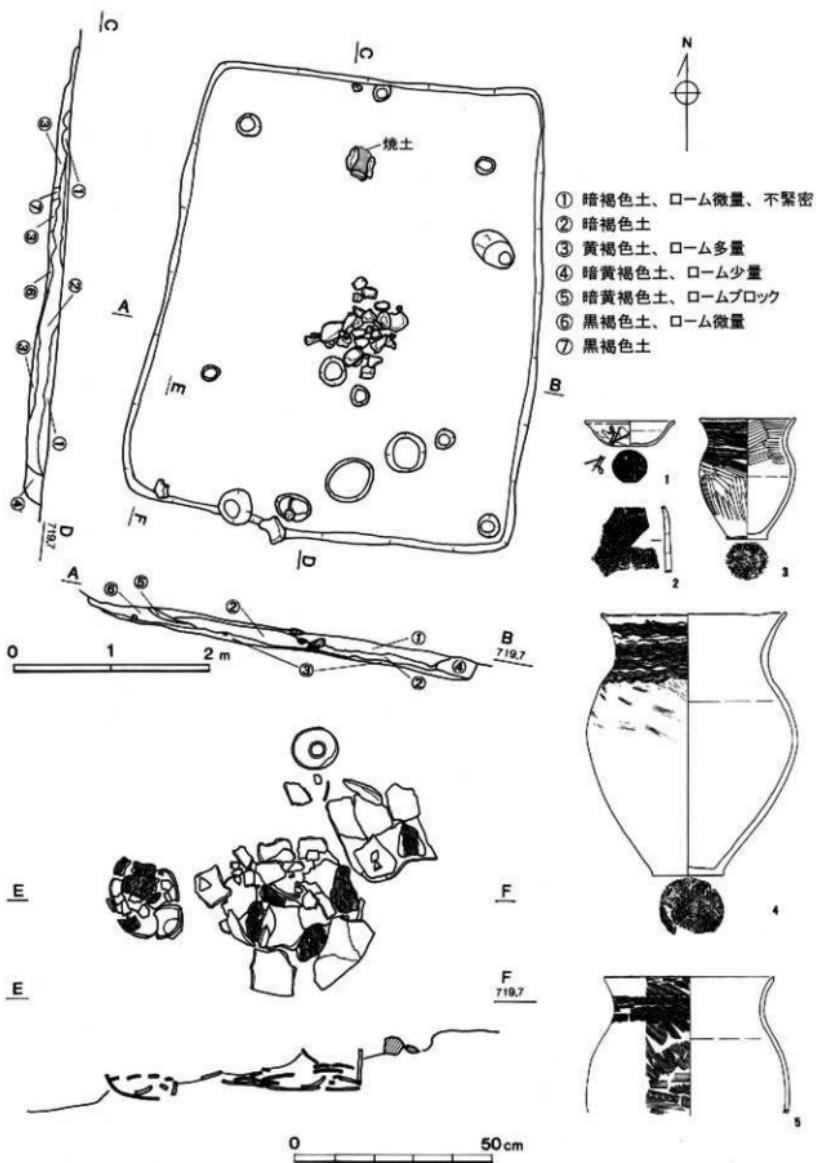


図65 11号住居址実測図／土器(3.4.5)出土状況図〈B区〉

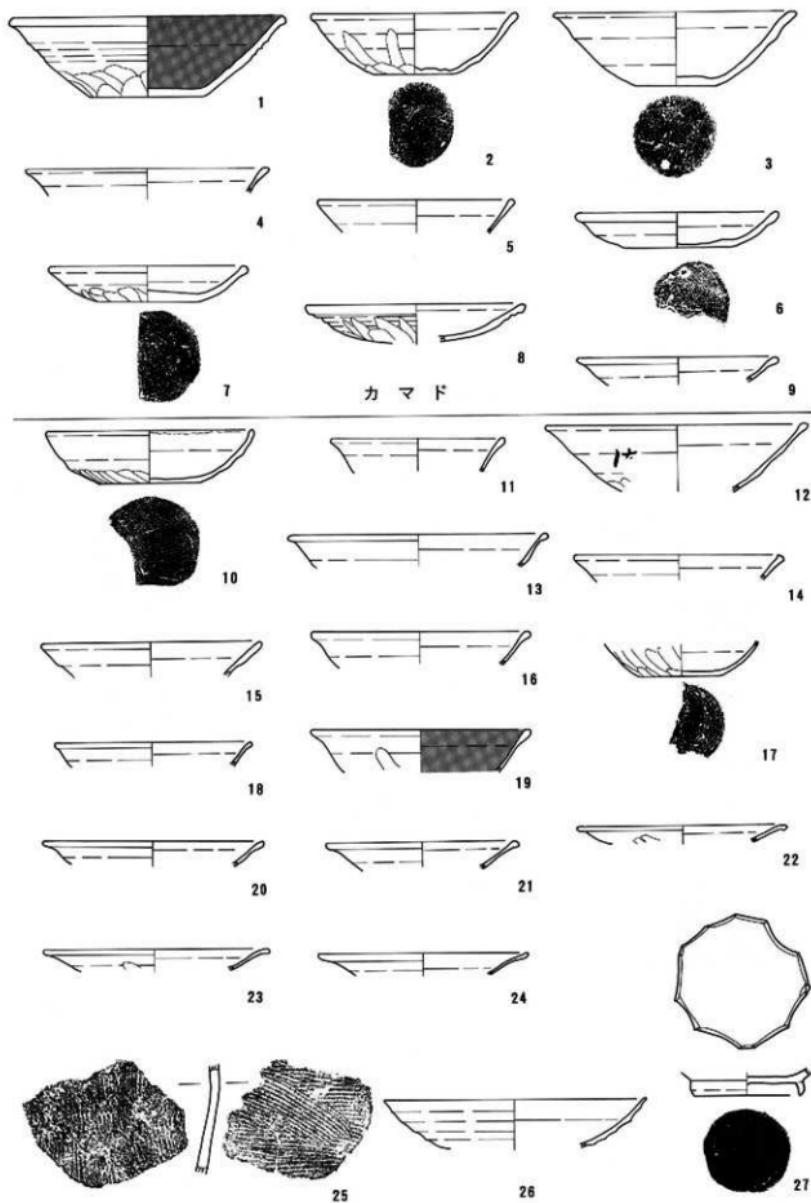


図66 1号住居址出土遺物〈A区〉[1/3]

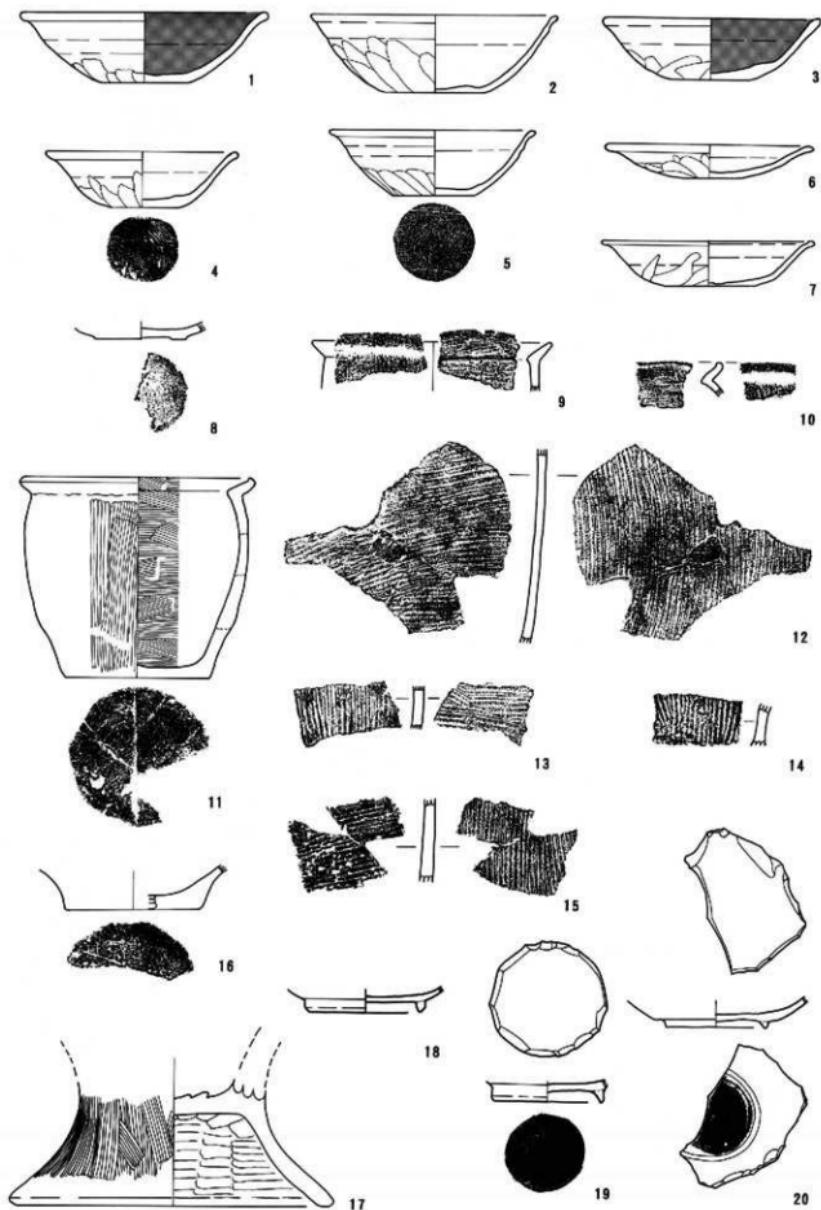


图67 2号住居址出土遺物〈A区〉[1/3]

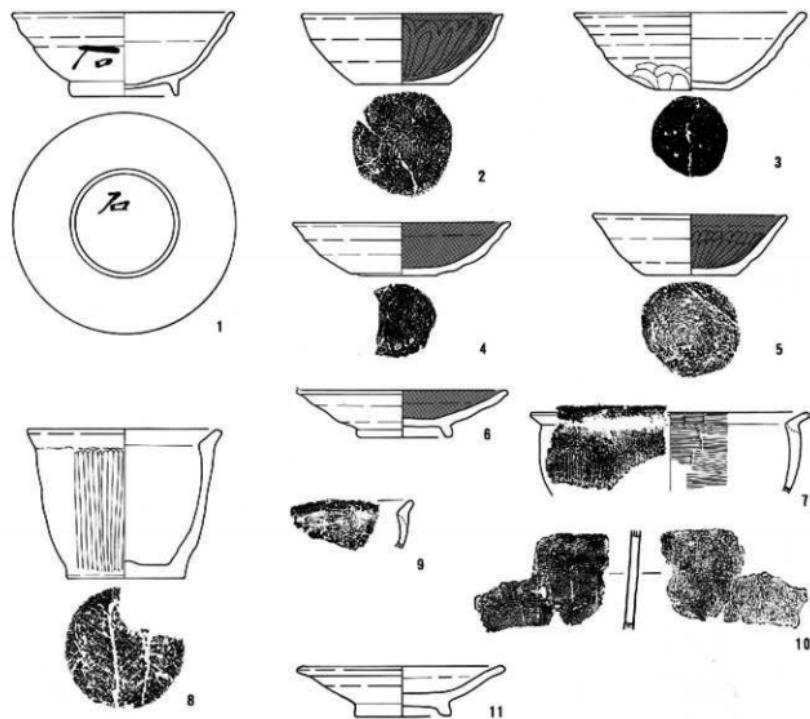


図68 3号住居址出土遺物〈A区〉[1/3]

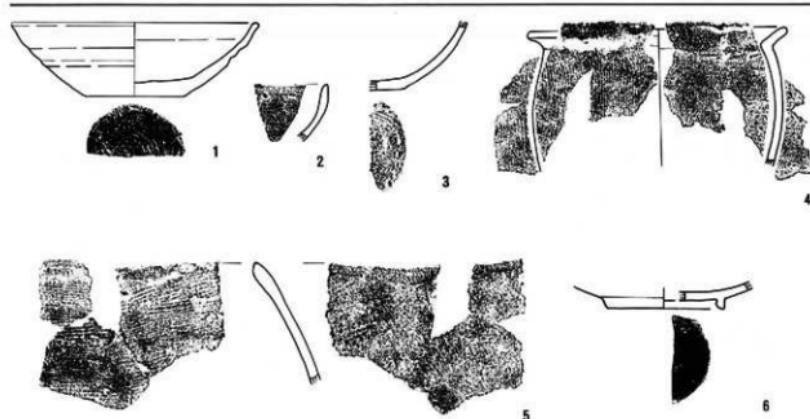


図69 4号住居址出土遺物〈A区〉[1/3]

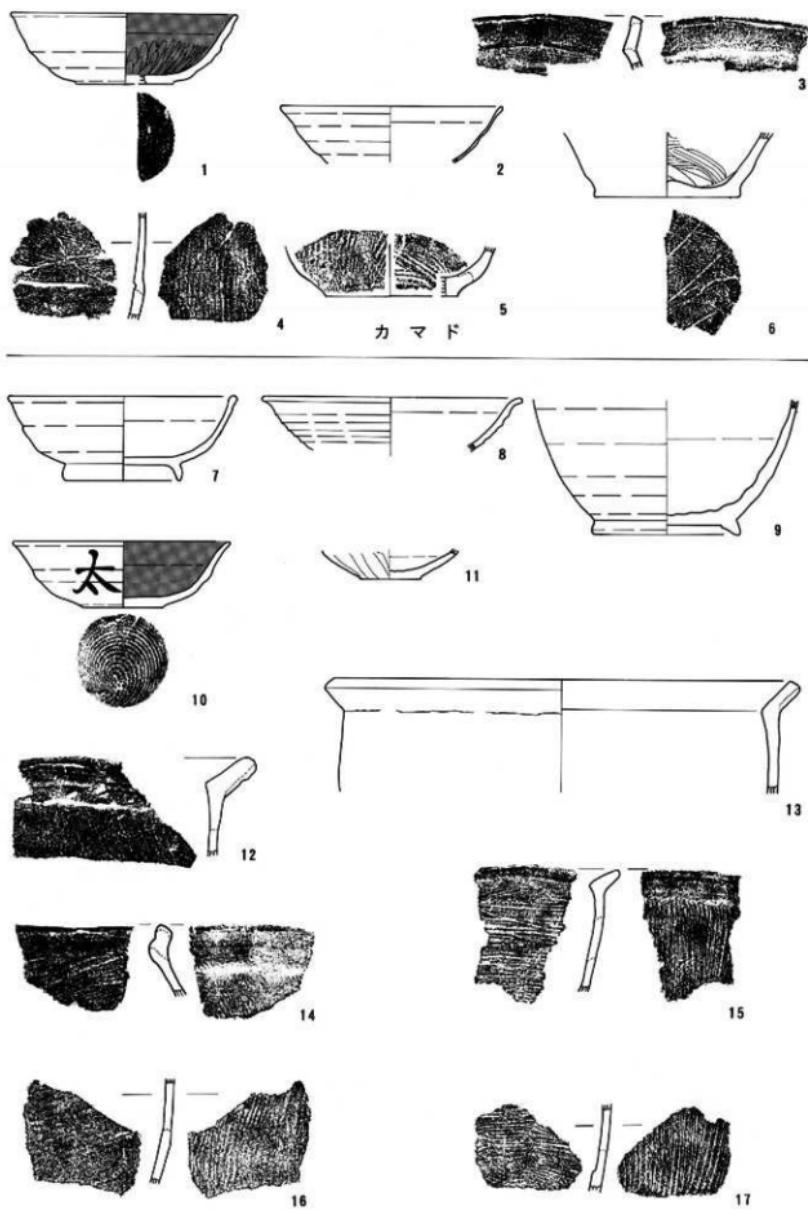


図70 5号住居址出土遺物〈A区〉(1/3)

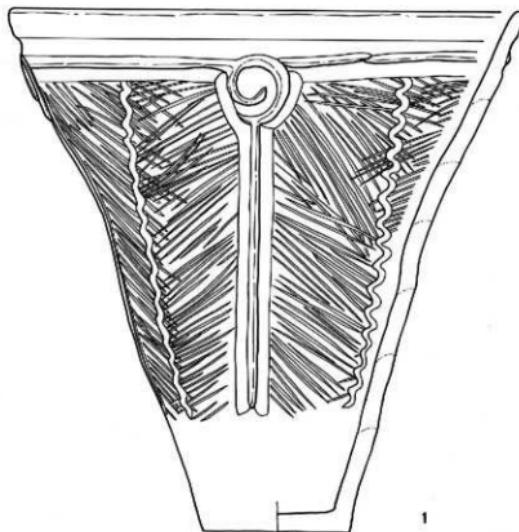


図71 1号埋設土器〈A区〉[1/3]

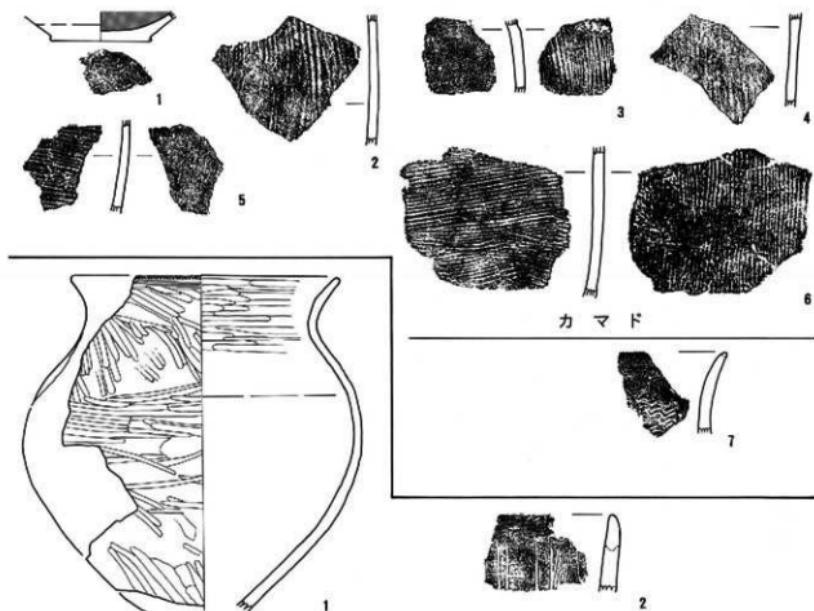


図73 7号住居址出土遺物〈B区〉[1/3]

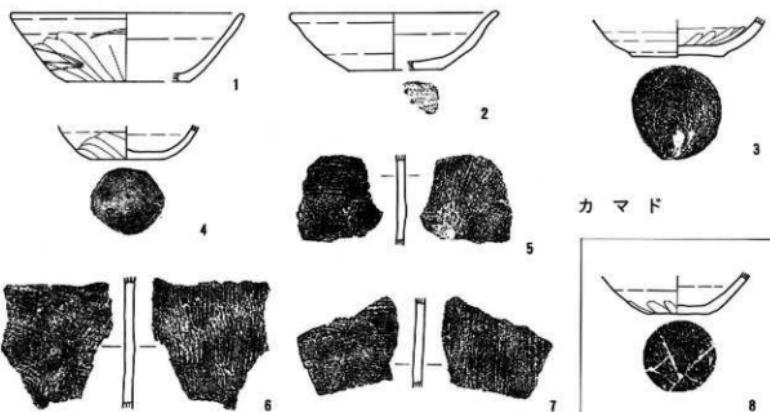


図74 8号住居址出土遺物〈B区〉[1/3]

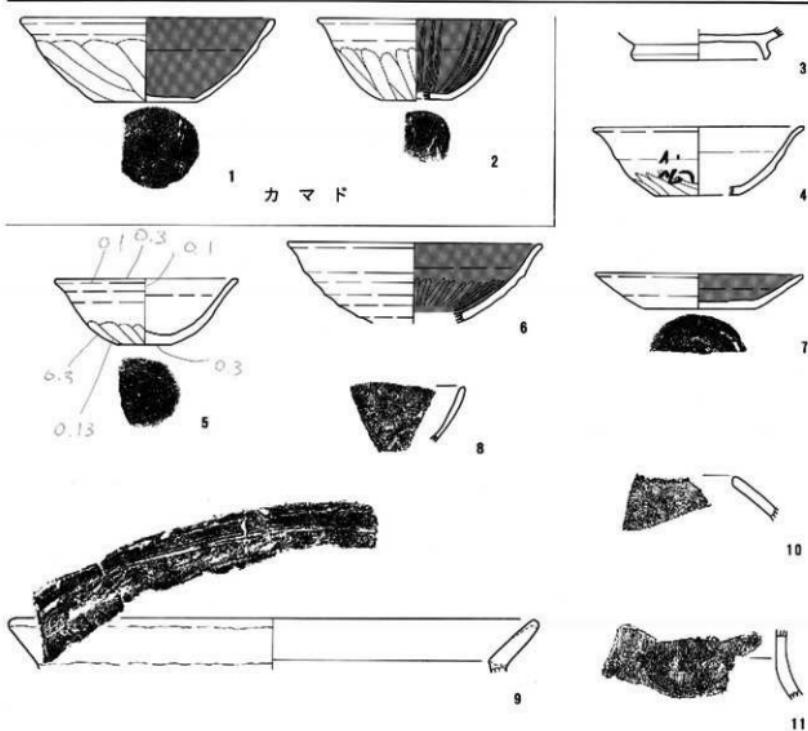


図75 9号住居址出土遺物(1)〈B区〉[1/3]

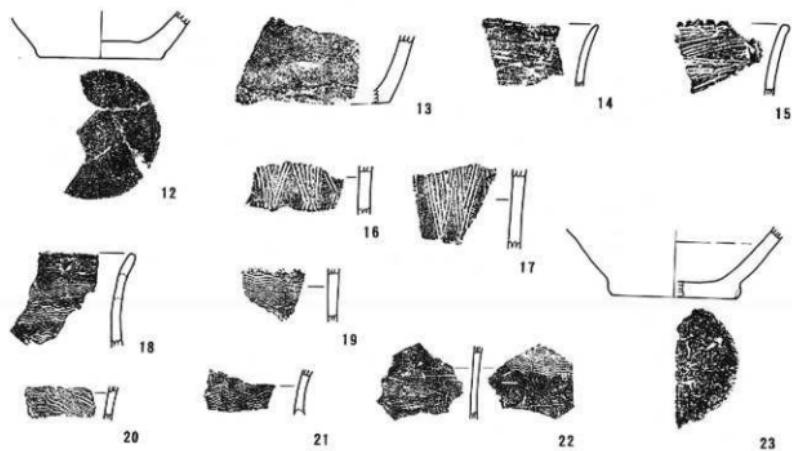


図76 9号住居址出土遺物(2)〈B区〉[1/3]

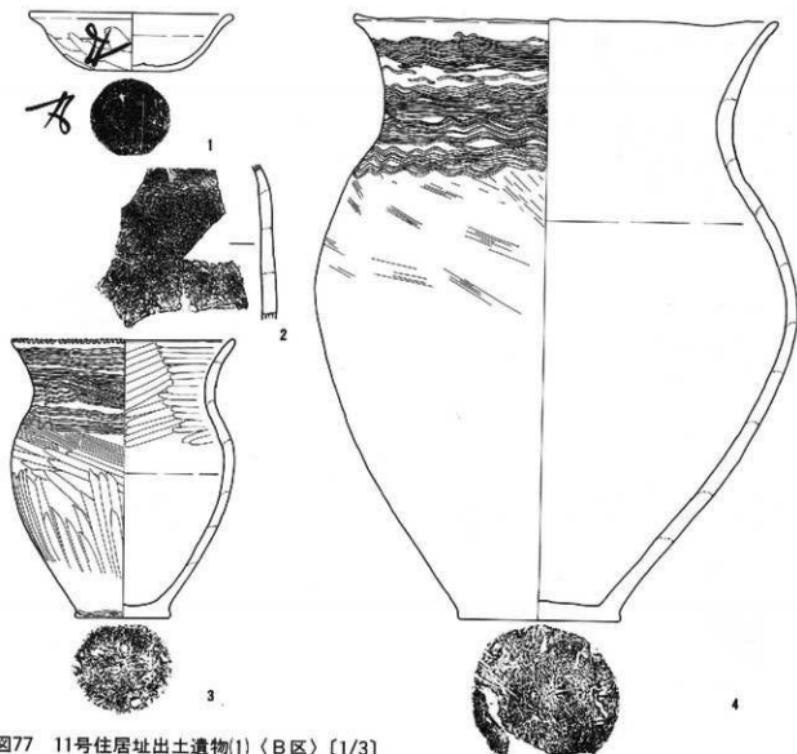


図77 11号住居址出土遺物(1)〈B区〉[1/3]

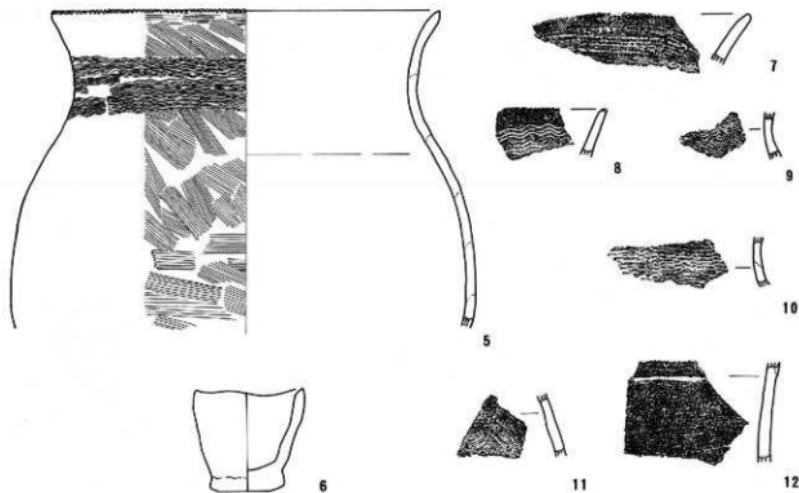


图78 11号住居址出土遗物(2)〈B区〉〔1/3〕

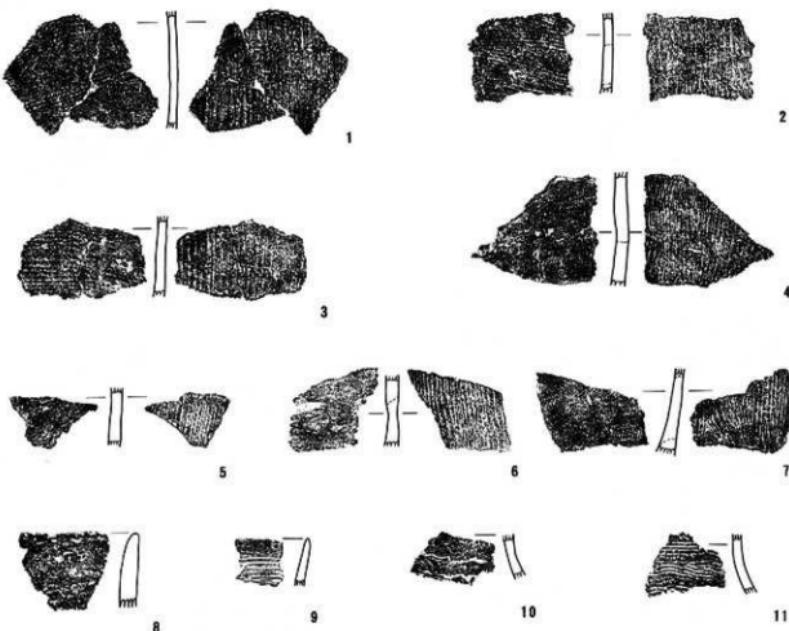


图79 表探遗物〈B区〉〔1/3〕

柳坪南遺跡



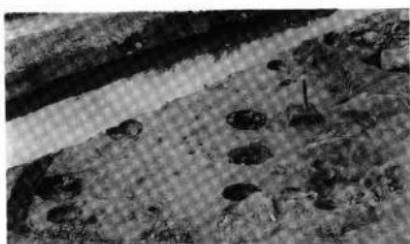
圖版 1 柳坪南遺跡全景



圖版 2 1号住居址



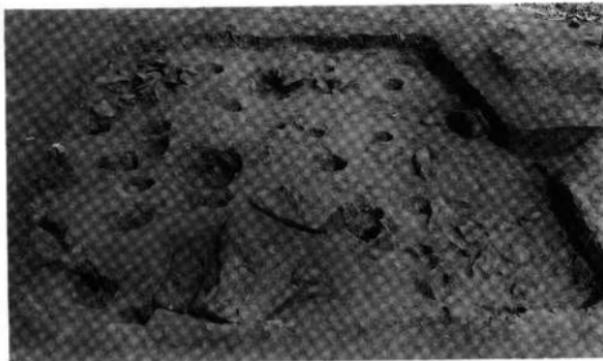
圖版 3 1号住居出土土器



圖版 4 2号住居址



圖版 5 2号住居出土土器



圖版 6
3号住居址



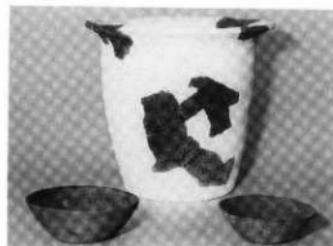
圖版 7
3号住居出土土器



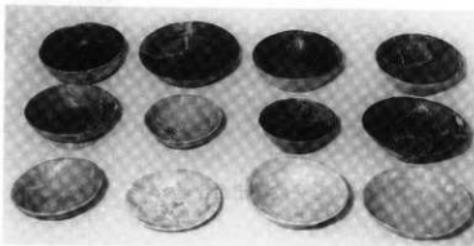
図版8 4号住居址



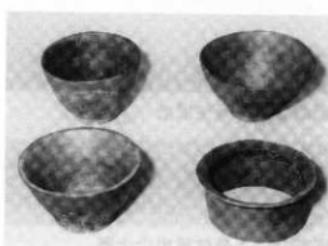
図版9 4号住居カマド



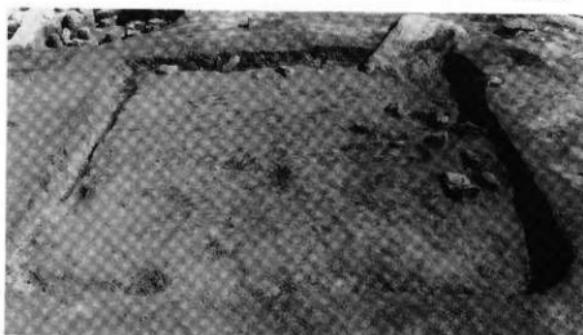
図版10 4号住居出土土器



図版11 5号住居出土土器



図版12 5号住居出土土器



図版13 5号住居址
図版14 5号住居出土墨書き土器

図版14

5号住居出土墨書き土器

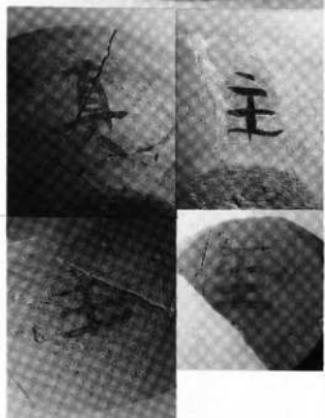
図版13 5号住居址



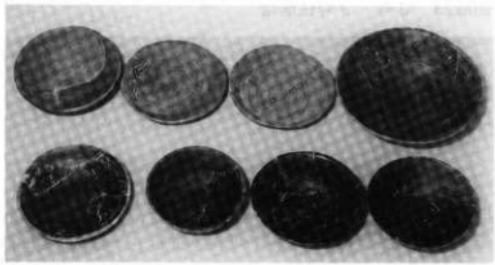
図版15
6号住居址



図版17 6号住居カマド



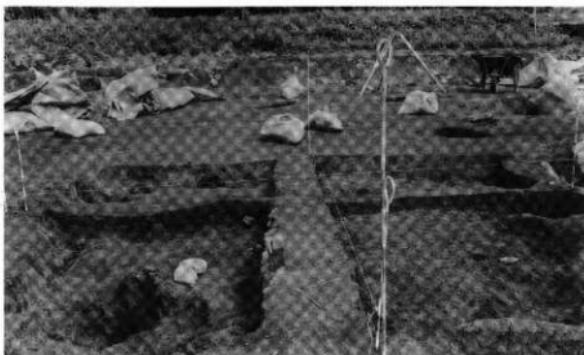
図版16 6号住居出土墨書き土器



図版18 6号住居出土土器



図版19
6号住居出土土器



図版20 7号住居址



図版21 7号住居出土土器



図版22
7号住居出土墨書土器



図版23 8号・9号住居址



図版24 8号住居出土土器



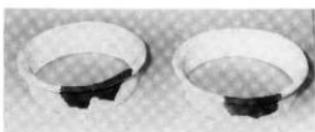
図版25 10号(右) 11号(左)住居址



図版26 10号住居出土墨書土器



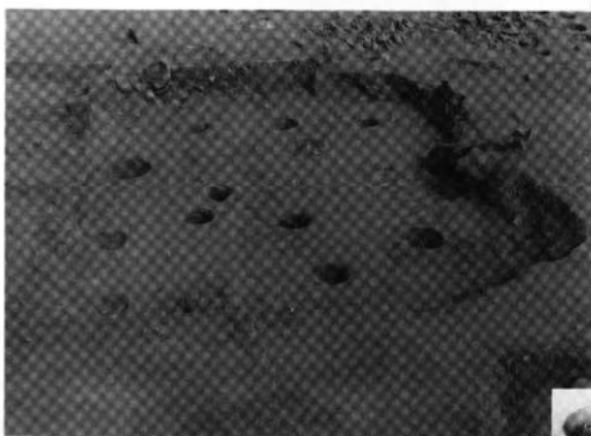
図版27 10号住居出土土器



図版28 10号住居出土土器



図版29 10号住居出土刻書土器



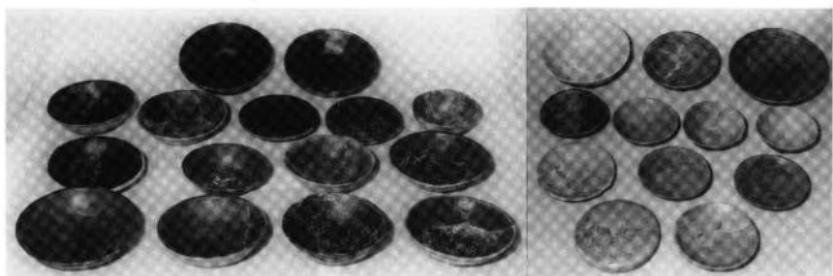
図版30
12号住居址



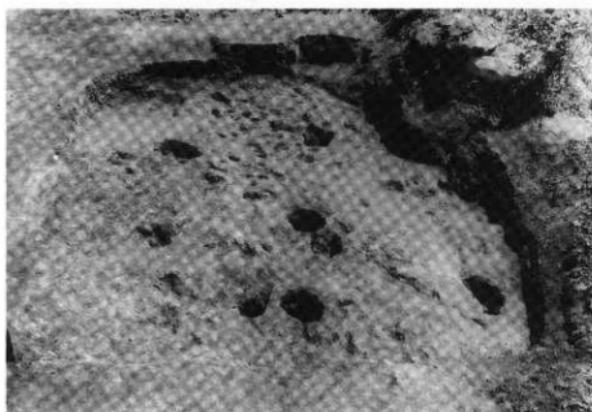
図版31 12号住居カマド横土器出土状況



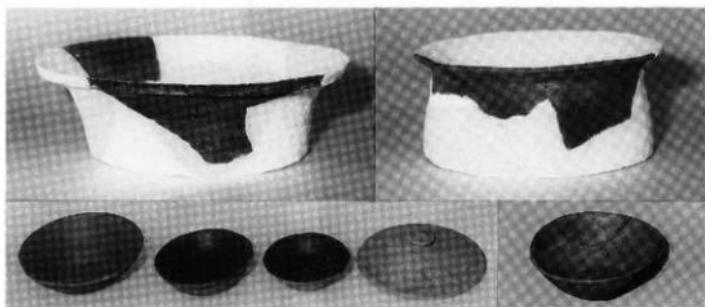
図版32 12号住居出土土器(上:カマド)



図版33 12号住居出土土器

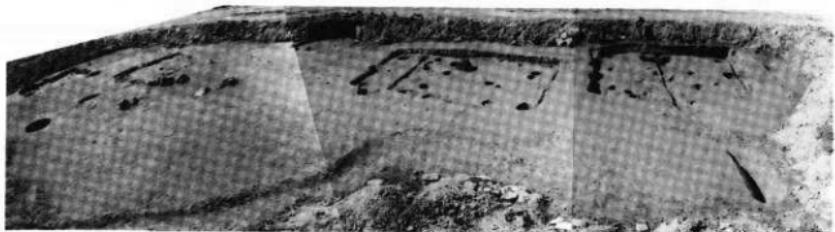


図版34
13号住居址



図版35 調査区北出土土器

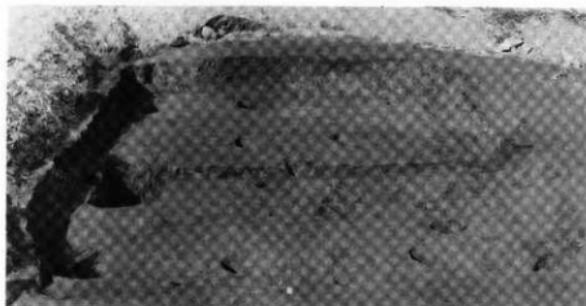
境原遺跡



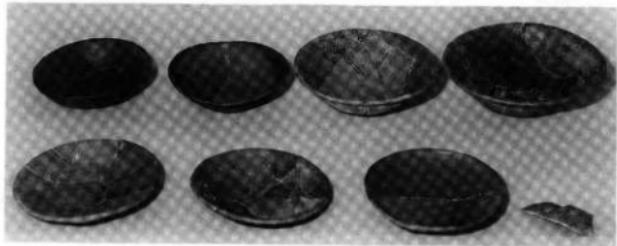
図版36 境原遺跡A区全景



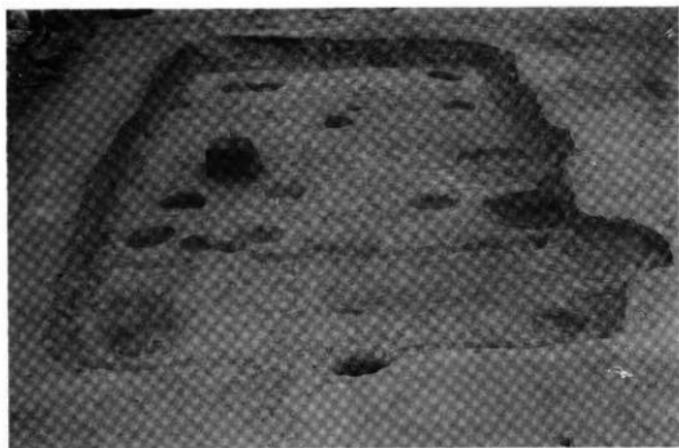
図版37
境原遺跡B区全景



図版38
1号住居址



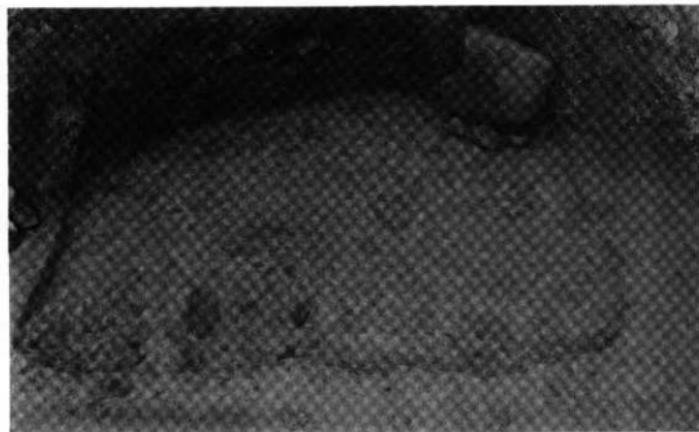
図版39
1号住居出土土器



图版40
2号住居址完掘



图版41 2号住居出土土器



图版42
3号住居址完掘

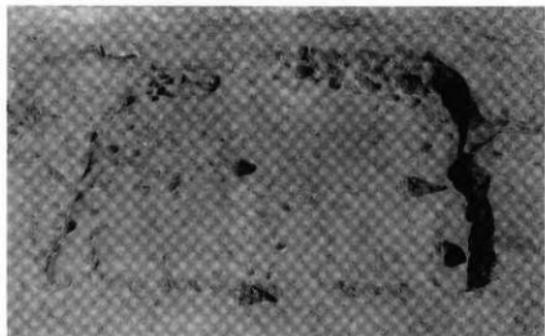


図版43 3号住居出土墨書き土器

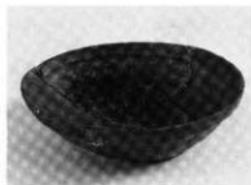
図版44 3号住居土器出土状況



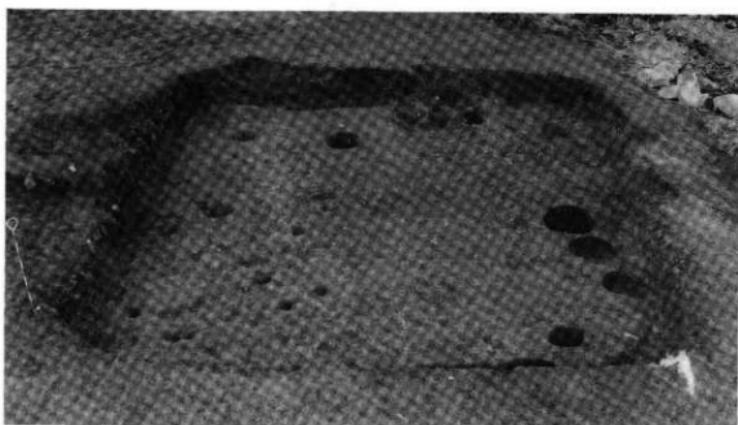
図版45
3号住居出土土器



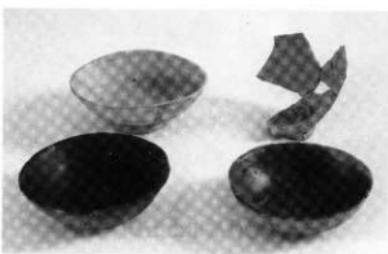
図版46
4号住居址完掘



図版47 4号住居出土土器



図版48
5号住居
址完掘



図版49 5号住居出土土器

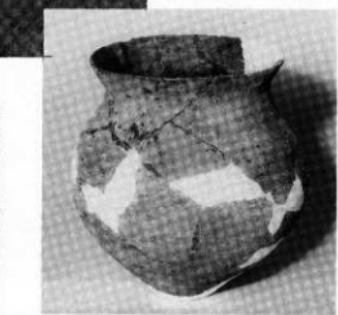
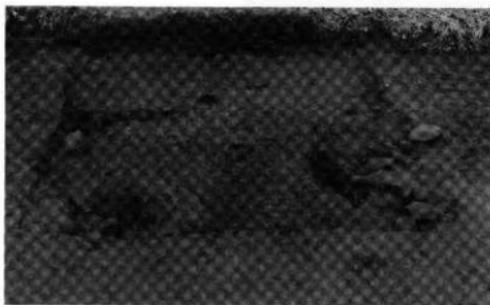


図版51 6号住居カマド

図版50 6号住居址完掘

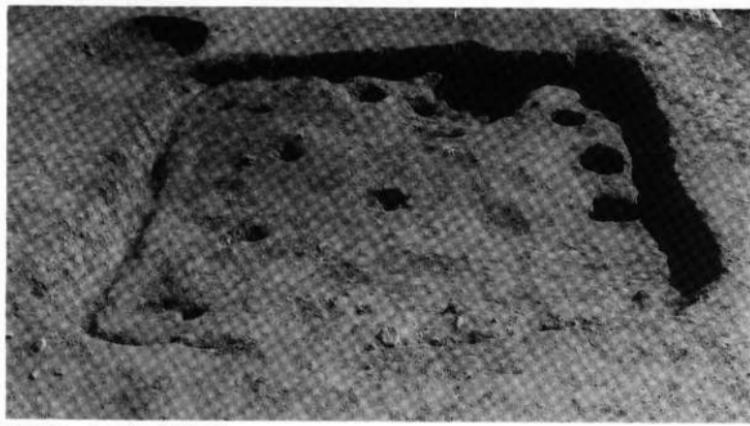


图版52 7号住居址完掘



图版53 7号住居出土土器

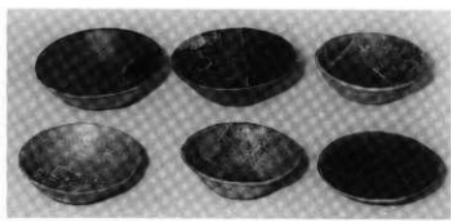
图版54 8号住居址完掘



图版55 9号住居址完掘



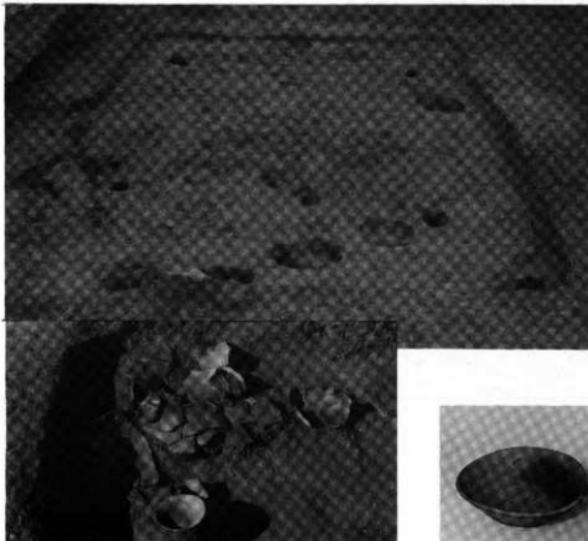
図版56 9号住居カマド



図版57 9号住居出土土器



図版58 10号住居址

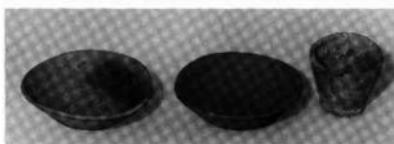


図版61 11号住居土器出土状況



図版59
11号住居出土土器

図版60 11号住居址



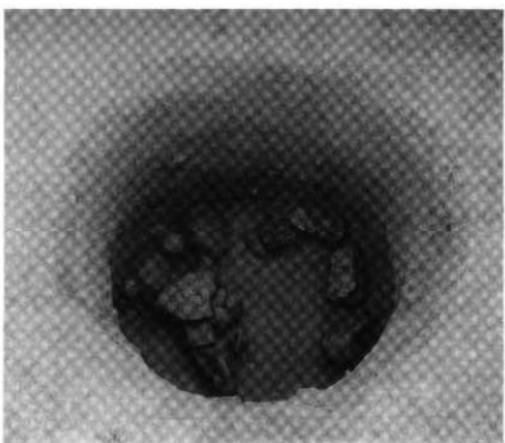
図版62 11号住居出土土器



圖版63 11号住居出土土器



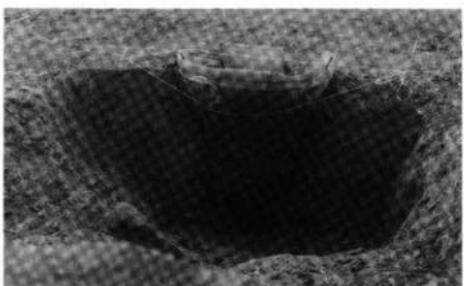
圖版64
11号住居出土墨書土器



圖版65 1号土壤



圖版66 1号溝



圖版67 1号埋設土器出土狀況



圖版68 1号埋設土器

報告書概要

書名	柳坪南遺跡 境原遺跡	
シリーズ	長坂町教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告書第15集	
著者名	小宮山 隆	
編集・発行機関	長坂町教育委員会	
住所・電話	山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2575-19 TEL.0551-32-2111	
印刷所	峡北印刷株式会社	
発行日	1997年3月31日	
遺跡所在地	山梨県北巨摩郡長坂町大八田字柳坪(柳坪南遺跡) 山梨県北巨摩郡長坂町大八田字境原(境原遺跡)	
25,000分の1地図名	谷戸・若神子	
位置	北緯35度49分58秒 東経138度23分21秒(柳坪南遺跡) 北緯35度50分02秒 東経138度23分45秒(境原遺跡)	
標高	707m(柳坪南遺跡) 722m(境原遺跡)	
概要	主な時代	平安時代(柳坪南遺跡) 縄文時代・弥生時代・平安時代(境原遺跡)
	主な遺構	平安時代住居15件(柳坪南遺跡)、縄文時代中期埋設土器1基・ 弥生時代後期住居2件・平安時代住居9件(境原遺跡)
	主な遺物	縄文時代～平安時代土器
	調査期間	1994年7月13日～8月31日(柳坪南遺跡) 1994年7月8日～11月14日(境原遺跡)

長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書 第15集

柳坪南遺跡 境原遺跡

1997年3月25日 印刷

1997年3月31日 発行

編集・発行 長坂町教育委員会
山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2575-19
TEL 0551-32-2111

印 刷 島北印刷株式会社
山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2313
TEL 0551-32-3245

